

第三十一 八雲利別間鐵道敷設ノ請願 會 議

第三十二 五條新宮間鐵道敷設ノ請願(文書表第二百一號) 會 議

第三十三 飛行事業擴張ニ關スル請願 會 議

第三十四 新舊文官ノ恩給並遺族扶助料不權衡更正ニ關スル請願 會 議

第三十五 帝國在郷軍人會國庫補助ノ請願 會 議

第三十六 天鹽沿岸鐵道延長敷設ノ請願 會 議

第三十七 柳津小出間並只見古町間鐵道敷設ノ請願 會 議

第三十八 帝國在郷軍人分會資源設定ノ請願 會 議

第三十九 五條新宮間鐵道敷設ノ請願(文書表第三百十五號、第三百六十八號) 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

一昨八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

獨逸國等トノ平和條約賠償條項ニ基キ受領シタル賠償物件ノ輸入税免除ニ關スル法律案

作業會計法中改正法律案

海軍燃料廠ノ石炭、煉炭又ハ燃料油ノ買入ニ關スル法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵副島 道正君 副委員長 高橋 琢也君

同日政府ヨリ左ノ報告書ヲ受領セリ

大正七年四月一日ヨリ大正八年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財産増減異動報告書

大正八年四月一日ヨリ大正九年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財産増減異動報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正九年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

大正九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

昨九日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

取引所法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

貯蓄銀行法案

銀行條例中改正法律案

公有水面埋立法案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案

同日議員公爵徳川慶久君外八名ヨリ百十五名ノ賛成ヲ以テ風教ニ關スル決議案ヲ發議セリ

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農商務省所管事務政府委員

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

農商務書記官 長 滿 欽 司 君

請願文書表第八回報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

〔上山滿之進君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 上山君ハドウ云フコトデスカ

○上山滿之進君 私ハ議事ノ進行ニ付テ總理大臣ニ質問ガアリマスガ、此際御許シ下サイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 御述ベニナッタラ宜シウゴザイマセウ

○上山滿之進君 會期切迫ノ今日、多數ノ豫算案法律案ガ提出サレテ、現ニ審議中デアリマス、之ニ付テ私ハ甚ダ心配ヲ致シマスニ依テ、總理大臣ニ御尋ネテ致シタイト考ヘマス、今日本院ニ繫屬シテ居リマス法律案ガ四十五件、豫算案ガ六件、サウシテ衆議院ニ現ニ繫屬シテ居リマス法律案ガ、政府提出ガ十九件、衆議院提出ガ二十九件、尙ホ此外ニマダ今日以後新ニ帝國議會

ニ御提出ニナルモノガ抄カラヌヤウニ仄ニ聞及ビマス、殊ニ郡制廢止案迄モ御出シニナラウカト云フヤウナ新聞ノ記事ヲ見マシタ、今會期ハ剩ス所僅カニ二週間、我々ハ夜ヲ日ニ繼イデモ之ヲ議スルコトガ出來ルカ出來ヌカト云フコトヲ甚ダ疑フノデアリマス、本來何故ニ會期切迫ノ今日斯ノ如キ多數ノ議案ガ溜ッダカト云フト、政府ノ議案御提出ガ色々御都合モアリマセウケレドモ、會期半バヲ過ギテ澤山ニ御出シニナッタト云フコトガ一ノ原因デアル、或ハソレガ主モナル原因デアラウカト思フノデアリマス、之ヲ如何ニシテ處理シタラ宜シイカト云フコトハ、私ノ憂慮スル所デアリマス、常任委員ノ中デ、資格審査委員ト懲罰委員トハ、實際ニ於テ用務ガアリマセウケラ、是ハ別ニ致シテ、豫算委員、決算委員、請願委員等ハ、現ニ非常ニ多忙デアルノデアリマス、之ニ加ヘテ唯今申上ゲタ現ニ本院ニ繫屬シテ居ル法律案ダケデモ四十五件デアリマス、之ヲ部ニ充テマスト大變ナ數ニナリマス、其ノ特別委員ト常任委員トヲ加ヘマスト夥シキ數ニ上ルノデアリマス、サウシテ本院ニ出席セラルル議員諸君ノ數ハ、病氣、或ハ海外旅行、或ハ國務大臣、政府委員トシテ居ラレル諸君、之ヲ除イテ二百三十人バカリデアアル、此ノ二百三十人バカリノ人デ、斯ノ如キ多數ノ委員ノ職務ヲ勤メナケレバナラナイ、而シテ剩ス所ノ會期ハ僅カニ二週間、如何ニシテ此議案ガ無事ニ議スルモト御考ヘニナリマスカ、私ハ誠ニムツカシキコトト思フノデアリマス、我々ハ議員ノ一人ト致シマシテ、全力ヲ盡シテ此職務ニ從事イタシマス、幾ラ全力ヲ盡シマシテモ、此議案ヲ全部議スルコト云フコトハ、事實ニ於テ不能デアルト思フノデアリマス、政府ハドウシタラ宜シイト、之ヲ御考ヘニナルノデアリマスカ、私ハ斯ノ如キコトヲ申スノハ甚ダ好マナイノデアリマス、併ナガラ道理ダケハ申上ゲナケレバナラナイ、先日來委員會ガ開カレマシテモ、政府ノ方ノ御出席ノ遅イ爲ニ、普通議事ガ定刻ヨリ數十分遅レルノデアリマス、又一昨日ノ如キハ、此議場ニ於テ政府提出ノ法律案ガ審議サルルニ拘ラズ、國務大臣ハ一人モ御出ニナラヌノデアアル、又先達テ豫算總會ヲ日曜ニ勉強シテ開キマシタニ拘ラズ、國務大臣ハ仕舞ヒノ頃ハ一人モ御出ニナラヌノデアリマス、政府ハ決シテ此議案ノ進行スルコトヲ好マナイ譯ハ勿論ナイ、大ニ之ヲ希望シテ居ラレルコトハ疑ヒナイノデアリマス、併ナガラ此ノ政府御意思ノ如何ハ別トシテ、事實ニ於テ政府ガ餘リ御勉強ナサレナイ爲ニ、ソレダケ遅レタト云フコトハ明カナコトデアリマス、私ハ政府ヲ攻

撃スルノデハアリマセウ、之ヲ何ハナケレバ後ノ質問ガ申上ゲラレナイ、今後如何シタラ宜シイカト云フコトデアリマス、唯今申上ゲマシタ質問ニ付テ、總理大臣ノ一般的御意見ヲ第一ニ伺ヒタイノデアリマス、其次ニ伺ヒタイコトハ、斯ノ如キ多數ノ法律案ノ中ニハ自ラ輕重ノ別ガアルト思フノデアリマス、勿論政府トシテ是ハ必要ハナイト仰セラレル筈ガナイ、必要ガアルカラ御出シニナルノデアリマスガ、其必要ノ程度ニ自ラ差異ガナケレバナラナイ、我々ハ會期切迫ノ今日、斯ノ如キ多數ノ豫算案、法律案ヲ處理スルニ付テ、其輕重ヲ區別シテ進マナケレバイカナイノデアリマス、政府ニ於テ此中ニ輕重ノ別ヲ御立テ下サルコトガ出來ルナラバ、餘程審議ノ上ニ都合ガ宜カラウト思ヒマス、勿論表向ニ是ハ輕イカラ審査未了ニナツテモ宜シイト仰セニナル譯ハナイ、ソナコトハ初メカラ要求ハ致サヌノデアリマス、併シ其意味ニ於テ相當ノ方法ヲ御探リ下サレバ、審査ノ上ニ大變都合ガ宜イ、又政府ノ方モ大變便宜ガアラウト思フノデアリマス、何かソレニ付テ相當ノ御考ガゴザイマスルカ、ソレカラ尙ホ今日提案ニナツテ居ル以上ニ、マダ澤山御出シニナルノデアリマスカ、如何デアリマスカ、私ハ御出シニナラナイコトヲ希望スルノデアアル、御出シニナツテモ此ノ會期切迫ノ場合ニ議スルコトハ出來スト思フ、殊ニ郡制廢止案ノ如キ重要ナモノヲ御出シニナツテ、是ガ審議ガ濟ムト御考ヘニ若シナレバ、餘程私ハ不思議ニ思フ、又審査未了ニ終ルデアラウカモ知レヌト云フコトガ御出シニナルトシタナラバ、是ハ何トモ仕様ノナイコトデアリマス、ソレデ御尋ネ致シマスノハ、尙ホ今後多數御出シニナルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、私ノ希望ハ御出シニナラヌ方ニアアルノデアリマス、御出シニナリマシタラ、徒ラニ手續ノ嵩ムダケデ、到底審査ハ出來ナイヤウニ考ヘル、ソレカラ今一ツ伺ヒタイコトハ、コンナ場合デアリマスカラ、我々議員ハ此職務ヲ盡ス爲ニ、場合ニ依レバ、日曜デモ、祭日デモ、夜分デモ、勉強シナケレバナラヌト考ヘル、斯ノ如キ場合ニ於テ、政府ハ議員ト共ニ努力シテ下サル御考デゴザイマセウカ、甚ダ皮肉ナ御質問ノヤウデアリマスケレドモ、事實ヲ見レバドウモサウデナイ點ガアルヤウニ思ハレル、色々ノ御都合ガアルト思ヒマスカラ、強ヒテ之ヲ咎メルノデアリマセウケレドモ、此ノ會期切迫ノ場合ニ斯ノ如キ重荷ヲ背負ッテ居ル議員ノ境遇ヲ御諒察ニナレバ、萬障繰合セテ御勉強下サルコトガ必要デアルト思フ、是ハ如何デアリマセウカ、殊ニ國務大臣ハ御所管ノ議案ニ付テハ勿論、御所管ニ

アラザル重要ナル議案ノ審議ノ場合ニハ、一同御出席ニナルガ至當デアラウト思フ、若シ他ノ公務ノ爲ニ御出席ガ出來ナケレバ、宜シク其公務ノ種類ヲ疏明サレルコトガ、斯ノ如キ場合ニ於ケル國務大臣ノ御態度デナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、多數ノ先輩諸君ヲ差措イテ私ハ斯ノ如キコトヲ申シマスノハ、甚ダ僭越ノ至リデアルト云フコトヲ自カラ知ッテ居ルノデアリマス、又私ハ之ヲ申スニ付テ何等ノ他意ハナイ、全ク自分トシテ見マスト、先日來ノ友人ノ手紙ニ對スル返事モ書ケナイ位ニ困ッテ居ル、私ハ澤山ニサウ云フ諸君ガアラウト思ハレルノデアアル、ソレヲ其忙サノ中ニ、遂ニ如何ニシテ斯ノ如キ多數ノ議案ヲ片付ケルカ、議院ガ片付ケルカト云フコトヲ常ニ考ヘル、其憂慮ノ餘リニ御尋ネ致スノデアリマシテ、何等ノ他意モアリマセヌシ、又先輩諸君ヲ差措イテ斯ノ如キコトヲ申スコトハ僭越ニ聞エルガ、思フニ諸君ハ之ヲ諒セラレルコトト思フ、ドウカ總理大臣ハ御誠意ノアル御答辯ヲナスッテ下サルヤウニ希望イタシマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今ノ上山君ノ御質問ニ御答イタシマスガ、此法案ガ會期半バ頃ニナッテ多ク出ルト云フコトハ度々議會ニ於キマシテハ見ル事實デアリマス、是ハ甚ダ政府ニ於テモ遺憾ニ存ズル、議員諸君ニ於テモ審査ヲナサルニ會期モ切迫ニナッテ御困難デアラウト恐察スルノデアリマス、故ニ毎現内閣ノミデハアリマセヌ、何レノ内閣ニ於テモ成ベク早ク提出スベキ法案ヲ法制局等ニ廻シテ、其審査ヲサセルヤウニト云フコトヲ毎々督促イタスノデアリマスガ、兎角遅レ勝ニナリマシテ、假ニ會期半バ頃カラ多ク出ルヤウナル傾キヲ近年見ルノデアリマスガ、甚ダ遺憾ノコトデアリマシテ、始終督促ヲ致スノデアリマス、併シ多ク左様ニ相成ルノデアリマス、尤モ其中ニ豫算關係ノ法律案デアリマスレバ、是ハ豫算ト前後シテ提出ニ相成リマスカラ、是ハ初メヨリ豫算ノ審査ニ妨ゲナイヤウニ提出ヲ致シマスケレドモ、其他ノ法案ニナリマスルト兎角遅レ勝、甚ダ政府ニ於テモ困ッテ居ル次第デアリマス、故ニ此事情ハ上山君ニ於テモ御了承ヲ願ッテ、決シテ政府ノ意思デハナイ、政府ハ遅レサシタクナイノデアリマスガ、色々ナル審査ノ爲ニ時ヲ費ヤシ、遂ニ提案ノ遅レルト云フコトノ事實ニ立至ルノデアリマス、是ハ將來ニ於テモ十分ニ注意ヲスベキ事柄ト考ヘルノデアリマス、又今後ニ於テ尙ホ多數ノ議案ヲ提出スルカドウカ、最早左マデ多クハ提出イタサヌ積リデアリマ

ス、併ナガラ尙ホ數件ハ提出セザルヲ得ヌカト思フノデアリマスガ、成ベク會期モ迫リマシタ今日、多クノ案ハ提出シナイヤウナル方針ヲ執ッテ居リマス、併シ幾件カハ提出セザルヲ得ヌカト思ッテ居ルノデアリマス、斯様ナル狀況デアリマスガ、ソコデ此ノ御審査ニ際シマシテ、政府ハドウ云フ積リデアアルカ、ト云フコトデアリマスルガ、政府ハ本會議竝ニ委員會ニ國務大臣ヲ始めト致シマシテ、成ベク努メテ出席イタス積リデアリマス、併シ如何セム兩院ニ互ッテ本會議又ハ委員會ヲ開カレルノデアリマス、故ニ一方ノ委員會、本會議ニ出席スレバ、他ノ方ニハ出席ガ出來ナイト云フコトハ往々見ルノデアリマス、國務大臣悉ク毎日登院イタシテ居ルノデアリマスガ、左様ナル事情ノ爲ニ往々出席スルヲ得ヌコトガアルノデアリマス、又其間ニハ種々ノ公務ニ妨ゲラレ或ハ出席出來ヌコトモアリマス、併シ私ノ如キハ公務上出席ノ出來ヌ時ハ、委員會等ニ於テハ其都度斯様ナル事情デ今日何時カラ出ラレヌトカ、明日ハドウ云フ時ニハ出ラレヌト云フコトヲ御斷リ致シテ居ル位デアアル、此間ノ日曜ノ事ナドハ、是ハ國務大臣一人モ居ラナカッタト云フヤウナ話、私ハ其次ノ豫算委員會ニ其事情ヲ申シテ遺憾ノ意ヲ表シタ次第デアアル、是モ實ハ私ナドハ伊澤君ヨリ質問ガアルト云フコトヲ知ッテ出席イタシテ居ッタ、所ガ他ノ岡田君デアリマシタカ御質問ガアッテ、尙ホ十一時ヨリ外國ニ赴任スベキ公使ガアリマシテ、之ニ打合セラシナケレバナラヌ用事デ、前カラ約束イタシテ居リマシタカラ、十一時カラ退席イタサナケレバナラヌノデアリマシタケレドモ、十一時半マデ實ハ御待チ致シタ、併シ御出席ガナカッタガ故ニ多分午後デアラウト推測イタシテ、其事ヲ御斷リ致シテ退出イタシタノデアリマス、而シテ午後參ッテ見レバ既ニ時ニ遅レテ居ッタト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナル次第デアアル、他ノ國務大臣モソレゾレ事情ガアリマシテ退席イタシマシタラウガ、中ニハ矢張出席イタシタ所ガ其時ガ間ニ合ハナカッタト云フヤウナ次第デアアル、固ヨリ誰ニ今日ハ御質問ガアルト云フコトヲ前以テ承ハッテ居ルノデアリマスカラ、其人ハ出席イタシタ筈ト思フノデアリマスガ、悉ク出テ居ルコトノ出來ナカッタノハ甚ダ遺憾ナルコトニ考ヘテ、翌日其事ヲ申シタノデアリマス、斯ウ云フ次第デアリマス、今後ニ於テ本會議竝ニ委員會ニ公務上已ムヲ得ザルコトノナイモノハ、他ノ一院ニ出席イタサナケレバナラヌヤウナル場合ニ差繰リノ出來ヌ時ハ別デアリマスガ、其他ノモノハ十分分政府ニ於テハ差繰ッテ、國務大臣其他ノ役員モ出席イタス積リデアリマス、

尙ホ左様ニ致スコトヲ閣僚其他ニハ申スコトニ致シマセウ、要スルニ殊更ニ會期切迫ニ際シマシテ議案ヲ提出スルト云フ次第デアリマセヌ、又政府ノ國務大臣其他ノ役員ハ日々定刻ヨリ參院イタシテ居ルノデアリマス、殊更ニ怠慢ノ意味ニ於テ委員會其他ニ出席イタサナイト云フコトハ決シテナイノデアリマス、議院ニ參テ居ル以上ハ何ノ爲ニ出席ヲ見合セテ居ルト云フ理由モナイコトデアリマス、必ズ差繰リ致スノデアリマス、議案ニ付テドレガ重要デアルカラ是非議決ヲ願ヒタイ、ドレハ左マデバナイカラ未了デモ已ムヲ得ヌト申スコトガ出來レバ、誠ニ審査上御便利デアラウト御察シ致シマスケレドモ、政府トシテハ左様ニハ參リマセヌノデ、何レモ御協賛ヲ得ヤウト云フ希望ヲ以テ提出イタシタ次第デアリマス、併シ議員諸君ニ於テモ自ラ見ラレル所モアリマセウガ、實際ノ事實ニ於テ未了ニナルノハ自ラ是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、政府ノ希望トシテハ、甚ダ御氣ノ毒ニ考ヘマスケレドモ、政府ノ事情ハ斯様ナル譯ヲ以テ議案ガ幅濶イタス次第デアリマス、此中ニ於テ區別ノ附ケヤウガアリマセヌノデ、ドウゾ甚ダ御迷惑ト察シマスケレドモ、是等ノ案ニ付テ十分ノ御審査ヲ希望スル次第デアリマス、固ヨリ委員會其他ニ於テモ、本會議ハ尙更ノコト、御開キノ場合ニハ國務大臣其他モ已ムヲ得ザル公務若クハ他ノ議院ニ出席スルコトノ場合ノ外ハ、必ズ出席イタスヤウニ致シタイト考ヘマスカラ、是モ御承知ヲ願ヒマス

○江木翼君 私ハ唯今ノ總理大臣ノ御辯明ニ對シマシテ、質問ヲ致シタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○江木翼君 大體上山君ノ御質問ニ對シマシテハ、私モ頗ル同感ニ堪ヘナイ次第デ、現ニ私自身ニ於キマシテモ極メテ浩翰ナル法律案ノ委員ヲ命ゼラレテ居リマシテ、頗ル當惑シテ居ル次第デアリマスガ、併ナガラ職務上固ヨリ已ムヲ得ヌ、努メナケレバナラヌノデアリマスガ、唯今總理大臣ノ御辯明ニ依リマス、更ニ法律案ヲ出ス、是ハ私是非サモナクテハナラヌ事柄ガ多クアルト思フノデアリマス、其中ニ付マシテ私ハ一二ノ項ニ付テ總理大臣ノ御辯明ヲ得テ置キタイト思フノデアリマス、平和條約ノ成立イタシマシタノハ大正八年ノ六月二十八日デアリマス、而シテ其條約ニ伴ヒマシテ、爲サナケレバナラヌコトガ澤山アル、多クノモノハ進行シテ居ルコトト思ヒマスガ、其中ニ付マシテ第一ニ行ハナケレバナラヌ所ノモノハ、同條約ノ第二十二條ニ

南洋諸島ノ委任統治ノ事柄ガ規定シテアルノデアリマス、而シテ其ノ南洋諸島ノ委任統治ニ關スル事項ニ付テハ、英吉利政府トノ間ニ多少ノ見解ヲ異ニシタニ拘ラズ、既ニ先般ノ國際聯盟ノ理事會ニ於テ大體見解ガ一致シテ、所謂委任統治ノ條項ナルモノハ略、確定シタト云フヤウニ承ハッテ居ルノデアリマス、故ニ外務大臣モ左様ナル報告ヲセラレタノデアアル、斯様ニ考ヘマスケルト、同條約ニ依リマシテ南洋諸島ハ所謂帝國ノ領土ノ一部トシテ、構成部分トシテ、其國ノ法律ノ下ニ統治セラレルル部分ニナルト考ヘラルルノデアリマス、即チ大日本帝國ノ一部ヲ構成スルモノトシテ、帝國憲法ナリ、或ハ其他ノ法律ガ直ニ之ニ施行サレルト云フ状態ニ於テ、是等ノ南洋諸島ト云フモノガ置カルル結果ニナルノデアアル、斯様ニ私共信ズルノデアリマス、斯様ニ致シマス、今日ノ海軍ガ軍政ヲ布イテ居リマス状態ト云フモノハ速ニ撤去セラレナケレバナラヌ、撤去セラレルレバ必ズ内地ノ憲法ナリ、其他ノ法律ト云フモノガ施行サレルト云フコトハ甚ダ不便デアルガ故ニ、或ハ臺灣ニ施行サレタ所ノ六十三號デアルトカ、或ハ朝鮮總督ノ制令權ヲ認メタト云フガ如キ、委任立法ノ手段ヲ御執リニナルニ非ザレバ、甚ダ都合ナル事柄ガ發生スルノデアラウト思フノデアリマス、必ズヤ或特殊ノ立法ト云フモノヲ本議會ニ御提出ニナラナケレバナラヌコトト思フノデアリマスガ、斯様ナ立法ノ手續ヲ、甚ダ後レタルコトト申シナガラ、政府ハ此際御提出ニナル御考デアアルヤ否ヤ、ソレカラモット私ハ重要ナル事柄ト思ヒマスノハ、昨年ノ十二月華盛頓ニ於テ是亦平和條約ノ結果ト致シマシテ、第一回ノ勞働會議ト云フモノガ開カレ、現ニ鎌田君ノ如キハ政府ヲ代表セラルル側ノ委員トシテ之ニ出席セラレタノデアアル、此會議ニ於テ凡ソ五ツノ條約、或ハ勞働時間ノ條約案、或ハ失業ニ關スル條約案、或ハ産前産後ノ婦人ノ勞働ニ關スル條約案、或ハ女子ノ夜間作業ニ關スル條約案、或ハ少年工業勞働ニ關スル條約案等、五ツノ條約案ト云フモノガ決定セラレタ、又六ツノ各國政府ニ對スル所ノ勸告案ト云フモノガ總會ニ於テ決定ニナッテ居ルノデアリマス、是等ノ條約案及ビ勸告案ト云フモノノ中ニハ、全部殆ド法律ヲ以テシナケレバナラヌ事柄バカリデアルト思フノデアリマス、殊ニ條約案ニ關シテハ、然リト思フノデアアル、殊ニ其中デモ勞働時間ニ關スル條約案ニ於キマシテハ、非常ナル長イ時間ヲ費シテ、サウシテ日本ノ爲ニハ特ニ除外例ヲ設ケテ、其ノ除外例ト云フモノガ日本ノ意見通りニ略、極ッテ居ルノデアアル、デスノ如ク決定ニナリマシタ所ノ條

約案ナルモノハ、必ズヤ講和條約ノ定ムル所ニ從ッテ、講和條約ノ第四百五條ニ定ムル所ニ從ヒマシテ、一年以内ニ權限アル機關ニ提出セラレテ、遅クモ十八箇月以内ニハ權限アル所ノ機關ニ提出セラルル所ノ義務ヲ政府ハ負ッテ居ルコトト私ハ信ズルノデアリマス、然ラバ華盛頓會議カラ十八箇月ヲ數ヘマズレバ、本年ノ七月二十幾日ヲ以テ其期間ガ來ルノデアリマス、本年ノ七月ト云フ時期ハ丁度議會ガナイ時デアリマスカラ、今期議會ニ是等ノ條約案等ハ法律案ノ形ニ於テ議會ニ御提出ニナルニ非ザレバ、到底條約ノ批准ヲ爲サルコトハ出來マイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、是等ノ諸案モ亦此際御提出ニナルベキコトト私ハ確信ヲ致スノデアリマス、左様デゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、若シ左様デゴザイマセウカト致シマス、私ハ甚ダ其後レタルヲ憾ムノデアリマス、華盛頓會議ハ一昨年ノ十二月デ、而シテ其結果ト云フモノハ既ニ鎌田君ガ直ニ持ッテ歸ラレテ、之ヲ法律案ニスルト云フコトハ極メテヤサシイコトデアアル、而カモ日本ガ態ニ提議ヲシテ除外例マデ設ケ得タモノヲ、今更之ヲ法律案ニシナイ、或ハ條約ヲ批准シナイトカ云フコトハ出來ル筈ノモノデナカラウト思フノデアリマス、而シテ又各國ノ事例ヲ見マス、各國トモ是等ノ條約案ニ關スル所ノ法律ヲ制定スルト云フコトニ付テ、手續ヲ執ッテ居ラス國ハ確力無イト思フ、唯一箇國、議會ニ提出シナイ國ガ先日マデアッタト思ヒマスガ、今日ハ殆ト全部議會ニ提出濟ニナッテ法律ニナッテ居ルト思フ、然ニ日本獨リ之ヲシナイト云フコトハ如何ニモ遅レタルヲ憾ムンデアリマスガ、政府ニ於テハ速ニ之ヲ御提案ニナル積リデアルカ、ドウカ、尙ホ唯今ノ上山君ノ御趣意ハ誠ニ御尤ト思フノデアリマスカ、今ヤ將ニ僅ニ二週間ヲ餘ス所ノ此議會ニ於テ、是等ノ澤山ノ法律案ヲ議了スルト云フコトハ甚ダ難イノミナラズ、更ニ唯今私ガ述ベマシタル如キモノヲ御提案ニナルベキモノト確信イタシマスルガ、左様ニ致シマスルト到底此會期ヲ以テ致シマシテハ議了甚ダムツカシキヲ感ズル次第デゴザイマスカ、政府ハ更ニ多少ノ日子ノ、會期ヲ延長セラレルト云フ御趣意ハナイノデアルカ、此點ヲ承ハッテ置キタイト思ヒマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 唯今江木君ノ御質問ノ第一點デアリマスガ、委任統治ノ形式ハ先般確カ外務大臣ヨリ申シタカト記憶イタシマスルガ、兎ニ角ニ決リマシタ、依テ我國ニ於テモ此ノ委任統治ノコトニ付マシテ相當ナル處置ヲ

致サナケレバナラヌノデアリマス、併シ是ハ急速ニ運バヌノデアリマス、デ今日ハ軍事占領ノ儘居リマス、何時マデモ軍事占領ノ儘デハ置ケヌノデアリマスケレドモ、委任統治ノ形式モ近頃定ッテ、如何ナル狀況ニ依テ之ヲ統治イタサナケレバナラヌカト云フコトハ、原則ニハ決ッテ居リマスガ、實行上ニハ餘程ノ審議ヲ要スルコトト考ヘマス、是等ノ決定スルマデハ軍事占領ノ儘置ク外アリマセヌ、從ッテ今期議會ニ之ニ關スル法律案ヲ提出スルカ、シナイカ、今日ニ於テハ未定デアリマス、恐ラク提出ハ出來マイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ労働會議ノ結果デアリマス、是ハ實ハ列國ニ於テモ色々説ガアリ、聯盟事務局等ニ往復モ致シテ居ルト云フコトハ承ハッテ居リマスカ、確定イタシテハ多クアリマセヌ、ト申シマスルモノハ我國ニ於テモ、條約デアリマス、條約案ト云フガ爲ニ此ノ取扱上餘ホドノ詮議ヲ要スルノデアリマス、又此決議ノ箇條中悉ク採用スベキヤ否ヤ、列國共各、詮議ヲ要スルコトデアリマス、故ニ今日ニ於テハ是モ果シテ議會ノ御協賛ヲ得ル法律ヲ提出スルカ、サウ參ラスカ、是モ十分ナ詮議ヲ要スルコトデアリマス、何レニ致シマシテモ此儘ニ置クコトハ相成ラヌノデアリマスケレドモ、我國ニ取リマシテハ條約ニモ非ズ、法律ニモ……無論法律ニナリヤウハアリマセヌガ、條約案ト云フ爲ニ甚ダ詮議ヲ致ス時ヲ費シテ居ルノデアリマス、何レニカ決定次第相當ナル處置ヲ致シタイ、殊ニ權威アル機關ト云フコトニ付テハ、何ヲ指スノデアラウカト云フコトモ色々、詮議ヲ要スルコトデアラウ、旁是ハ今日未定ナリト申スヨリ外アリマセヌ、ソレカラ會期ノコトデアリマス、今日政府ハ會期ヲ必ズ延長スルト云フヤウナル豫期モ致シテ居リマセヌ、成ベク會期中ニ御審査ヲ仰ギ、結了イタシタイト思ヒマス、併シ萬已ムヲ得ザレバ、ソレハ其時ノ取計セテ致ス外ナイト考ヘマス、是ハ其時ニ起ル實際問題デアリマスカラ、豫メ今日ヨリ申シニクイノデアリマス、左様御承知ヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、男爵阪井重季君請假ノ件、阪井男爵病氣ニ付八日間ノ請假デゴザイマス、許可ヲ致スコトニ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 此場合ニ於テ一言シテ置キタイノデアリマスガ、先般學校紛糾問題ニ付テ、當院ヨリ建議セラレマシタ其當時御答イタシテ置イタル次第モアリマスルガ、政府ニ於キマシテハ此ノ學校問題ヲ成ベク早ク解決スルコトヲ希望イタシマシテ、私ノ手許ニ於テ大體ノ案ヲ定メマシテ、所謂骨組ヲ造リマシテ、之ヲ決定イタシタノデアリマス、是ヨリ更ニ參考ニ相成ルベキ種々ノ書類等モ纏メナケレバナラスノデアリマスカラ、直ニトハ参リ兼メセウケレドモ、左様ニ取計フ積リデアリマス、是モ御了承ヲ得タイト思ヒマス、又風紀問題、是モ建議中ニ含蓄セラレテ居ルコト承知イタシマス、此ノ學校問題ニ付テハ豫算總會ニ於テ種々ノ應答問題モ致シマシタノデアリマスカラ、自然御承知ノコトデアリマセウガ、併シ此ノ風紀問題ニ付テハ遂ニ政府ノ所見ヲ述ブルノ機會ガナカッタノデアリマス、併シ政府ニ於キマシテ風紀問題ニ付テハ、從來其處置ヲ怠ッタ次第デアリマセウケレドモ、併シ尙ホ一層ノ注意イタシマシテ、部下ヲ戒飭イタシテ、十分ニ其效果ヲ舉ゲルヤウニ致ス積リデアリマス、是モ併セテ御了承ヲ得テ置キタイ次第デアリマス、此場合ニ於キマシテ政府ノ取リマシタ大體ノコトヲ申上ゲテ置キマス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 私ヨリモ此場合一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、唯今總理大臣ヨリ申サレマシタル通り、學校ノ問題ハ此通りニ處理ヲ致ス積リテ當局ハ居リマス、又風紀問題ニ付マシテハ、文部當局ニ於キマシテハ殊ニ注意ヲ加フベキコトハ申スマデモナイ譯デアリマス、故ニ從來之ヲ怠ッタ譯デアリマセウケレドモ、今後ニ於テハ尙ホ更ニ一層ノ注意ヲ致サウト思フテ居リマス、又學校ノ騒動ノ如キ數年前ヨリ致シマシテ、連續シテ居ッタコトニハ相違アリマセウガ、併シ最近文部當局ニ於キマシテ計畫中ノ一部ガ他ニ漏洩イタシマシテ、是ガ爲ニ一層ノ紛糾ヲ重ネルニ至リマシタルハ、官紀上注意ノ至ラザリシ點モアリマシタカラシテ、殊ニ其邊ニ付マシテ今後私ニ於キマシテモ十分注意ヲ致シマスルシ、又部下ニモ十分注意ヲ致スヤウニ致ス積リデアリマス、ドウカ右様ニ御了承ヲ下サルヤウニ願ヒタイト思フ次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際總理大臣並ニ文部大臣ノ發言ニ對シテ質疑ノ通告ヲ得マシタ、通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマスガ、議長ハ此發言ハ質

疑ノ範圍ニ御止メヲ願ヒタク存ジマス、是ダケ念ノ爲メ申上ゲテ置キマス

○子爵酒井忠亮君 此席カラ申上ゲテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵酒井忠亮君 豫ネテ本院ヨリ建議ヲ致シマシタ所ノ、例ノ高等教育機關ニ關スル建議ニ付テ、唯今總理大臣並ニ文部大臣ヨリ、之ニ對スル御辯明ガアリマシタニ付マシテ、更ニ一言御意思ノアル所ヲ十分確メテ置キタイト思ヒマス、此建議ノ趣旨ハ諸君モ御承知ノ通りニ、第一ハ學校昇格問題、是ハ如何ニモ政府ハ逡巡サレテ居、學生ハソレガ爲ニ歸嚮スル所ヲ知ラス、從テ大ニ騷擾ヲ醸シタト云フコトニ付テハ、政府モ其原因ノアル所ヲ御考慮ニナツテ、既ニ政府部内ニ於テ委員會ヲ御造リニナリマシテ、益、此問題ニ付テ考慮ヲセラレテ、既ニ成案モ得ラレ、將來ノ執ルベキ途、執ルベキ方法ヲ執テ、成ベク速ニ之ヲ御解決ナサルト云フコトニ付テハ本員ハ了承イタシマシタ、第二ノ風教問題ニ付マシテハ最モ肝腎ナコトデアリマスカラ、念ノ爲ニ更ニ御伺ヲ致シマスルガ、文部當局ノ方ハ此問題ニ付テハ固ヨリ當局ノ現在ニ照シ、過去ニ鑑ミテ注意ノ届カヌ點モアッタト云フコトハ、詰リ今日マデノコトニ付テ缺點ガアルト云フコトヲ自覺セラレタモノト存ジマスルガ、現在過去ノコトニ於テハ最早問フ必要ガアリマセウガ、將來ニ向ッテハ十分此問題ニ付テハ、風教維持ニ付テ、出來ルダケノ御努力ヲ以テ、風教維持ヲ御努メニナルト云フコトニ拜承イタシマシタガ、ソレニ付テ具體的ノコトヲ伺フト云フコトハ、今日ハ伺ヒマセウガ、御決心ハ十分アルコトヲ今日御言明ニナツタト、我々ハ承知イタシテ宜シウゴザイマセウカ、一言總理大臣ニ、ソレニ付テノ御言明ヲ願ヒマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 學校問題並ニ風紀問題ニ付マシテ先刻申上ゲマシタ趣意ハ、唯今酒井子爵ノ御述ベノ如ク、學校ハ此計畫ニ基キ進行イタシマスル、風紀問題ハ將來ニ於テ政府ハ十分ナル注意ヲ拂ヒマシテ、其效果ヲ舉ゲルコトニ努メル積リデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 唯今總理大臣ノ釋明デアアルカ、陳謝デアリマスルカ、御話ガアリマシタガ、其コトニ付テ伺ヒタイノデゴザイマス、去ヌル九日ニ……先月ノ九日ニ本院ヲ通過イタシマシタ建議案、高等教育機關ニ關スル建議案

ニ付マシテ、其後政府ニ向ッテ種々質問モアリマシタコトハ御承知ノ通りデゴ
 ザイマス、又議員ノ側ニ於キマシテモ、成ベク今日内外多難ノ際、圓滿ニ解
 決ノ著クコトナラ著ケタイト云フコトハ、全院諸君ヲ舉ゲテ熱心ナ希望デアッ
 タノデアリマス、依テ政府ノ色々御辯明モ聴キ、各派交渉會モ開イテ、色々
 相談致シタノデアリマスガ、ドウモ政府ノ御處置ガ一同満足シナイ、デ唯今
 總理大臣竝ニ文部大臣ヨリ御話ニナッタヤウナコトモ、一案トシテ上ッタノデ
 アリマスルケレドモ、是ハ到底満足スベキモノデナイ、相當ナル處置トシテ
 十分ニソコノ責任ヲ明カニスル途ガナクテハナラヌト云フガ故ニ、此ノ決議
 案ガ既ニ多數ノ賛成ヲ得テ提出ニナッタ、デ今日ノ勢ヲ以テ見レバ既ニ賛成者
 ガ百二十何名ト云フヤウナ勢デアリマスルカラ、是ガ上程セラレタ場合ニハ
 或ハ全會一致ニナルカモ測ラレヌト云フヤウナ場合デアアルノデアリマスル
 ガ、唯今何ノ必要ガアッテ、突然此豫算ノ審査期限デモ定メルト云フ際ニ、總理
 大臣文部大臣ヨリ御話ガアッタノデアリマセウカ、ドウモ我々ニハ意味ガ解ラ
 ス、一體釋明スルトカ、陳謝スルトカ云フヤウナコトハ、一ツノ紛糾シタル
 事件ヲ解決スル場合ニ、議員ノ方ト内閣ノ方ト互ニ能ク胸襟ヲ披イテ内談ヲ
 遂ゲタ上ノ話ナラバ、ソレハ聞エテ居リマス、サウ云フコトハ前例モアッタコ
 トデアアルケレドモ、既ニ多數ノ賛成者ガ此ニ記名シテ出テ、是ガ愈々表決サレ
 ル時ニ、全會一致デモ行クカ知レヌト云フヤウナ場合ニ、既ニ捨テラレタ案
 ヲ以テ此ニ釋明セラレテモ、我々ハ受ケヤウガナイ、釋明セラレテモ陳謝セ
 ラレテモ、受ケヤウガナイ、ドウ云フ意味デ突然ト斯ウ云フ際ニサウ云フコ
 トヲセラルルノデアリマスカ、甚ダ惑ハザルヲ得ヌノデアリマスルガ、或ハ
 政府ニ於テ相當ナル此ノ決議案ノ意味スル如キ處置ヲ執ルカラ之ヲ撤回シテ
 吳レト云フヤウナ御意味デモアルノカ、チヨット其、甚ダ本員ハ惑ヒマスルノ
 デ、明瞭ナル御答ヲ得テ置キタイト考ヘマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕
 ○國務大臣(原敬君) 唯今阪谷君ノ御質問デアリマスルガ、政府ハ先般適當
 ト認ムル處置ヲ執ルト云フコトヲ、建議ヲ議決セララルル場合ニ申シテ置イタ
 ノデアリマス、依テ政府ハ適當ナル措置ヲ執ッタト云フコトヲ、議員諸君ニ申
 スノガ政府ノ義務デアラウト考ヘタノデアリマス、故ニ此場合ニ於テ其コト
 ヲ申シタノデアリマス、其趣意ハ既ニ申シタル通り、又前刻酒井子爵ノ御質
 問ニ答ヘマシタ通り、即チ御質問ニ對シマシテハ、大體御質問ノ通りナリト

御答イタシマシタノデアリマス、之ニ依テ阪谷君ニ於テモ御了承アルコトト
 信ズル、政府ニ於キマシテハ、決議案ノ如何ニ相成ルカハ敢ヘテ彼是申ス所
 デハアリマセヌ、併シ先般建議ノ際ニ、政府ノ認メテ適當ナル措置ヲ執ル積
 リデアルト云フコトヲ申シマシタカラ、適當ナル措置ヲ執ッタト云フコトヲ、
 茲ニ議員諸君ニ申シ置クコトガ適當ナコトト考ヘテ之ヲ辯明イタシタニ過ギ
 スノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 強チ決議案ヲ撤回シテ吳レト云フ意味デモナイト云フヤ
 ウニ伺ヒマシタガ、一向本員ハ何ノ爲ノ釋明デアアルカ、陳謝デアアルカ、能ク
 意味ガ分リマセヌ、既ニ決議案ガ提議ニナッテ居リマス以上ハ、其際ニ十分ニ
 本員等ノ意見ハ申述ベル、又政府ノ意見モ伺ヒマスガ、今日兩大臣ヨリ御言
 明ニナルコトハ、一向満足ヲシ能ハヌノデアリマス、此際私ノ質問ハ是デ打
 切ッテ置キマス

○仲小路廉君 極メテ簡單ナ質問デアリマス、此席上ヨリ一言イタシマス、
 總理大臣ニ伺ヒタイ、二月九日貴族院ニ於テ、滿場一致ヲ以テ決議イタシマシ
 タ此ノ建議案ハ、其趣旨ヲ政府ハ御採納ニナルノデアリマスカ、ナリマセヌ
 ノデアリマスカ、此事實ヲ簡單ニ承ハリタイ、採用スルノデアアルカ、採用セ
 スノデアアルカ、先ヅ其點ヲ簡單ニ伺ヒマス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 先刻述べマシタ所ノ事柄ハ、即チ建議ノ趣意ニ副フモ
 ノナリト政府ハ考ヘテ居リマス、建議ノ御趣意ハ學校問題ノコトト、風紀問
 題ニアッタト解釋イタシマシタカラ、學校ハ斯ノ如ク致シ、風紀問題ハ斯ノ如
 ク致ス、即チ是ハ政府ニ於テハ建議ノ御趣意ニ副フモノナリト信ジテ居リマ
 ス

○仲小路廉君 唯今總理大臣ヨリ貴族院ノ建議ニ付テハ、其意思ニ副フ考ヲ
 以テ陳述シタノデアルト申サレマシタガ、元來二月九日當院ノ議決イタシマ
 シタ所ノ建議案ハ、此中ニハ極メテ重要ナ意味ヲ包含シテ居ル、殊ニ國民的
 風教道義ノ點ニ於テ、極メテ嚴肅ナ意味ヲ包含シテ居ルノデアリマス、此嚴
 肅ナル建議案、而モ貴族院ニ於テ滿場一致ヲ以テ決議イタシマシタル此ノ建
 議案ニ對シテ、唯今陳謝ト申シマスルカ、釋明ト申シマスルカ、兩大臣ヨリ
 御述ベニナリマシタノデゴザイマスルガ、此點ニ付マシテハ私共ハ阪谷男爵
 ト全ク感ヲ同ジクスル次第デアリマス、當院ニ於テ滿場一致ヲ以テ議決シタ

ル建議案ニ對シテ、唯今政府ノ御執リニナリマシタ處置ハ、我々ハ極メテ不満足デアリマス、故ニ此ノ不満足ヲ表示イタシマスルガ爲ニ、貴族院トシテハ適當ナル方法ヲ執ル考ヲ以テ、ソレゾレ其手續ヲ盡シテ居ル譯デアアル、尙ホ此際ニ於テ我々一同ノ……

○議長(公爵徳川家達君) 仲小路君ニ伺ヒマスガ

○仲小路廉君 此趣旨ヲ以チマシテ……

○議長(公爵徳川家達君) 尙ホ質疑ナサルノデアリマスカ、如何デアリマス

○仲小路廉君 暫ク……

○議長(公爵徳川家達君) 暫ク……質疑デゴザイマスカ、御意見ガゴザイマスカラ確メテ置キマス

○仲小路廉君 其趣意ヲ以テ、私ノ質問ハ是デ終ル積リデアリマス

○江木千之君 私ハ第一ニ總理大臣ノ唯今ノ釋明デアリマスカ、說明デアリマスカニ對シテ、質問ヲ致サウト考ヘルノデアリマス、此質問ヲ致サウト考

ヘル點ハ、唯今總理大臣ノ述ベラレタコトハ、過日各派ノ交渉委員ヲ大臣室ニ招カレテ、其節述ベラレタコトト少シモ變リハナイノデ、是ハ内閣書記官

長ヨリ、書面ヲ以テ私共ノ手許ヘ通ジテ居ル、ソレト少シモ違フテ居ラヌノデアリマスルガ、是ハ甚ダ不條理、了解スベカラザルコトノミヲ申シテ居ラレル

ノデアアル、ト申スノハ唯今昇格ニ付テハ總理大臣ガ委員長ノ如キ位置ニ於テ骨組ノ調査ヲ終ツテ、是ヨリ文部ノ諮問機關ニ付議スル積リデアアル、斯ウ云フ

コトヲ仰セニナツテ居リマスガ、斯ノ如キコトヲ御答ヘニナツテ何ノ用ヲナスノデアアルカ、實ハ總理大臣ハ文部省ノ諮問機關ノ原案ヲ作ル所ノ官吏トナラ

レタノデアリマセウカ、諮問機關ガドウ決メルカモ分ラヌガ、先ヅ案ヲ作ツタト云フ御話ナラバ、是ハ唯諮問機關ノ原案ヲ作ル官吏ノナラバ、大體ノ

方ガナイ、又總理大臣トシテ意見ヲ定メタト云フコトデアラナラバ、大體ノ骨組ヲ總理大臣ガ決メタ以上ハ、諮問機關ニ掛ケテ斯ウスルノデアアル、諮問

機關ハ骨組ヲ變ヘサセナイノデアアルト云フコトナラバ、有力ナル調査機關ニ與ヘルト云フ豫テノ御言葉ハ丸デ反古ニナツテ仕舞フノデアアル、如何ニシテモ

此說明ノ如キハ受取り難イノデアリマスルガ、併シ何デ斯ノ如キコトヲ總理大臣ガ述ベラレタノデアアルカト考ヘルト、是ハ建議ノ說明ヲ少シ誤解サレタ

カラ、斯様ナコトニナツタデアラウカト考ヘル、建議案ノ說明ニ於テハ此年

度ニ昇格ヲ實現セシムルカドウカ、追加豫算ヲ出サレルヤ否ヤト云フコトヲ能ク責メタノデアリマス、ソレ故ニ總理大臣ハ此年度ニ實現ササウ、實現サスコトハ出來ナイニシテモ、實現サス方ニ向ツテ進行シヤウトシテ斯ノ如キコトヲサレタトシカ思ハレナイ、併ナガラ是ハ決シテ此建議ノ本旨デナイ、建

議ハ必ズ斯ウ云フコトヲ爲サルヤウニト云フコトヲ望ンデハ居ラヌ、本年度ニ實現ト云フコトハ恐ラクハ出來マイト考ヘル、出來ナイト仰セラレタナラ

バ即チ言責不實行、食言ガ實現セラレルト云フコトヲ考ヘタノデアリマシテ、ソレヲ確メル爲ニ建議ノ說明ニ於テハ此點ニ力ヲ用ヒタノデアリマス、何

ゾ圖ラム、ソレハ昇格ヲ急グノデアアルト云フ、斯ウ御考ヘニナツタカ、頻ニ昇格ノ方ニ向ツテ進マレルガ、斯ノ如キ調子デ昇格ガ實現シタナラバ、教育ノ制

度ハ殆ド紊サレテ了フノデアアル、實ニ總理大臣ノ此間ノ御處置ハ、少シク御

狼狽ノ氣味デアアルカ、洵ニ了解イタシカネルガ、此點ハ質問イタサウト考ヘ

マシタガ、私ハ是ハ質問スル方ハ宜シクナイト唯今考ヘタノデアリマス、此

順デ推シテ行ツタナラバ、大事ナ教育制度ガドウ云フヤウニ損壞サレルカ測ラ

レヌノデアアル、是ハ私ハモウ總理大臣ニ向ツテ此點ハ暫ク責メヌ方ガ宜シイト

考ヘル、教育制度ガ大事デアアル、之ヲ推詰メテ行ツテ、教育制度ニ安ニ變更ヲ

加ヘラレタナラバ、實ニ取返シノ付カヌコトニナルデアリマセウカラ、質問

ノ通告ハ致シテ置キマシタガ、總理大臣ニ對スル質問ハ私ハ止メマスル、次

ニ文部大臣ノ唯今ノ釋明デアリマスルガ、實ニ何タルコトデアアル、曩ニ内閣

ノ野紙ニ書イテ通ゼラレタ趣意ニ於テハ「官紀上淪ニ遺憾至極ノ次第デアリ

マスカラ」ト斯ウ云フコトガアリマス、ソレヲ「注意ノ至ラザル點モアリマシ

タカラ」、唯此一句ヲ少シ變ヘラレタノデアアル、是ハ我々各派ノ間ニ於テハ、

度ニ修正ヲ求メタラ如何デアラウカト云フ話ハ出マシタガ、如何ニシテモ

ドウモ小刀細工デ、小刀細工ノ最モ甚ダシイモノデアラカラ、堂々タル貴族

院ガ天下ニ嗤ヒヲ貽シテハナラナイト云フ考デ、是ニハ同意ラシナカッタノデ

アリマス、加之此一句ヲ改メテ見タ所ガ、文部大臣ノ冒頭ニ述ベラレタ「學校

騒動ノ如キハ數年來連續シテ居ルモノ」云々、此ノ校紀風紀ノ弛廢ヲ視テ、

淪ニ輕シク之ヲ言ヒナサムトシテ居ラレル、事モナゲニ申シテ居ラレル、

無論是ハ是迄ノ學校騒動ヲ答メタノデハナイ、茲ニハ我々ノ眞意ガ存シテ居

ルノデアアル、即チ天下ノ憂ニ先ダチテ憂ヘラレル所ノ諸君デナケレバ、此意

味ヲ解スルコトハ出來ナイノデアアル、斯ノ如キ實ニ何トモ申サレヌ小刀細工

ヲ以テ、堂々タル貴族院ハ決シテ満足ハ出來ナイノデアリマスガ、是モ私ハ之ニ付テハ十分ナル意見ヲ述ブルノ機會ガ横ハッテ居リマスカラ、文部大臣ニ對スル質問モ止メテ、其機會ニ讓ルコトニ致サウト存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際議長カラ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、江水君ハ國務大臣ノ發言ニ對シテ、質疑ヲ許サレタイト云フ趣デ通告イタサレマシタカラ、發言ヲ許シマシタ、然レモ是ノ理由ガアルカラ質疑ヲ止メルト云フコトヲ御述ベニナル、質疑ヲ御止メニナルナラバ、何モ仰シヤラズニ御止メニナルノガ宜イノデアリマス、少シク徳義ヲ御守リヲ願ヒタイト存ジマス、將來ノ爲ニ一言申上ゲテ置キマス

○江水千之君 本員ハ徳義ハ十分守ツタ積リデアリマス、議長ヨリ徳義ヲ守ラスト云フ御言葉ヲ頂戴シラハ私ハ懲罰委員ニ付セラレル外ハナイト思ヒマスガ、私ハ今日迄他ノ點ニ於テハ非難モ受ケマシタラウガ、徳義ヲ守ラスト云フ言葉ヲ頂戴シタコトハナイノデアリマスルガ、唯今ノ議長ノ御言葉ハ私ガ徳義ヲ守ラスト云フコトヲ仰セラレタノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、モウ一應伺ッテ置キタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 質疑ヲ通告サレタ御方ハ、質疑ヲ爲サルコトヲ望ム、徳義ヲ守ラレタイ云々ト云フコトハ一般ニ申シタ積リデゴザイマス
〔子爵大河内正敏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 大河内子爵ハ何デゴザイマスカ

○子爵大河内正敏君 私モ唯今ノ點ニ付意見ヲ述ベタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 意見トハ何デアリマスカ

○子爵大河内正敏君 江水君ノ質問ニ付テ議長ハ……

○議長(公爵徳川家達君) チョット御待チテ願ヒマス、只今質疑ノ通告モアリマスカラ、ソレガ濟ミマシテカラ願ヒマス

○男爵藤村義朗君 私ハ唯今中橋文部大臣ノ御聲明ニ付マシテ、少シク解義シ兼ネマスル點ガゴザイマスノデ、御尋ネヲシタイト思ヒマスガ、御席ニ御出デニナリマセス、ドウゾ御呼出シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 文部大臣ハ出席シテ居ラレマス

○男爵藤村義朗君 柱ニ隠レテ御出デニナリマス、文部大臣ノ御言葉ノ中ニ風紀問題ニ付テハ文部當局ニ於テ從來注意ヲ怠ッテ居タ次第デハナイガ、今後ハ更ニ一層注意ヲスルト云フ仰セガアリマシタガ、右ハ教育界ノ風紀ガ近來

特ニ紊亂弛緩シテ參ッタト云フ事實ヲ御認メニナッテ左様ニ仰シヤッタノデアリマスカ、念ノ爲ニ先ツ之ヲ伺ヒマス

〔國務大臣中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋徳五郎君) 唯今此方ノ御方ノ御質疑ガアリマシタノデ、少シ御聴キ取リ兼ネマシテ、席ヲ移シテ居ッダ譯デアリマス、唯今アナタハ此方側デアリマスカラ、此方ニ復席イタシマシテ、能ク承知イタシマシタ、私共ノ唯今申上ゲマシタノハ、學校ノ多少動搖ヲ致シマシタト云フコトハ、色々ノ原因ヨリ致シマシテ時々アルノデアリマス、又此頃ニ計畫ノ一部ガ世間ニ漏レマシタニ付マシテ、稍、其不安ヲ増シタト云フヤウニ見受ケタノデアリマスルデ、是ガ爲ニ一般ノ道徳ニ如何ナル影響ヲ及ボシ、國民ノ風俗ニドウト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセス

○男爵藤村義朗君 更ニ伺ヒマスガ、唯今文部大臣ノ御言葉ノ中ニ、文部當局ニ於テ學校ノ昇格問題ニ關スル計畫中ノ一部ガ他ニ漏洩イタシテ、爲ニ一層紛糾ヲ重ネルニ至ッタ、是ハ官紀上遺憾ノ事デアルト云フ御意見ガアリマシタガ、文部當局ノ誰ガ之ヲ洩ラシタノデゴザイマスカ、故意ニ誰ガ洩ラシタカ、或ハ偶然ニ洩レタノデアルカ、又漏洩セシメテ、學界ノ紛糾ヲ重ネマシタ責任ハ、無論糺サレルコトデアラウト思ヒマスガ、左様心得テ宜シウゴザイマスカ

〔國務大臣中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋徳五郎君) 御答ヲ致シマスガ、此漏洩ヲ致シマシタノハ何分今日マデ分リマセス、甚ダ残念ニ存ジマス、何レ洩ラシマシタ人ガアラウト思ッテ居リマスガ、色々詮索イタシマスケレドモ、何分今日マデ分リマセス、併シ此洩レマシタニ付マシテ、學校ノ職員等ニ付テノ不安ノ念ヲ與ヘマシタト云フコトハ、寔ニ残念ナルコトデアリマシタ、私ハ此點ニ付テハ非常ニ遺憾ヲ感ジマスルカラ、斯ノ如ク御述ベテ致シタヤウナ譯デアリマス

○男爵藤村義朗君 尙ホ伺ヒマス、學校問題ノ紛糾ヲ重ネマシタコトニ付マシテハ、文部大臣ハ御自身ノ注意ノ到ラザリシ所デアルト云フコトヲ、先程仰シヤッタヤウニ記憶シテ居リマス、是ゾ即チ過日本院ニ於キマシテ建議案ガ提出セラレマシタ際ニ、提出者前田子爵ノ、文部大臣ノ大失策デアアル、大輕卒デアアル、裏切デアアルト攻メラレタ所デアラウト思フ、文部大臣ハソレヲ今日初メテ御承認ニナッタノデアルト思フ、サスレバ文部大臣ハ御自身

ノ不注意ヲ斯様ナ遺憾至極ノコトヲ來シタニ付マシテハ、當然責ヲ引カレテ、相當ノ御覺悟ヲナサルデアラウト私ハ存ジマスガ、天皇輔弼ノ重責ヲ負ハレル文部大臣トシテ、左様ノ御覺悟ハ當然ノコトデアラウト思フ、如何デゴザイマスカ、御所見ヲ伺ヒマス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 此計畫ノ一部ガ他ニ漏洩イタシタト云フコトハ寔ニ残念ナコトデアリマシテ、私ハ其點ニ付マシテ大體モウ少シ注意ヲ致シテ居ッたらバ、決シテ漏洩ハシナカッタカモ知レヌト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、寔ニ是ハ残念デゴザイマス、是ガ若シ洩レマセスケレバ、或ハ皆様ニ是程ノ御心配ヲ掛ケルノ必要ナカッタト、今更思ッテ居ル次第デアリマス

○男爵藤村義朗君 ソレデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、第三、第四、第五、第六ハ諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、一括シテ問題トシ、説明ヲ煩ハシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、大正九年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、第三、大正九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、第四、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、第五、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第二號、第六、大正十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ做フ〕

(第二號)大正九年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(特第一號)大正九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月八日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

(特第一號)大正十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月九日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔國務大臣(子爵高橋是清君) 唯今上程ニナリマシタル日程第二ヨリ第六ニ至ルマデヲ一括シテ、其説明ヲ簡單ニ申上ゲマス、今日提出イタシマシタル

大正九年度一般會計追加豫算ハ、歳入歳出各五千八百餘萬圓デアリマシテ、其ノ歳出中主ナルモノハ、經常部ニアリマシテハ、大藏省所管諸拂戻金ニ於テ二百餘萬圓、陸軍省所管被服費兵器彈藥等ノ不足額八百餘萬圓、海軍省所管醫療費ノ增加二百餘萬圓等デゴザイマス、又臨時部ニアリマシテハ大藏省所管關東廳「ベスト」防邊ノ爲ニ要シマシタル經費補充ノ追加二十五萬圓、海軍省所管軍艦製造費ノ追加三千七百餘萬圓等デゴザイマシテ、何レモ物價騰貴ノ影響ヲ受ケタルモノ、若クハ災害ノ發生其他至急支出ノ已ムベカラザルモノデゴザイマス、而シテ右ニ對スル財源ト致シテハ主トシテ戰時利得税ノ增加額二千二百餘萬圓及ビ前年度剩餘金繰入三千六百餘萬圓ヲ以テ之ニ充當イタシマス、各特別會計ニ於キマシテモ、大體一般會計同様必要已ムベカラザル經費ノ追加ニ屬スルモノデゴザイマス、又追第一號豫算外國庫ノ負擔ト

ナルベキ契約ニ關スル件ハ、山形縣ノ災害土木費借入金ノ利子補給ノ契約デ
ゴザイマシテ、大正九年度一般會計追加豫算、即チ唯今前ニ述ベマシタルモ
ノニ伴フモノデゴザイマス、次ニ追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約
ニ關スル件ハ、蠶絲業救済貸付金ノ補償ニ關スルモノデアリマス、即チ帝國
蠶絲株式會社ニ對シテ、日本興業銀行及ビ日本勸業銀行ガ資金ノ貸付ヲ爲シ
タル場合ニ於テ、帝國蠶絲株式會社ガ精算ノ際ニ、其資産ヲ以テ右兩銀行ニ
對スル貸付金ノ辨濟ヲ爲スコトノ能ハザル場合ヲ生ジ、兩銀行ニ於テ、ソレガ
爲ニ損失ヲ生ズル場合ニ於テ、政府ガ此損失ヲ補償スルコトヲ、前ノ兩銀行
ニ對シテ契約ヲ爲シ得ルト云フコトノ案デゴザイマス、但シ其ノ損失補償ノ
限度ハ三千萬圓ト致シマシテ、此程度ニ於キマシテ兩銀行ニ對シテ損失補償
ノ契約ヲ致シマスレバ、帝國蠶絲株式會社ニ於テ右兩銀行ヨリ資金ノ融通ヲ
受クルノ便ヲ得マシテ、蠶絲業救済ノ實ヲ十分ニ舉グルコトガ出來ルト云フ
見込デアアルノデゴザイマス、又大正十年度特別會計追加豫算第一號ハ、米
穀法ノ施行ニ伴ヒマスモノデゴザイマス、即チ米穀需給調節特別會計ノ大正
十年度ニ於ケル豫算デゴザイマス、米穀法ノ實施ニ要シマスル事業費、事務
費等デアアルノデ、其實行ノ方法ニ付マシテハ既ニ米穀法案及ビ米穀需給調節
特別會計法案ノ御審議ヲ願フ際ニ於キマシテ、詳細説明ヲ致シマスル所デア
リマシテ、諸君ノ御承知ノコトト存ジマス、國債整理基金特別會計ノ追加豫
算ニ、右米穀需給調節特別會計ノ歳入タル借入金ニ相伴フモノデアリマス、
以上何レモ至急ヲ要スルモノデゴザイマスカラシテ、何卒御審議ノ上速ニ御
協賛ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、順次許シマ
ス

〔若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○若槻禮次郎君 私ハ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル追第二號ニ
付テ質問ヲ致シタイノデアリマス、是ハ所謂蠶絲救済ニ關スル問題デアリマ
ス、此前ニ總豫算案ガ議場ノ問題ニナリマシタ時ニ、私ハ此コトヲ政府ニ伺
ヒマシテ、當時質問ノ趣意ヲ述ベマスニ當リテ、凡ソ買占ニ依テ價格ノ維持ヲ
シヤウト云フ事柄ハ、餘リ長カラザル間ノ價格ハ結局維持スベキ所ニマデ至
ルト云フ、十分ナル見込ノアル時デナケレバナラヌト云フコトヲ申シタノデ
アリマス、所ガ政府ノ御答辯ヲ伺フテ見マスト云フト、農商務大臣、大藏大臣

共ニ此點ニ付テ御見込ガナイヤウデゴザイマス、此度蠶絲業救済ガ從前ノ通
リデハ結局イケナイト云フ所謂失敗ヲ致シタ爲ニ、今日ノヤウナ契約案ヲ御
出シニナラナケレバナラヌヤウナコトニナリマシタノハ、全ク此見込
ヲ立テズシテ此ノ大企業ヲ著手セラレタト云フコトノ結果デアアルデアリマ
ス、失敗ニ終ッタコトハ私共驚キハ致シマセヌ、政府ノ如キ御考デ此事業ニ手
ヲ御出シニナレバ、茲ニ至ルノハ當然デアアルデアアルノデス、大藏大臣ハ私ノ
質問ニ對シテ蠶絲救済ハ成功シタ、亞米利加ノ堆積シテ居ル荷物ヲ之ニ依テ
捌クコトガ出來タカラ、大ニ成功シタト云フコトヲ御述ベニナリマシテ、大
藏大臣ハモウ一ツ成功シテ居ルコトヲ御忘レニナッテ居ルノデアリマス、蠶絲
救済ニ依テ支那ノ滯貨ガ一掃セラレタト云フ結果ガ生ジテ居ル、是ハ大藏大
臣ヲシテ言ハシメタナラバ成功ダト仰セニナルカモ知レマセヌガ、之ヲ附加
ヘルコトヲ御忘レニナッテ私ハ思フノデアリマス、農商務大臣ハ初メカラ政
府ガ損ヲスル覺悟デ之ニ著手スレバ成功スルノデアッタ、併シ政府ガ損セナイ
ヤウニ、即チ剩餘金支出ト云フヤウナコトヲシナイヤウニシヤウト思ッタカ
ラ、巧ク行カナンダト云フ御答辯デアリマス、蠶絲救済ト云フ此ノ大企業ニ
著手セラレテ、一方カラ言ヒマスト私ハ是非非常ナ冒險ヲ施設デアルト思ヒ
マスガ、斯様ナ冒險ノコトモ蠶絲救済ノ爲ニハ已ムヲ得スト云フ御考デ著手
ナサレルナラバ、必ズ結果ハ良クナルヤウニ御努メニナラナケレバナラヌ、
剩餘金支出ヲ慎シダ爲ニ斯ウナッタト云ウテ、如何ニモ政府ノ責任支出ハ容易
ニ出來ナイカノ如キコトヲ仰セニナルケレドモ、一昨年ノ外米買入ノ爲ニハ
政府ハ四五千萬圓ノ責任支出ヲナサレタト思フノデアリマス、ソレダケニ政
府ハ此問題ニ付テダケ責任支出ハシナイト云ッテ、成功スベキコトハ知リナガ
ラ其方法ヲ探ラナカッタト云フコトヲ仰セニナルニ至ッテハ、私共農商務大臣
ノ御考ナルモノヲ理解スルコトガ出來ヌ位デアアルノデス、今日マデ政府ガ探ッ
テ來ラレタ政策ガ、實際ニドウ云フ結果ヲ生ジテ居ルカト申シマス、政府ハ
此度ノ蠶絲救済ナルモノハ昨年ノ十月カ十一月ノ頃ニ著手サレタヤウニ思ヒ
マスガ、其確ナル事實ハ承知イタシマセヌケレドモ、兎ニ角秋ニナッテカラ
著手ナサレタ、ソレデアリマスカラ去年ノ春及ビ夏ノ間ト云フモノハ、既ニ
養蠶家ガ大部分賣ッテカラ後ニ此事ニ著手サレタノデアリマスカラ、政府ハ
蠶絲救済ナルモノハ養蠶家ノ大部分ニ對シテハ少シモ其效果ヲ及ボシテ居ナ
イト言ッテ差支アルマイト思フノデアリマス、又此事業ニ著手スルト共ニ政府

ハ操業休止、生絲ヲ製造スルコトハ暫ク止メロト云フコトヲ勸告サレテ、當業者ハ之ヲ守ツタノデアリマスカラ、其結果トシテハ全國多數ノ工女職工等ガ生活上ニ於テ非常ナ脅威ヲ覺エタ次第デアリマス、ソレナラバ政府ノ救済方法ニ依テ、生絲ノ値段ハ信州上一番格ノ物ガ一捆千五百圓ト云フ、政府ノ豫期セラレル價ニ保タレテ行ツタカドウカト言ヒマス、事實ハサウ行ツテ居ナイヤウニアリマス、帝蠶會社ハ如何様千五百圓デアリマセウ、併ナガラ市場ノ値段ハサウ云フヤウニ維持サレタト云フコトハ見エナイノデアリマス、現ニ取引所ナドハ殆ド相場ヲ立テルコトガ出來ナカッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、又外國へ輸出スルモノデモ、何トカ暗商ヒトカ稱ヘテ、此價ノ以下ニ於テ密ニ賣ツタト云フ事實ハ多々アルヤウデアリマス、ソレデアリマスカラ政府ガ此事ヲ實行ナサレテモ、政府ノ所期ノ價格ヲ維持スルコトガ出來テ行カナカッタト云フコトハ疑ナイ事實デアアルノデアリマス、又是ガ爲ニ操業ヲ短縮スルト云フコトニ致シタノデアリマスカラ、繭ガ養蠶家ナリ製絲家ノ手許ニ殘ツテ、今日ハ貯藏ノ繭ガ澤山殘ツテ居ルノデアリマス、從ツテ本年拵ヘル所ノ繭ト、是ガ重ツテ參リマスカラ、昨年ノ施設ガ今年ニマデ累ヒテ殘シタト云フコトヲ申サンケレバナリマセス、一方買溜メヲ致シテ外國ニ賣ラヌト云フ仕組ヲ立テラレタノデアリマスカラ、帝蠶會社ノ手許ニ生絲ガ澤山殘ツテ、今日ハ如何ホドニナツテ居ルカ、能ク存ジマセヌガ、約三萬捆位ハアルト云フコトデアリマス、ソレダケハ詰リ此ノ方法ニ依テ生絲ノ輸出ヲ止メタノデアリマスカラ、此政府ノ政策ニ基イテ横濱市場ニ生絲ヲ堆積セシメタト云フ結果ヲ呈シテ居ルノデアリマス、而シテ日本ガ斯様ニ致シマシタ爲ニ、日本ノ生絲ノ大敵デアルト云ウテモ宜イ位ノ支那ノ生絲ニ對シテハ、大變是ガ便宜ニナツタノデアリマス、即チ一方ニハ日本ノ方カラ賣出サヌノデアリマスカラ、安イ値段デア支那ノ方カラ賣出シテ、支那絲ガ盛ニ亞米利加等ニ輸出セラレルト云フ結果ヲ呈シタノデアリマス、他ノ一方ニハ日本ノ生絲ハ人爲デ價格ガ吊上ゲテアルカラ、内地ノ織物業者ガ賣ルモノハ幾ラカ其値段ニ拘ラヌト云ウテモ、一方デ吊上策ヲ講ジテ居ルノデアリマスカラ、内地使用ノモノモ矢張絲ガ高イノデアリマス、其絲ヲ使ツテ織物ヲ拵ヘルノハ引合ハナイノデアリマスカラ、内地ノ絹織物業者ガ支那ノ生絲ヲ使フ、殊ニ支那ノ柞蠶絲ヲ使ツテ織物ニシテ、亞米利加ニ出スト云フヤウナ、原料ガ日本ニアリナガラ其原料ヲ捨テ、置イテ、支那ノ原料ヲ使ツテ仕事ヲスルト云フヤウナ結果ヲ

呈シテ居ルノデアリマス、又此政策ハ亞米利加ノ絹織物製造業者ヲシテ一ツノ誤解ヲ懷カシメテ居ルノデアリマス、日本ノ政府ハ自分等ノ事業ノ原料ニナル生絲ノ價ヲ高メテ、サウシテ内地ノ絹織物業者ノ原料ニナル生絲ノ價ヲ低クスル政策ヲ執ツテ居ル、斯ク亞米利加ノ絹業者ガ誤解スルヤウニナツテ、其結果日本カラ來ル絹物ハ政府ノ特別ノ保護ヲ受ケテ居ル絹物デアアルカラ、之ヲ亞米利加ニ賣出ス場合ニ於テハ、亞米利加ノ絹織物業ヲ保護スル爲ニ、特ニ此場合關稅政策其他ノ方法ニ依テ防禦ノ手段ヲ講ゼンケレバナラヌト云フ考ヲ、亞米利加ノ絹織物業者ニ懷カシメタ結果ヲ生ジテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ舉ゲテ申上ゲマシタナラバ、マダ幾ラモアリマセウト思ヒマスガ、政府ノ施設セラレタ蠶絲救済ナルモノハ私ノ今日見テ居ル所デハ斯様ナ結果ヲ生ジテ、全然成功シテ居ナイト云フコトヲ申サヌケレバナリマセス、此成功シテ居ナイト云フコトハ農商務大臣モ前回ノ議場ニ於テ明ニ之ヲ認メラレタノデアリマスカラ、細カク申上ゲヌデモ既ニ御承知ニナツテ居ルコトト思ヒマス、ソコデ此度此ノ契約案ヲ出サレタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ情勢ノ下ニ於テ止マツタ宜シイガ、私ハ二ツノモノノ其一ツニ居ラナケレバナラヌト思フ、即チ茲デ更ニ大ニ資金ヲ投ジテ、大ニ生絲ヲ買込ラシメ、殆ド徹底的ニ價格ヲ維持シテ行ク、斯ウ云フ手段ヲ執ルカ、然ラザレバ斯ウ云フヤウナ人爲デ價格吊上ゲト云フヤウナコトハ茲デ打切ツテ仕舞フ、此二ツノ手段ノ孰レカ其一ツニ出デラレルガ相當デアラウト思ヒマス、併シ徹底的ニ價格ヲ吊上ゲルト云ウテ、大ニ是カラ金ヲ出シ、國民ノ膏血ヲ絞ツテ作ツタ國家ノ金ヲ澤山出シテ、サウシテ結果ハ如何ニナルカト云フト、日本ノ品物ヲ内地ノ市場ニ堆積セシムルコトニナリマスカラ、後日非常ニ生絲貿易ノ脅威ニナルノデアリマス、私共斯様ナ方法ニ出ヅベキモノデナイト思ヒマスカラ、サウシテ殘ル所ガ斯様ナ出來モシナイ救済方法ハ、コ、ラ邊デ打切ツテ仕舞フノガ相當デアルト思ヒマス、併ナガラ打切ルカト云ウテ、是デ以テ捨テ、仕舞フト云フノデハ、ソレデハ大變デアリマス、政府ガ初カラ見込ノナイ斯ウ云フ事業ニ手ヲ著ケラレヌナラバ、ソレデ宜シイノデアリマス、一旦手ヲ著テ茲マデヤツテ置イテ、アトハドウデモ宜イト云フヤウニセラレタラ、ソレコソ大變デアリマス、斯ウ云フヤウナ失敗ヲナサレタ政府ノ責任ハ、是ハ別ニ政治上ニ論ジナケレバナリマセヌガ、既ニ茲マデ來テ居ル以上、後始末ヲセヌケレバナリマセズ、後始末ヲスル爲ニ國家ノ金ヲ使フ、ソレガ三千萬

圓デアリマスカ、二千萬圓デアリマスカ、ソレハ存ジマセヌガ、兎ニ角後始末ヲスルコトハ必要デアリマスカラ、サウ云フコトデアッタ案ガ立ツタノデアアルナラバ、私共已ムヲ得ヌトシテ之ニ賛成シタイノデアリマス、然ニ政府ハ其孰レニモ出デズ、徹底的ニ生絲ヲ維持スルト云フ政策ニ出デズ、ソレナラバ茲デ打切ルト云フ政策ニモ出デズ、茲ニ何ダカ不徹底ナ案ヲ出サレタノデアリマス、即チ三千萬圓ダケノ金ヲ出シテ、銀行ニハ損ガ行カヌヤウニシテヤルゾト云ウテ、銀行ハ貸付ダケハ安心シテ貸付シテ宜シイト云フ仕組ダケ執ツテ茲ヘ出サレテ、是デ日本ノ生絲ノ價格ノ維持ガ出來ルヤウナ説明ヲ茲ニナシテ居ラレルノデアリマスガ、私共大ニ是ニハ迷ウテ居ルモノデアリマス、今回ノ案ハ三千萬圓ヲ場合ニ依テハ銀行ニ補償シテヤルト云フダケノコトデアリマス、ソレダケノ補償ガアツタカラト云ウテ、日本ノ生絲ヲ、此値段ヲ豫定ノ通り一柵千五百圓ニ維持シテ行クト云フコトハ、是ハ到底出來サウモナイノデアリマス、ノミナラズ政府ノ原案ニ依リマス、大正十年五月三十一日以前ニ生産セラレタル信州上一番格以上ノ生絲デ、輸出ヲ目的トスルモノダケニ適用スルト云フノデアリマスカラ、其結果ハ本年拵ヘタ爾ヲ以テ作ツタモノハ之ヲ適用セスト云フノデアリマス、サウデアリマスカラ是ノ及ブ所ノモノハ誠ニ少ナイノデアリマス、此及ブ所ノモノ誠ニ少ナクシテ、而シテ一方三千萬圓ノ金ヲ使ツテ、其結果ハ私共ノ見ル所ニ依レバ一柵千五百圓ノ價格ノ維持ガ出來サウニモナイト云フノハ即チ此案デアリマス、ノミナラズ此案ニ依リマス、帝蠶會社ハ補償ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リマセヌ、補償ヲ受ケルモノハ銀行ダケデ、帝蠶會社ハ補償ヲ受ケルノデアリマセヌカラ、是デ帝蠶會社ガ仕事ヲシテ損ヲシタ時、其損ハ皆帝蠶會社ノ負擔デアアル、言葉ヲ換ヘテ申上ゲレバ、帝蠶會社ノ株主ガ全部ノ負擔ヲシナケレバナリマセヌ、若シ此仕事ガ帝蠶會社ノ資金全部ヲ失フヤウナ損ヲシタトスレバ、是ハ株主ガ出資シタモノ全部失ハナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ソレデアリマスカラ、ドウシテモ此ノ帝蠶會社ガ買入ヲ躊躇スルダラウト思ヒマス、銀行ノ保護ガアツテモ、帝蠶會社ガ進ンデ勉強シテ生絲ノ買入ヲスルト云フコトヲスマイト思ヒマス、サウナルト云フト、之ヲ出サレタ所ガ其效果タルヤ知ルベキモノト思ヒマス、而モ案自體ハ矢張買占ヲシテ價格ノ吊上ヲシヤウト云フコトノ案ガアリマスカラ、帝蠶會社ガ躊躇シテモ兎ニ角政府ガ勸メテ買ハセラル、其結果ハ生絲ガ外國ニ出テ行カヌデ横濱市場ニ堆積スル、

衆議院ニ於テ述ベテ居ラルル所ニ依リマス、此度ノ此補償サヘスレバ帝蠶會社ガ更ニ七萬圓ヲ買入レルト云フコトデアッタ思ヒマス、是ハ私ガ記憶違ヒカ知レマセヌガ、サウ云フヤウニアツタヤウニ思ヒマスガ、サウナルト今迄既ニ三萬圓買ツテ居ル上ニ、更ニ七萬圓ヲ買入レマスレバ、茲ニ横濱市場ニ堆積サレテ來ル生絲ハ十萬圓カラニ上ルコトニナリマス、サウ云フモノガ市場ニアツタナラバ、此後ノ生絲貿易ト云フモノハ始終是カラ押ヘラレテ、相當ノ値段ヲ出スト云フコトハ出來マイト思ヒマス、救済ガ却ツテ後日ノ累ヒニナルヤウナコトニナリハシナイカト思ヒマス、昨今銀ノ値段が大層廉クナッタト云フコトハ御承知ノ通りデ、銀ガ廉クナルト支那ノ品物ヲ外國ニ輸出スルコトガ大變便利ニナリマス、苟モ銀ガ廉クナツテ支那ノ品物ヲ外國ニ輸出スルコトガ便利ナ時ニ、日本自身ハ自分ノ生絲ハ人爲デ價格ヲ吊上ゲテ、ソレヲ外國ニ出サナイト云フコトニナレバ、此ノ契約案ナルモノハ此支那ノ生絲ヲ大ニ出サシムルト云フ結果ニナツテ、之ヲ行ツタ結果トシテ支那ノ生絲ナルモノニ貿易市場ヲシテ非常ニ鞏固ナ地位ヲ得セシムルト云フコトニナリマス、日本ガ斯様なコトヲシタ結果、日本ノ生絲ハ堆積シ、支那ノ生絲ニ非常ニ便宜ヲ與ヘテ、支那ノ生絲ノ輸出上ノ地位ヲ鞏固ニスルト云フ結果ニナラウト思ヒマス、ノミナラズ斯様な方法ニ實行サルト養蠶家ハ見込ガ立タヌト思ヒマス、今年蠶ヲ作ル者ハドウ見込ヲ立テテ宜イカ、生絲一柵千五百圓ニナルト云フ積リデ、ソレナラバ爾一貫目幾ラニ買ツテ貰ヘルト云フ勘定デ桑ノ葉ヲ買ツタリ、其他ノコトヲヤルト、ソレハ恐ラクハサウハ行クマイ、サウスルト此ノ人爲ノ遣リ方デ何處ハ値段ガ落付クカ見當ガ付カヌノデアリマス、養蠶家ガ養蠶スルニ、斯ウ云フコトニナツテハ見當ガ付カヌコトニナルト、私ハ思フノデアリマス、左様ナ次第デアリマシテ、善後策ヲナサルトナラバ私共ハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、更ニ茲ニ新ニ此ノ蠶絲救済デ帝蠶ノ買入ト云フコトニ依テ繼續シテ行カウト云フ案ヲ立テラレマス以上ハ、私ハ茲ニ政府ニ向ツテ其ノ御見込ヲハッキリ伺ツテ置カヌケレバナラヌト思ヒマス、第一ニ伺ヒタイノハ、政府ハ此ノ契約案ニ依テ矢張從前通り信州上一番格ノ生絲一柵千五百圓ノ價格ヲ維持スルト云フ目的デ、此契約ヲ御立テニナツタノデアアルカ否ヤ、若シサウデアリマスレバ三千萬圓ノ金デ銀行ヲ補償シテヤルコトニ依テ其目的ヲ達スルコトガ出來ルト云フ御見込ノ立ツタ、其根據ハ何處ニアリマスカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、第二ニ伺ヒタイノハ帝蠶會社ハ躊躇スル

ダラウト思フ、然ニ丸損ヲシナケレバナラヌ場合ガ起ルノデアリマス、此買入ナルモノヲ躊躇スルトナルト、或ハソレヲ政府ハ鞭撻シテ、今私ハ八百萬圓拂込デ居ルト思ヒマスガ、更ニアトノ八百萬圓ヲ拂込マシメタ上ニ、出來ルダケ銀行カラ金ヲ借りサセテ、何處マデモ生絲ノ買占ヲサセテ、ソレガ爲ニ或場合ニハ帝蠶會社ハ全部ノ損失ヲ負擔シナケレバナラヌ場合ガ來ルカモ知レヌガ、ソレデモ構ハズ尙ホ帝蠶會社ヲ鞭撻シテ、ソレマデノコトヲナサレルノデアリマスカ、又帝蠶會社モソレヲナス覺悟デ今日アルノデアリマスカドウデアリマスカ、ソレガ第二トシテ伺ヒタイノデアリマス、第三ニ伺ヒタイノハ前ニモ申上ゲマシタガ、斯ウ云フコトノ結果トシテ、愈、横濱市場ニ十萬圓カラノ生絲ガ堆積シタコトニナリマシタナラバ、今後ノ日本ノ生絲貿易ニ非常ナ脅威ニナルモノト思フノデアリマス、ソレガ左様ニナラヌデ、横濱ニ十萬圓カラノ生絲ヲ積ンデモ日本ノ生絲貿易ハ是カラ先キ何等障害ナク、能ク外國ニ輸出サレ得ルト云フ御考ハ何處カラ出テ參ルノデアリマスカ、能ク理義ヲ明カニシテ其點ヲ御答辯ニナリタイト思ヒマス、最後ニ伺ヒタイノハ此救濟ヲ唯今實行セラレテ、又本年ノ五六月頃カ或ハ十月十一月頃ニナッテ、アレデハマダ足りナイカラ、モウ一ツヤツテ貫ハナケレバナラヌト云フ救濟ノ聲ノ起ルコトハナイノデアリマセウカドウデゴザイマスカ、一旦此處マデ來テ、是ハ私ガ前ニモ申上ゲタ通り、手ヲ著ケタ以上ハ善後策ハドウシテモ必要デアアル、其手ヲ著ケタ所へ更ニ之ヲ増シテ事業ヲサレル、其時ノ善後策ナルモノハ三萬圓デハ迎モ利カヌノデアリマス、一段ト又大キイモノヲ要スルト思ヒマスガ、サウ云フコトニナラナイデ濟ムノデアリマスカドウデアリマスカ、ソレヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

午後零時八分休憩

午後一時三十九分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

(國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 唯今若槻君ヨリ御質問ニナリマシタル條項ニ付テ御答ヘ致シマスガ、其前ニドウモ此生絲ニ政府ガ低利資金ヲ貸シマシタ

ルコトニ付テ、ドウモ根本的ニ御取違ヒガアリハシナイカト思フノデアリマス、ソレデ最初ノ成行カラ申述ベマシテ御答ヲ致シタイト思フ、此蠶絲ノコトニ付マシテハ、昨年ノ五六月ノ交ニ生絲ガ大變下リマシテ、サウシテ繭ノ價ガ五圓前後マデ下リマシタ、初メ春繭ヲ造リマスル時ニハ大概値段ハ十圓前後ニモ賣レルデアラト希望ヲ致シテ造リマシタモノガ、五圓前後ニ價ガ下リマシテ、ソレガ爲ニ養蠶家ニ付テ非常ニ難澁ガ起ッテ來タ、ソレデ重立ツ養蠶地方ヨリ、養蠶救濟ノ聲ガ高マッテ參リマシタノデアリマス、其結果ト致シマシテ中央蠶絲大會、是ハ御承知ノ通りニ、生絲貿易商、養蠶家、製絲家、總テ斯道ニ關係ノアル者デ組織サレテ居ル、其ノ中央蠶絲會デアリマス、ソレヨリ、ドウモ今日ノ状態デハ甚ダ將來思ヒヤラレルカラシテ、ドウカ救濟ヲシテ吳レヌカト云フコトガ起リマシテ、政府モ調ベタ結果、ドウモ是ハ捨テ置ケヌカラシテ、何か方法ガアルナラバ政府ニ於テモ助ケタイ、ソコデ其時ニ中央銀行ヲ初メトシテ、勸業銀行ナドヨリ成タケ融通ヲスル製絲家養蠶家ニ資金ヲ供給スルコトニ相成リマシテ、普通ノ中央銀行ニ於テ融通ヲシマスル外ニ、一千萬圓ノ養蠶資金ノ低利資金ヲ貸シマシタノデアリマス、ソレガ爲ニ段々生絲モ値ヲ持チマシテ、又養蠶ニ於テモ繭ノ値ガ段々高マリマシテ、其五圓前後ヲ極點ト致シマシテ、段々繭ノ値ガ八圓、九圓ト云フ如キ所マデ高マッテ參ッタ、ソコデアリマスカラシテ、自ラ救濟ノ聲モソレト同時ニ鎮マッテ、又價モ紐育邊リノ市價ニ於テモ値ヲ持ッテ來タノデアリマス、而シテ夏蠶秋蠶モソレソレ終リマシタル當時ニ於テ又再ビ下ッテ來タ、此度ハ繭ノ價ガ四圓前後マデ落チテ參リマシタ、是デハ他日ノ養蠶ニ容易ナラヌ結果ヲ生ズルカラシテ、何トシテモ國家ガ何等カノ方法ニ於テ、融通ノ途ヲ附ケサウシテ機宜ノ處置ヲ執ッテ吳レヌト容易ナラヌ、全國ニ於テ百五六十萬ノ養蠶家ガアル、ソレニ付テ非常ナル苦痛ヲ感ズルト云フ聲ガ高マリマシテ、再ビ今ノ中央會ニ於テ其コトガ決議ニナリマシテ、サウシテ救濟ヲ求メテ參ッタノデアリマス、サウシテ參リマスル時ニ於テ、如何ナル途ニ於テ救濟ヲスルカト申シマスルト、第一ニ政府ガ其損得ヲ負擔スルト云フ意味ニ於テ救濟ヲシテ費フ、ソレデ一方ニハドウカ融通ヲ付ケテ費ヒタイ、ドウモ融通ガ甚ダ不敏活デアアル故ニ、投資ナドガ起ッテ、ソレガ爲ニ言フベカラザル事業ニ變化ヲ來シテ參リマスル爲ニ、第一ニ價格ヲ維持スルト同時ニ、品物ノ量ヲ餘リ出テ來ナイヤウニシナケレバナラヌ、ソレデ自分等ハ皆申合セテ操業ノ短縮、

若クハ又或時期ノ間製絲ノ休止ヲシテ、サウシテ之ヲ救済スルト云フコトガ必要デアル、如何セム融通ガ此ノ經濟社會デハ付キ兼ネル故ニ、融通ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトガ要求デアッタデアリマス、然ニ政府ニ於テ之ノ損得ヲ負擔シテ救済スルト云フコトハ容易ナラヌコトデアリマス、即チ責任支出ニ相成リマスル故ニ、果シテ責任支出マデモシテ、之ヲ今日助ケルカドウカト云フコトニ付テ考ヘマス、ソレダケニ、議會ノ協賛モ俟タズニ責任支出ヲスルト云フ程ノ窮境ニ至ツテ居ルトモ、考ヘナカッタデアリマス、加之大正四年ニ於テ大隈内閣ノ當時ニ救済ヲ致シマシタ其當時ニハ、製絲家ヨリ百萬ノ資本ヲ集メマシテ、サウシテ政府ヨリ五百萬即チ資本ニ對スル五倍ノ政府ハ貸金ヲシタデアリマス、其時ニ於テハ損ヲシタナラバ政府ハ五百萬ヲ限ツテ損ヲスル、得ヲシタナラバ、其中ノ幾ラカヲ取ツテ政府ニ納メヤウト云フデアリマシテ、別ニ……之ヲ救ヒマスル其ノ生絲會社ガ百萬圓出シマシタガ、ソレヲ損ヲスルノデナシニ、政府ノ方カラ最初ヨリ損ガアレバ五百萬ヲ限ツテ損ヲシテヤルト云フコトニナツテ居ッタデアリマス、ソコデアリマスル故ニ、後ニ至リマシテ當議會ニ協賛ヲ求メマシタノデ、其時ノ事後承諾ヲ求メマシタル時ニ於テ、貴族院デハ一ツノ警告文ヲ以テ、サウシテ可決ニ相成リマシタデアリマス、其警告文ノ言葉ハ蠶絲救済及ビ米價調節ノ支出ハ、時局ニ鑑ミ已ムヲ得ザルモノトシテ、多少ノ效果アリトシテ認め承諾スベシト雖モ、斯ノ如キ支出ハ最モ慎重ヲ要シ、且ツ實行方法ニ至リテモ遺憾ナキ能ハズ、依テ政府ハ斯ノ如キ支出ヲ爲サザルコト、斯ウ云フ意味ニ於テ警告ヲ與ヘラレテ、是ガ可決ニナツタデアリマス、ソレデ昨年ニ於テモ、斯ノ如キ警告モアリ、サウシテ責任支出ト云フモノハ重大ナルコトデアルカラシテ、是ハ成ベクヤリタクナイ、唯政府ガ低利資金ノ途ニ於テ、是ガ救済シ得ルナラバ、其程度ニ於テ先ヅ最初救済ト云フコトガ、ソレナラバ今日預金ノ剩餘金ヲ以テ支出スルコトニシヤウ、斯ク相成リマス、唯其ノ營業者ガ救済ヲシテ呉レト云ツテ救済ヲシテモ、若シ損ガ生ジタラドウスルカ、是ハドウモ政府トシテドウシテモ損ノ出來ナイモノデアリマスカラ、ソコデ彼等ガ一ノ會社ヲ造リ、自身ノ財産ヲ或程度ニ支出ヲシテ、サウシテ其損ハ自身デ以テ總テ負擔ヲスル、政府ハ融通バカリ付ケテ呉レバ宜シイ、斯ウ云フコトノモノデアラナラバ、政府ハ之ニ應ジテ、御前等ノ請願ヲ容レテ助ケテ上ゲマセウ、ソレニ付テハ、先ヅ其時ノモノヲ約五千萬位ナル低利

資金ガナイト困ル、サウスルトソレニ對シテ、其會社ノ責任ヲ負ヒマスモノハ、千五百萬乃至二千萬位ノ會社ヲ拵ヘテ、サウシテソレダケノ損ヲ彼等ガ自ラ負擔スルト云フ意味ニ於テ貸スナラ、政府ニ於テハ貸シテモ決シテ損ハナイ、ソレデ貸シマスルモノニ付テハ、相當ナル割合ニ於テ擔保ヲ入レル、而カモ其間ニ興業銀行、勸業銀行ト云フ、確實ナル銀行ヲ中ニ入レマシテ、サウシテ抵當ヲ取ツテ來ルナラバ、政府ハ若シ此絲ガ安クナツテ、サウシテ損ヲ會社ガ見ルト雖モ、自身ノ損、續イテハ兩銀行ノ負擔ニ歸スル、兩銀行ヲ中ニ入レテ保證ヲサセ、而シテ其會社ガ千六百萬圓ト云フモノニ於テ支出ヲシテ、責任ヲ負、タナラバ、政府ニ於テハ、假令五千萬圓ヲ貸シテモ何等損ハ行カヌモノデアアル、此コトデ商賣ノコトデアリマスカラシテ、如何ナルコトニ見込違ヒデ損ガ行クカモ知レヌ、先ヅ自ラソレダケノ金ヲ出ス、兩銀行ガ中ニ立ツテ居レバ大丈夫、其意味ニ於テ約束ヲシマシタ、ソレナラバ是非茲デ、此絲ノ賣レナイ、又絲ノ出來ル盛リニ融通ハ出來ナイ、絲ハ賣レナイ遂ニ投賣ヲスルト云フヤウナコトガアリマス、大變ナコトニ立至ルノデアリマスルデ、彼等ハ自ラ其會社ヲ拵ヘマシテ、ドウゾ融通ヲシテ呉レ、一切此モノニ付テハ自分等ガ負擔ヲシテ、政府ニハ迷惑ヲ掛ケナイト云フコトデ、始メテ昨年十一月初メデアリマシタ、此會社ガ成立ツタ、サウシテ其時ニ價格ノ點デアリマスガ、此價格ヲ千五百圓ニスルトカ、千六百ニスルト云フ如キハ、政府ハ何等ノ指圖ヲシタノデハナイ、唯其時ニ於テ彼等ノ相談デ、ドウシテモ此養蠶ノ繭ハ一貫目ニ付テ六七圓ハ何トシテモ原價カ掛ル、故ニソレヲ維持スル上ニ付テハ千五百圓ニハ賣レテモ、之ヲヤット償フカ償ハヌカノ間ニアルノデアアル、其ノ生産費ヲ償フト云フダケノコトハ決シテ無理ハナイコトデアアル、遂ニ數箇月前ハ四千圓以上モシタモノガ、今日千五百圓ト云フモノノ維持ノ出來ヌコトハナイ、ソレナラバ自身等モ損ヲセズシテ、サウシテ相當ニ投資ヲセズシテ維持ガ出來ルダラウ、斯ウ云フコトヲ彼等ガ色々協議ヲ盡シ、サウシテ銘々ニ經驗ノアル生絲業者、貿易業者ガ相談ヲ致シマシテ一致シタノガ、此ノ千五百圓ト云フ價デアアル、ソコデ此原價ヲ維持スルダケノコトハ、ドウシテモ維持シナイ困ル、而シテ是ハ維持スルコトハ出來得ル見込デアアル、故ニ此値ヲ以テ、ソレゾレ對策ヲスル、ソレデ承知シテ呉レト云フコトデ、固ヨリ政府ハ貸スト云フコトニナリマスレバ、ソレゾレ命令ヲ與ヘテ、重要ナル事件ニハ、政府ノ認可ヲ得テ行クト云フコトニ相成ツテ居ルノデ

アリマス、此コトノ如キハ最も重要ナル事件、ソレデ維持ヲスル目的デヤリ
マセウ、政府ハソレニ認諾ヲ與ヘタ次第デアリマス、而シテ一方ニ於テハ、
彼等ハ餘リ絲ノ賣レナイ時ニ、全國ノ製絲家ガ、絲ヲ自由ニ操業ヲスルコト
ニナルト、彌ガ上ニ堆積ヲシテ益、困難ニ陥ル、是ハ銘々ノ約束ニ於テ、サウ
シテ操業ノ中止、初メハ短縮ヲシ、後ニ至ッテハ、遂ニ八十日間ノ中止ヲスル、
ソコデ彼等ハ苦痛ヲ感ジテ此價格ヲ維持スルコトニ努メタ、其コトニ付マ
シテモ、約束ヲシテ全國ニ履行スルガ、深ク此實行ト云フコトニ付テ困難ガ
起ッテ、反則者ガ起ッテ、ソレデ政府ハ此コトヲ決議シタ以上ハ、成タケ是ノ
實行ノ出來ルヤウニ取締ヲ願ヒタイ、又横濱ニ於テ貿易商、生絲商、總テノ
重立ツ者ガ之ヲ約束ヲシタト云フ以上ハ、ソレヲ履行スル、ソレヲ履行スル
ニハ、第一ニ定期市場デ此ノ製絲家ガ賣買ヲスルソレ賣ルト云フコトハセ
ナイ、又横濱ニ或時期ノ間ハ絲ヲ入レルコトヲ許サナイ、又荷受ヲシナイ、
サウシテ地方デハ又製絲ヲ慎シム、斯ウ云フヤウナコトニシテ、成タケ横濱
ニ絲ガ滞ッテ、彌ガ上ニモ此人氣ヲ案シテ、サウシテ融通上ニ困難ヲ來スヤウ
ナコトヲ避ケタ、是モ尤モナリトシテ政府ハソレヲ承諾シテ、成タケ彼等ノ
約束ノ履行ノ出來ルヤウニ努メタ、斯ク致シマシテ、サウシテ買入レタル生
絲ガ、今迄約三萬捆ト云フモノヲ入レタ、サウシテ千六百萬圓ト云フ資本ノ
中デ、十一月ノ初ヨリ今日ニ至ル迄八百萬圓ノ拂込ヲ致シタ、サウシテ自身
ノ拂込ヲ八百萬、サウシテ政府カラ借入レル五千萬圓ノ中ヲ、此ノ八百萬圓
ノ力デハ興業銀行ヨリ金ヲ借リマスノハ、千五百圓ヲ借リマスト云フトソレ
ヲ七掛デアアル、七掛デ千五百圓ヲ興業銀行ハ貸スノデアリマスカラ、四百五
十圓ハ自身ノ資本ヲ以テ、其差ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナル状態デ
アルノデアリマスカラシテ、八百萬圓ノ金ヲ拂込ミマシタガ、此約束ハ四千
萬圓ノ中約二千二百萬圓シカ借ルコトガ出來ナイ、政府ニ今抵當ヲチャント
納メ、必要ナル道ヲ取り、茲ニ銀行ハ七掛ト云フコトデアリマシタ故ニ、其
物ヲ皆買出スコトガ出來ナイノデアリマス、而シテ今日マデ拂込ハ八百萬圓、
サウシテ生絲ハ三萬捆ト云フモノヲ買ヒマシタガ、此先ハドウスル、如何ニ
モ此ノ經濟社會ノ状態ニ於テマダ容易ニ回復ヲシナイ、ソレガ爲ニ僅カ
數箇月ノ中ニ於テ八百萬圓ノ拂込ヲスルト云フコトハ、非常ニ困難ヲ感ジタ
ノデアリマス、此上拂込ヲ尙ホ續ケルト云フコトハ色々不拂ナドガ起ッテ實際
困難デアアル、此上ハ拂込メマセヌ、サウスルト三萬捆ヲ以テ、サウシテ今ノ

後カラ來ル生絲ヲ停止シ、ソレデヤッテ來テ居リマスガ、是デ濟ムカト言ヒマ
スト、是カラ後ニ絲ノ參リマスコトハ、丁度二月十六日ヨリ全國ニ於テ又生絲
ノ操業ヲ始メマスカラシテ、追々製絲ノ絲ガ出テ來ル時ナンデアリマス、ソレ
デアリマスカラシテ是ヲ捨テテ置キマスト云フト追々絲ガ出テ來マシテ、唯
資産ガ八百萬圓ノ資本、サウシテ二千三四百萬圓政府カラ低利資金ヲ融通シ
テ參リマシテモ、ソレデ後ヲ維持スルト云フコトハ餘程困難デアアル、ソコデ
捨テテ置キマスルト價格モ下リ、品ガドッサリ出來テ融通ガ出來ナクナル、遂
ニハ投賣ヲスルト云フコトニ相成ッテ、自身等ノ力デハ維持ハ出來ナイ、今申
ス如クナッタラ……此上ニ捨テテ置クト云フコトニ相成リマスルト、生絲社會
ニ又其反動トシテ容易ナラヌ事ガ起ルノデアリマス、ソコデアリマスカラシ
テ、ドウカーツ自身等ノ力デヤリマシタ、ヤリマシタガ此上ニ損ヲシテモヤ
ルト云フコトハ、如何ニシテモ斯業者ノ力デハ能ハヌノデアリマス、能ハヌ
カラ仕方ガナイ、損ヲシテモ放ッテ置クト云フコトニナッテ來マス、養蠶生
絲ニ重大ナル關係ヲ及ボシマシテ、延イテハ經濟社會ヲ一層悲境ニ陥ラシム
ルハ申スマデモナイコトデアリマス、ソコデ其際ニ於テ何トカ國家ガ今度ハ
救ッテヤル、今マデハ唯金ノ融通ハシテ貫ッタガ損ハ一文モ掛ケナイ、併シ此
程度デハドウモイカヌカラシテ、是ハ國家ノ唯一ノ輸出物デアッテ、其消長ハ
容易ナラヌ、國民一體ニ關係ヲ持ツコトデアアルカラ、是ハ政府ガドウカーツ
ノ法ヲ設ケテ、サウシテ後ノ維持ノ出來ルダケノ道ヲ取ッテ貫ヒタイト云フ、
政府ハ考ヘマシタ所ガ、此後ニ於テ内地ノ地遣ヒヲ維持シ、外國ニ出シマス
ル絲等、色々ナコトヲ考ヘテ見マス、當時ノ大體ノ計算、又是カラ後ニ外
國ニ出スベキ絲ガドウシテモ十萬捆バカリガ此五月末マデニハ出ル如キ算盤
ニナッテ居ル、ソレデ十萬捆ト云フ物ヲ其儘捨テテ置クト云フコトハイカヌカ
ラシテ、是ヲ一ツ何トカ政府ニ於テ助ケテ、サウシテ市場ニ溢レヌヤウナ道
ヲ取ルコトガ今日必要デアアル、ソレニ付テハ政府ハ此度ハ前トハ違ッテ政府ガ
責任ヲ負フ、若シ損ガイッタナラバ或程度ニ於テ政府ガ責任ヲ負フト云フコト
ニ相成リマセヌト、銀行モ絲ニ融通ハ付ケナイノデ、政府ガ責任ヲ負フト云
ヘバ大變銀行モ安ンジテ此融通ヲ致シマスガ、サモナケレバ融通ヲシナイ、
濫リニスレバ銀行ガ損ヲシナケレバナラヌ、ソコデアリマスル故ニ此前後ヲ
考ヘマスルト、ドウシテモハ棄テ置ケヌ、政府ガ或程度マデ救済スルト云
フコトハ、今日ノ狀態ニ考ヘテ至當ナルコレハ途デアッテ、然ルベキ途ヲ講ジ

ナケレバナラヌト云フノガ此ノ三千萬圓ノ問題トナリマシタルモノデアリマス、ソレハ彼等ガ千六百萬圓ノ資本ト云ッテ八百萬圓拂込シテ居ル、是カラ後ニ於テ絲ヲ買入レル時ニ付テ、ドウモ相場ノコトデアリマスカラ、見込ハアリマスガ如何ナル物デモ是ガ相場ハ斯クナル、必ズ往クト云フモノハ保證ノ出來ナイモノデアアル、ソコデアアルカラシテ政府ハ之ヲスルノニ、初メカラスル譯ニイカナイノデアアルカラシテ、御前等ニ千六百萬ト云フモノヲ、資本ヲ負ウタナラバ、此買ッタ絲ニ付テ若シ損ガイヤタナラバ今ノ八百萬圓、固ヨリ後ノ未拂ノ八百萬圓、之ヲ責任ヲ負ッテ、而シテ或時期ヲ以テ支拂ヲシテ、尙ホ損ガ起ルト云フコトガアッタナラバ、政府ハ此三千萬圓ニ付テ損ノ補助ヲシテヤラウ、三千萬ニ限ッテ……又幸ニシテ彼等ノ資本バカリデ損ガ濟ンデ來ルト云フモノナラバ、政府ノ三千萬圓ハ少シモ疵ガツカズシテ、サウシテ政府ニ返ルト云フコトデ、ソコデアアルカラシテ之ヲ御前等ハ今迄ノ通り止メズシテ、千六百萬圓ダケノモノハ自身ノ計算ニ於テ負擔シテ、尙ホ足ラナイ時ニ於テ政府ガ補助シテ呉レル、斯ウ云フコトニスル見込ガ立チマスカラ、我ハ千六百萬圓ノ資本ハ皆棄テテ、サウシテ此維持ニ掛リマセウカラ、ドウカ此裏ニ付テ補償ヲ持ッテ政府ガ支拂ヲ負擔シテヤルト云フコトニシテ貰ヒタイ、サモナケレバトモ往クコトハ出來ナイ、サウスルト云フト自身等ハ自ラヤリマスルカラ、是ハドウカ一ツ茲デ實行シテ呉レマセヌト、將來絲ニ大關係ヲ持ツ、ソコデ政府ニ於キマシテハ彼等ノ要望ヲ尤モナリト致シテ、サウシテ先ヅ今ノ程度ニ於テ三千萬圓ノ負擔、此三千萬圓ノ負擔ヲシテヤルト云フコトニナリマスルト、今迄興業銀行ハ千五百萬圓ノ品物ヲ千五十圓トカ百圓デ貸スト云フモノガ、此絲ヲ取リマシテモ千六百萬圓ノ損ヲシテ、尙ホ其上ニ三千萬圓政府ガ補償シテヤルト申シマスレバ、銀行ニ於テモ確ナ、丈夫ナリトシテ買爲替モ付クルコトガ出來ルカラ、買入レタ値段デモッテ貸出スコトモ出來ルノデアアル、ソコデ丁度申サバ極點ニ損ヲ致シマシテ、彼等ノ千六百萬圓ト三千萬圓、四千六百萬圓ト云フモノノ損ヲスレバ、此後ニ於テ尙ホ七萬圓、今マデノ三萬圓ニ加フルニ七萬圓ト云フモノヲ以テシテ十萬圓ダケノモノハ維持ガ出來ルコトニナル、幸ニシテ價格ガソレマデ維持ガ出來テアルナラバ何モ買ヒタクナイ、無論彼等自身、千六百萬圓損ヲシテ買ヒハ致シマセヌガ、維持ガ出來ナイカラ已ムヲ得ズ買フト云フコトデアッテ、カウシテ約十萬圓ノモノハ買入レルコトニシタイト云フ積リデ案ヲ出シタ次第デア

リマス、而シテ此モノニ付マシテ斯クスレバ將來ニドウナルカト云フヤウナルコトデアリマシタガ、政府ハ之ヲ起シマシタル所以ハ今申上ゲル通りデアリマス、ソレカラ私ガ前ニ失敗シタ、失敗シタ故ニ云々ト云フコトガアリマシタガ、私ハ失敗ト云フコトハ一言モ申シテ居ラヌ積リデアリマス、唯是マデ失敗失敗ト人ハ言フガ、別ニ失敗ハ致シテ居リマセヌ、千五百萬圓ノ程度ニシテ價格ヲ維持シテ、サウシテ今日彼等ハ此目的ヲ遂ゲツツアルノデアリマス、併シ將來ニ付テ此上助ケテ行キマセヌト云フト不結果ニ終ルト云フ虞ガアリマス、今マデハ宜シウゴザイマスガ、是カラ後ハ國家ガソレヲ助ケテ、サウシテ彼等ノ目的ヲ達セラレル途ニ進マセヌト、終ニ失敗ニ歸スルヤウナ虞ガアルノデアリマス、是マデハ宜シウゴザイマスガ、今後ニ於テ餘程是ハ考ヘナケレバナラヌコトデアルト云フコトヲ述ベタ積リデアリマス、ソレカラ政府ハ第一ニ責任支出デアアル、責任支出容易ナラヌコト云フガ、米ニ於テハ責任支出ヲ大正七八年ニシタノデハナイカ、ソレニドウモ蠶絲ニ付テ躊躇スルノハドウカト云フ御疑デアリマスガ、是ハ今日ノ生絲モ必要デアリマシタガ、前、米ヲ責任支出ヲ致シマシテ、政府ガ數千萬ノ損ヲ覺悟デナシマシタト云フ時代ハ困難デアリマスガ、困難ノ程度ニ於テ、又其物ノ性質ニ於キマシテ餘程私ハ違ッテアルカト信ジテ居リマス、大正七年ニ於テ米ノ責任支出ヲ前内閣ニ於キ、又八年ニ於テ現政府ニ於テ責任支出ヲ致シマシタノハ、如何ニモ米ガ高クテ、サウシテ不作デアアル、米ガ五十圓、六十圓ト云フガ如キモノニナッテ、其上、世間ニハ容易ナラヌ生活ヲ脅威イタシマシテ、甚シキニ至ッテハ、アチラコチラ不穩ノ舉動ヲ見ルニ至ッタト云フヤウナ状態デアリマス、是ハドウモ責任支出デアアルガ、如何ニモ國民ノ安定ヲ害シテ容易ナラヌ状態ニ進ンデ居ル時デアリマス、而モ其物ハ一日モナケレバナラヌ食料ノコトデアリマス、ソコデアリマス故ニ政府ハ理解ヲナシ、遂ニ責任支出ヲ以テ此救濟ノ任ニ當ッタノデアリマス、サウ云フヤウナ状態デアリマス、今日ノ絲ハ既ニ昨年十一月ニ起リマシタガ、初メ申ス通り前斯ノ如キ警告モアル上ニ、十二月ニナレバ議會ガ始マッテ來ル、其間ト云フモノハ彼等ガ今申ス如ク、自身ニ千六百萬圓ノ金ヲ集メテ、政府ニ融通シテ呉レ、融通ノ意味ニ於テ助ケテヤッタ譯デアリマス、ソレデ行キマシタガ、其上又愈、必要ト云フコトガ起ルナラバ、能ク其時ノ事情ニ依テ國家ノ協賛ヲ以テ、サウシテ之ヲ助ケルト云フヨリ外仕方ガナイ、ソレマデハ今ノ通り維持ガ出來ルナラバ成タケシ

タイト云フ意味ニ於テ、其時助ケタ譯デアアル、ソコデアリマシテ、マア今日ニ至ッタデアリマスガ、此間ニ付テ政府ガ今ノ不成功ニ終ッタドウ斯ウト云フコトト、サウシテ何カ彼等ニ強要シテ政府ガ操業ノ中止ラシ、或ハ價格ヲ定メテ、是ダケデアレト云フガ如キコトニナツテ、政府ガ原動力ニナツテ商人ヲシテ爲サシメルト云フ如キ御考ニ依テ起ッタヤウデアリマスガ、全ク今申ス通りデアリマス、彼等ノ要求ハ尤モナリトシテ、前ハ貸渡シ、今日ハ又彼等

ノ要求ガ國家ノ爲ニ是ハ捨テ置ケヌ必要ナルコトトシテ政府ハ之ヲ助ケタイト云フノデ、此豫算ヲ組ミマシタ次第デアリマス、ソレカラ此御論ノ中ニ、唯人爲デ政府ガ千五百圓ノ價ヲ維持スル、ソレデアアルカラシテ品物ガ賣レナイ、賣レナクシテ彌ガ上ニ滞ッテ來ル、其隙ニ乘ジテ支那ノ絲ガドシドシ賣レテ來テ、サウシテ自身ハ持ッテ居ッタノデ、賣レズシテ、人カラ得意ヲ取ラレテ仕舞フヤウナ現象ガアルノデハナイカト云フコトモアッタヤウデアリマシマス、是ハドウ云フ所カラサウ云フ御判斷ニナツタカ存ジマセヌガ、政府ノ調べマスル所ニ依リマス、此千五百圓ヲ維持スルガ爲ニ支那ノ絲ハドシドシ賣レテ居ラナイデアリマス、矢張紐育ニ滞ッテ居リマス、其救ヒマス時ニ於テハ約六千幾ラト云フ絲ガ紐育ニアリマシタガ、ソレハ支那、伊太利、日本、此三箇所ニ於テ在リマシタル高デアリマス、ソレガ今日ニ至リマシテ段減ジテ參リマシテ、四萬兩ホドニナツテ居リマスガ、其紐育ニ於テ絲ノ減リマスル割合ニ於キマシテハ、日本ト伊太利ト支那ニ於テ矢張減ル割合ハ殆ド同ジヤウナ減リ方ヲシテ居ルデアリマシテ、日本ガ滞ッテ向フガ賣レテ居ルト云フコトハ調べマシタ上ニ於テハ、殆ド無イト云ウテ宜イヤウナ調べニナツテ居ルデアリマス、是ハ御注文ニ依リマシテ數字ヲ調べサシタモノヲ差上ゲテ宜シイデアリマス、ソレカラ尙ホ其上ニ證據立テマスルノハ、支那ニ於キマシテ重ニ輸出ニ相成リマスルモノハ廣東ト上海デアリマス、此方ニ於テノ絲ノ在高ニ於テモ昨年ヨリモ却テ本年ノ今日ノ方ガ絲ガ堆積シテ居ルデアリマス、是ハ最近ノ調べニ依リマス、サウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ農商務省ガ直グニ調べタノデアリマセヌ、三井物産會社ノ如キ向フデ調べマシタモノニ依テ聞キマス、サウ云フモノデアリマス、ソレカラ又上海ノ山崎總領事ノ最近ノ報告ニ依リマシテモ、支那ニ於テハ日本ト同様ニ非常ニ絲ノ堆積ニ苦シンデ居ルデアリマス、上海ニ於ケル無錫ニ於ケル生絲業者ガ斯ク絲ガ安クテ賣レナイト云フコトニナルト、悉ク絲屋ハ潰レルト

云フ如キ有様ニナツテ、ヒドク難澁シテ居ル、ソコデアリマスカラシテ、彼等ガ絲組合會社ト申シマスカ、此組合ト申シマスカ、此絲商製絲家ガ寄りマシテ、矢張日本ト同様ノ決議ヲ致シマシテ、中央政府ニ至ッテ、ドウカ今日相當ノ金ヲ貸シテ、サウシテ維持シテ吳レヌト困ル、先ヅ二百萬元ノ金ヲ當座是非彼等ニ貸シテ貰ヒタイ

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

斯ウ云フコトハ一方デア支那ニ於テハ、絲ニ輸出税ガ掛ッテ居リマス、其ノ輸出税ヲ掛ケテ、其上ニ來ルト云フコトハ頗ル當業者ハ難澁スルカラシテ、是ハドウカシテ當分ノ間ハ絲ノ輸出ニ限ッテハ關稅ヲ免除シテ貰ヒタイ、是モ中央政府ニ請願シテ居ル次第デアリマシテ、矢張日本ト同様ニ絲ニ於テハ困ッテ居ル。第デアリマス、又伊太利ノ方ニ於キマシテモ、紐育ノ數ハ今申シマスル通りニ、殆ド日本ト比例的ニ減ッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ前農商務省ノ道家ガ農業ノコトニ付テ歐羅巴ニ派遣ヲサレテ、其最近ノ手紙ニ依リマス、伊太利ニ於テハドウシテモ絲ト云フモノニ付テハ或一定ノ價格ヲ維持スルコトガ必要ダ、是ハ唯ノ製造工業トハ違ッテ、農産物ノ一ツトシテ、サウシテ産物ニ限りガアル、ソレヲ唯安クスルト云フコトニナルト、大變ニ此ノ生絲製産地デ困ル、故ニ日本ト伊太利ト云フモノハ、何カノ條件デ價ヲ維持スルヤウナコトノ特別約束デモ出來ナイカ、前大藏大臣ヲシテ、又後ニ至ッテハ總理大臣ヲ致シテ居リマス所ノ、今日私ハ名ヲ記憶シテ居リマセヌガ、其人ヨリ態ト話ガアリマシタ、前ニモサウ云フコトヲ企テタ事柄デアアルカラ、ドウシテモ捨テ置ケヌカラ、御互ニ考ヘナケレバナラス、ミランニ參リマシタ所ガ、今ノサウ云フヤウナ話ガアッタカラシテ、日本ノ同業者カラ何トカ宜イ考ガナケレバナラス、實ハ待ッテ居ルト云フヤウナ譯デ、是ハ餘ホド將來考ヘタラ宜カラウト云フ意見ヲ付シタ手紙ガ參ッタヤウデアリマス、是等ヲ色々綜合シテ見マシルト、皆今日ハ此維持ト云フコトニ困難ヲシテ居ル状態デアリマス、ソコデアリマスカラシテ、日本ガココニ持ッテ居ルノニ、ソレヲ傍カラ又行クノヂヤト云フコトハ、ドウモ私等ノ調べハ今日マデ見出し得ナイデアリマス、又是ガ何カ報告ニ依リマス、千五百圓ハ高イ、高イガ爲ニ賣レナイ、賣レナイ故ニ、之ヲ幾ラカ下ゲタナラ賣レルダラウト云フヤウナコトデ、追ッテ大ニ見込ガ立チマシタナラバ、ソレハ又ソレニ依テ適當ナ處置モ致サナケレバナラスノデゴザイマセウ、決シテ一定不動ノモノデアナイ

ノデアリマシテ、ソレガ爲ニ若シ損ヲシタナラドウスウト云フコトヲ取ツテ居ルノデ、今日ハ其位ナ處置宜イ、併シ高イカラ賣レナイ、安クナレバ大變賣レルカラ、餘ホド考ヘナケレバナラス、今日ハ高クテモ安クテモ値段ノ如何ニ依テ居ナイ、亞米利加ハ一體ニ商況ガ不可ナルガ爲ニ、此生絲モ無論賣レナイト云フ状態ニ陥ルノデ、生絲單リガ高イカラ賣レナイト云フ現象ハ見出し得ナイノデ、ソコデ御質問ノ中ニ不成功ニ終ツタト云フコトハ、今ノ通りデアリマシテ、又操業休止ハ政府ハ何故サウ云フコトヲシタカ、總女工ヲ初メ實ニ困難ナ有様デアルガ、ソレニ付テハソレゾレ製絲家モ相當ノ停業ヲシテ、其停業ノ間ハ休業スルト云フノデアアルガ、是ハ政府カラ命ジタノデモ何デモナイ、唯彼等ガ厲行的ニ有效的ニシタカラ、政府ハソレヲ尤モナリトシテ居ル次第デアリマス、ソコデ第一ノ御質問ノ千五百圓ヲ維持スル目的タルヤデ、是ハ支人ノ商人ガ寄リマシテ、今申ス通りニ原價ヲ本位トシテ、是位ナラ賣レルダラウト云フコトデ、彼等ハソレヲ土臺トシテヤツテ居ツタ、政府ハ至極尤モナリトシテ、之ニ同意シテ居ル譯デアアル、先ヅ彼等ノ見所ニ依リマス、茲ニ政府ガ二千萬圓ヤツタカラ、之ヲ維持シテ成功スルト云フ見込デアアル、斯ウ云フコトデアリマシテ、其衝ニ於ケル貿易商製絲家ノ擧ツテノ要求デアルカラ、是ハ實行ノ出來ルコト、又目的ヲ達スルコトトシテ、ソレニ同意シテ融通シテ居ル次第デアリマス、併シ今申ス通り値段ハ千五百圓下ニ賣ルコトガ出來ナイゾト云フコトハ、政府ガシタ譯デアアリマセズ、彼等ノ損得ハ彼等ガ持テ居ル、千六百萬圓ハ彼等ノ負擔ガ多イノデ、ソレニ依テ其絲ニ經驗ノアル者同志ガ斯クスルノデアアルカラ、之ヲ信ズル以上ハ、政府ハソレハ高イカラドウ、安イカラドウデヤト云フコトハ政府ニ於テハ確乎タル調ヲ持ツテ居リマセズ、彼等ノ言フコトヲ信ズルコトガ適當トシテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二ノ千六百萬圓ノ損失ヲ會社ハ覺悟スルヤト云フコトニ付テハ、是ハ今申ス通り最初ヨリコチラデハ少シモ仕入レヌ、彼等自身ニ於テ斯ノ如クシテ千六百萬圓ハ矢張自身ガ負擔ヲスル、其上損ヲシタラ政府ガ三千萬圓デドウ損ヲ負擔シテ呉レ、其上自身ハ損ヲスル力ガアリマセズト云フカラ、是モ無論此コトハ覺悟シテ彼等ハ掛ツテ居ルノデアリマス、第三ノ十萬圓ノ堆積ハ養蠶業者ニ委託セザルヤト云フ意味ニ於テノ御話デアリマシタガ、是ハ若シ今ノ三萬圓ニ尙ホ其上六萬圓ヲ買ヒマシテ、其處ニ貯ヘテ居ル、斯ウ云フコトニナリマスナラバ、第一ニ養蠶家製絲家ト云フモノハ、將來ニ

於テ如何ニスルカト云フコトニ付テ是ハ餘程考ヘベキコトデアリマス、是ハ無イヨリモ斯ウ云フモノガアリマスマナラバ、餘程ソレハ彼等ノ此後養蠶ヲスル上ニ付マシテ、如何ニスルカト云フコトニ付テ躊躇スル是ハ數量ト信ズルノデアリマス、併ナガラ之ヲ捨テ置キマスト云フトデス、亞米利加ニハ今言フ通り安イカラ賣レルト云フ譯デアアリマセズシテ來テ居ルノデアリマス、此生産ガ、之ヲ政府ニ持ツテ居リマスレバ、市場ニ浮動シテ居リマス其物ヲ貯ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、之ヲ捨テ置キマシタナラバ全國ノ製絲家ガ製絲ヲシテ、サウシテ之ヲ横濱ニ持出シテ、ドシドシ投ゲルト云フヤウナコトニ行キマス、尙ホシモ此十年ノ養蠶ニ於テハ脅威ヲスルコトト思フノデアリマス、ドウモ賣レナイト云フコトニ今日時勢ノ狀況ガナツテ居リマスカラ、勿論其中デ脅威モセズ安心シテヤリ得ル途ハ如何ニシタラ宜カラウト云フト、ソレハ自然ノ成行キニ任セズシテ、貯ヘテ價ヲ待チ時勢ヲ待ツテ徐ロニ處理スルト云フコトニナリマシタナラバ、捨テ置クヨリモ養蠶製絲ノ此後ニ於テヤリマスコトニ付テ見込モ立チ、秩序モ立ツテ參ルコトト確信シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今迄ノ物ヲ捨テ置イタラ大變ダ、政府ガ斯ノ如クシテサウシテ餘物ヲ持ツテ、或時期マデ維持スルト云フコトハ、ソレニ比べルト餘程脅威ノ程度ガ輕イ、又養蠶家ガ安心ヲ餘程スルダラウ、又是カラ製絲ヲスル上ニハ、今迄アル物デアアリマセズ、是カラ造ルノデアリマスガ故ニ、是ガドウシテモ價ヨク賣レヌ、ドウモ賣レ兼ネルト云フ見込ガ強クッタナラバ、此春ノ養蠶ハ餘程掃立ヲ慎ミ、又製絲家ニ付マシテモ矢張争ツテ之ヲ買ツテ行クト云フヤウナコトナクシテ、餘程考ヘガ付イテ來ルダラウト信ズル次第デアリマス、ソレカラ同ジ政府ガ斯ノ如キコトヲスルナラバ、短イ時期ニ於テヤルト宜イ、此短イ時期ト云フコトハドノ位ノ程度ヲ以テ短イト云フカ否カト云フコトヲ存ジマセズガ、政府ハ大正九年度ニ於テノ絲ニ限ツテ、此融通ヲ付ケルト云フコトニ限ツテ居ル次第デアリマス、是ガ九年モヤツタカラ十年モ助ケルカドウカト云フコトニ相成リマスルト、御話ノ期限ガナイノデアリマスルカラシテ、同ジ物ニ於テ先ヅ大正九年度ノ……十年ノ五月末、即チ此ノ大正九年ノ養蠶ニ限ツテヤル、アトハ考ヘテ養蠶ヲナサイト云フ程度ニ限ルト云フコトガ至當デ、一番短イ間ノ所デ、サウシテ其年限ヲ限ツテヤル、二箇年デ成ベク處理ヲサセルト云フ積リデ年限ヲ限ツテ居ルノデアリマス、是ハ一萬トカ二萬トカ云フモノデアリマセズ、十萬以上ノ絲ニ付マシテモ少

ナクトモ此位ノ期限ヲ以テ見込ヲ立テマセスケレバ、成功スルコトガ餘程困難デアラウト思フノデアリマス、是モ其時ハ長短ハ分リマセヌガ、私等ハ餘程限ラレタ短イ間ニ於テヤル、前ノ時ニハ三月ニ起ツタモノガ六百萬圓デ一年半ト記憶シテ居リマスガ、今日ハ先ヅ二年位ニ處理ヲスル、其間ニ低利資金ヲ貸サウ、三千萬圓ヲ二年ノ間貸サウ、サウシテ損ヲシタラ斯ウト云フコトニ先ヅ彼等ノ言フコトヲ信ジマシテ、是カラ後ニ斯ノ如クシタラ成功スル、縦ンバ見込ガ外レテモ彼等ハ千六百萬圓ハ自ら吐出シテ損ヲ致シマス、其以上デナケレバ政府ニ御迷惑ハカケマセヌ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○若槻禮次郎君 農商務大臣ハ私ノ質問シナイコトヲ澤山御答ヘニナリマシタ、質問事項以外ノ理由トシタコトニ付テ一々反駁ノ意味デ、答辯ト云フ形デ反駁ヲサレタヤウデアリマスガ、是ハ農商務大臣ニ於テ必要トナサルナラバ左様ナサルコトハ一向何等異議ハ申サヌノデアリマス、併シ願クバ質問ハ質問ノ箇條ニ付テ答ヘテ置イテ、質問者ニ答辯ヲ満足セシメテ置イテ、ソレカラ農商務大臣ガ誤解ヲ招クトイケナイカラト云フコトデ、議場デ辯明ナサルナラバ、何時間御辯明ニナツテモ宜シウゴザイマスガ、先ヅ自分ノ御都合ノ意見ヲ先キニ御述べニナツテ、質問ノ事項ハ簡單ニ御答ニナツテ居リマスノデ、大變錯雜シテ分リ兼ネタノデアリマス、ソレデ是カラ私ガ御伺ヒマスノハ一項一項伺フテ、伺フ理由ヲ言ヒマスカラ、其理由ニ付テ何カ仰シヤルコトガ必要ナラバ、後デ仰シヤツテ戴イテ、御尋ネ申スコトニ先ヅ御答ヲ願ヒタイノデス、其中第一ニ正シテ置カナケレバナラヌノハ、此問題ハ短イ間ニ此事ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトヲ言ウタガ、是ハ大正九年度ノ爾デ造ツタモノダケヤルノデ、是カラ先キ二年位大變時期ガ短イ間ト云フ御答ガアリマシタガ、私ハサウ云ウコトヲ云ウテ居ラナイノデアリマス、サウ云フ事柄ヲ議場ニ御聽カセニナル必要ガアルナラバ、大臣ガ勝手ニ御聽カセニナツテ宜シイノデアリマスガ、私ノ理由ヲ述ベタ中ニハサウ云フコトヲ言ウテ居リマセヌ、短イ間ニ行ハナケレバナラヌトハ言ハヌノデアリマス、斯ウ云フ仕事ハ短イ期間ノ間ニ價格ヲ維持スル目的ニドウシテ行クノデアアルカ、而シテ止メテモ、アト續イテソレダケノ價格ガ維持セラレルト云フ見込ガナケレバ手ヲ著ケテハナラヌト云ウタノデアリマス、仕事ヲ短イ間ニヤラナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ申サヌノデアリマス、是ハ別ニ御答辯ハ要ラヌノデアリマス、私ノ申シタコトヲ誤解シテ仰シヤツタカラ、私ハ之ヲ正シテ置クノデアリマス、而

シテ元來此買占メテ價格ヲ吊上ゲテ置カウト云フ仕事ハ、是ハ大博奕デアリマス、屢、歐羅巴ヤ亞米利加ニ於テ、小麦ノ買占、銅ノ買占ト云フコトデ價格ノ吊上ゲヲ試ミタコトガアリマスガ、是ハ皆失敗シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ價格ノ吊上ラ無理ニヤルト云フコトハ大博奕デアリマス、此ノ大博奕ヲヤルニ付テハ餘リ長カラザル時期ニ必ズ上ガルト云フ餘程理由ノアル場合ニ限ルノデアアル、ソレデナカッタナラバ必ズ失敗スル、ソレデアアルカラ價格ガ短イ期間ノ間ニ必ズ千五百圓ニ上ガルト云フ見込ガ立ツテ居リマシタカ、此事ヲ御止メニナツタ後ニモ尙ホ千五百圓ト云フ價ヲ保タレルト云フ御見込ガ立ツテ居リマシタトカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

ソレニ付テ私共ノ考ハ、大隈内閣ノ時ニ斯ウダト仰シヤイマシタガ、私ハ此前モ申上ゲマシタカラ成ベク其事ハ言ハヌ積リデ一言モ言ハヌノデス、其時ニハ目的ヲ達シタト思ツテ居リマス、サウ云フコトヲ此所デ言フノハ、自慢ラシイコトヲ言フノハ面白クアリマセヌカラ、私ハ一言モ申上ゲマセヌノデアリマスガ、ソレヲ唯今御遠慮ナサツテ色々御言葉ガアル、其時ハ責任支出デ貴族院トシテハ、ア、云フコトヲヤラナクテハナラヌト云フ院議ガアッタノデ、ソレニ願ミマシテソコデシナケレバナラヌト云フヤウナ御話デアリマス、今申シマシタル通り中々ムヅカシイ博奕デアアル、サウ云フコトヲヤツテ國民ニ非常ニ後へ累ヒテ殘スコトガアルカモ知レマセヌ、商賣ノ上ニ於テモ、貿易ノ上ニ於テモ大變壓迫ヲ加ヘテ、サウ云フコトヲ此所デ始メテ、責任ヲ逃ガレヤウト云フナラバ、政治家トシテノ態度ヲ執ツテ御ヤリニナルナラバ成功スベキ道ガアル、政治上ニハ十分責任ヲ負ウテ、間違ッタラ直グ責任ヲ十分負フト云フコトハ當リ前ノコトデアリマス、斯ウ云フ御決心ガアツテ、斯ウ云フコトデアッタト云フコトヲナサズシテ、成功スベキコトガアツテモ之ヲナサズシテ、斯ウ云フ大博奕ニ御著手ナサルト云フコトハ、私ハドウモ政治家ノ御態度トシテ、甚ダ失禮ノ申分カモ知レマセヌガ、今少シ御勇氣ガアリ、ソレダケノ責任ヲ負フテ、政府ニ勇氣ガアル、ソレナラバ斯ウ云フコトヲヤラヌト云フコトデアアル、農商務大臣ノ唯今一時間モ掛ツテ御述べニナツタ大部分ハ、是ハ政府自身ガヤツタノデハナイ、當業者ガ運動ヲヤツタカラ、彼等ノ要求ニ依テヤツタ、何事モ彼等ノ言ツタ通りニヤツタト云フノガ御説明ニナツタ主デアッタノデアリマス、ソレヲ以テ責任ヲ免ガレルニハソレデ宜イカ知レマセヌガ、

併ナガラ是等ノ重大ナルコトヲ行ッテ、後へ非常ナ結果ヲ殘スニナルベク責任ノ來ナイヤウニシテ御著手ニナタト云フコトハ、私ハ是ハ今一段御勇氣ヲ出シテ、政治家トシテノ御態度ヲ要求シナケレバナラヌト思フ、ソレカラ私ハ事柄ヲ御伺ヒ致シマスガ、一梱千五百圓ト云フノハ、是ハ當業者ガサウ云フノデ、政府ガヤッタノデナイト云フコトヲ言ウテ居リマスガ、併ナガラ今日ノ帝蠶會社ガ政府ノ命令ニ依ルコトハ新聞ニモ現ハレテ居ルノヲ見マスト云フト、帝蠶會社ハ定款ニ於テ其仕事ノ色々、實際仕事ヲスルニ付テ一々政府ノ指揮ヲ受ケテヤルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、重ナル事項ハ千五百圓ノ價格ヲ維持スルコトガ政府ハ御承知ナイカ分ラナイガ、帝蠶會社ガ此積リデ價格ヲ維持スル、斯ウヤリマス政府ニ言ッテ居ルニ違ヒアリマセヌ、之ニ付テ積極的ニ宜イト云フコトハ言ヘヌデモ、ソレヲヤツテ黙ッテ居ルノハ政府ハ即チ其責任ニナルト云フコトデアアル、ソコデ政府ヘハ既往ノコトヲ御尋ネシテ居ルノデアリマセヌ、既往ハ其積リデアリマシタラウガ、政府ノ御考ノ通りニ行カナカッタ、私ハソレヲ失敗シタト云フガ、失敗シナイト仰シヤル、失敗シナケレバ失敗ト云フ言葉ヲ使ハヌデモ宜イ、政府ノ思フ通りニ行カナカッタノデアリマスガ、既往ハ其通りデアリマスガ、私ハ既往ノコトハ御尋ネシテ居ルノデナイ、此ノ契約案ヲ出シテ、此ノ契約案ノ目的、帝蠶會社ノ千五百圓ノ價格ヲ維持シテ置キタイ、政府ガ認メテ御居デニナル、其ノ御趣意ノ基礎ニ反シタノカドウカラ御尋ネシテ居ル、ソレデアアルカ、ソレデナクテ、モット安クシテ價格ヲ維持スル積リデアアル、或ハ帝蠶會社ガ買フニハ必ズ一梱千五百圓ト云ウテモ、市場ニハ自由ニ賣ッテ宜イト云フヤウナコトヲ、具體的ノモノデ御答ヘ願ヒタイ、ソレ以外ノコトハ私ノ申シタコトデ、何か必要ナコトハ幾ラ申シテモ宜シイガ、ソレハ後デ御述ベテ願ヒタイ、ドウカ千五百圓以下ト云フコトデ是迄帝蠶會社ハヤツテ居ッタノデアアルガ、ソレデ此契約ヲ實行スル意味デ御出シニナツタノデアアルカドウカ、而シテ農商務大臣ハ、ソレハ帝蠶會社ノ人間ガ、サウシテ出來ル、當業者ガサウ出來ルト云フタカラ、サウ出來ルデアラウト仰シヤッタ、私ノ御尋ネシタノハ一梱千五百圓ト云フコトヲ維持スル目的デアッタカ否カ、ソレヲ目的トスルナラバ、其御見込ヲ御立テニナツタ根據ハドウカト云フト、ソレハ當業者ガサウ出來ルト云ツタカラ、出來ルデアラウト云フコトヲ仰シヤッタノデ、ソレカラ思ヒマスト、農商務大臣ノ御見込ミノ根據ハ、唯當業者ガサウスレバ宜イト言ッテ、ソ

レヲ大體根據ニ爲サレタト云フヤウニ思ッタノデアリマス、ソレデアリマセヌカ、ソレ以上ニ何かモット據ル處ハアリマセヌカ、只當業者ガ宜イト云フダケデハ如何ニモ私ハ不安ニ感ジマスケレドモ、農商務大臣ノ御見込ミノ根據ハ只ソレダケデアリマスカ否ヤ、之ヲ極ク簡單ニハッキリ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ帝蠶會社デ向フデ進ンデ作ッタノデ、政府ガ無理ニヤラセタノデナイ、ドコ迄モ政府ハ受身デアアル、ソレデ私ノ第二ノ問ハ斯ウ云フ契約ヲ御出シニナルニハ、ソコニ目的ガアルガ、ソレハ千五百圓ノ價格ヲ維持スルト云フ目的デアアル、其目的ヲ達スルニハ鞭撻ヲ爲サレルヤ否ヤ、帝蠶デヤラナケレバヤラヌデモ宜イ……或ハ帝蠶デヤラヌケレバ政府ノ方カラ鞭撻シテ後ニ殘ッテ居ル八百萬圓ノ拂込モ鞭撻シテ之ヲ爲サシメル、尙ホ帝蠶ガ買入ヲ躊躇セバ政府ハ之ヲ促シテ買入ヲ爲サシメラレルヤ、之ヲハッキリ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ十萬圓カラノ品物ガ積積ニ堆積シテ居ルノハ將來養蠶家ヤ生絲業者ガ、此堆積ト云フモノハ帝蠶ニ入レテヤルカラ差支ナイト云フヤウナ御答辯ダッタト思ヒマスガ、若シソレデアリマスト云フト、私ハ又是今日ノ價格ヲ維持スレバ、將來ノ養蠶家製絲家ニモ、先ツ戰前位ノ生産ヲサセテ價格ヲ維持シテ行クト云フコトガアルト思ヒマスガ、農商務大臣ノ御考ハ是デアリマス否ヤ、ソレカラモウ一ツ私共御尋ネシタノニ御答辯ガナカッタノデアリマス、是デ一通リヤルト云フト又本年ノ夏ノ頃、秋ノ頃ニ至ッテアレデハマダ足りナイカラ救済シテ下サイト云フヤウナコトハアリマスマイカ、私ハサウ云フ風ニ引キツラレテ行クヤウナ傾向ガアルデナイカト思フノデアリマス、ソレハアリマセヌカト云フコトニ對シテ御答辯ガナカッタノデアリマス、是ハナイナラバナイデ宜イノデアリマス、強ヒテ詳シイ御答辯ヲ伺ハヌデモ、簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、併ナガラ私ノ眞ニ尋ネタイノハ、ソレダケデアリマシタガ、私ハ支那ノ絲ガ日本ガ止メテ居ル爲ニ便宜ヲ得テ、亞米利加ノ方ヘ大變ニ餘計行ッタト云フコトヲ申シタニ付テハ、サウデナイ、斯ウ云フ御話ノ中ニ紐育ニアッタ日本ナリ伊太利ナリ支那ノ絲ガ皆減ッテ居ルノデアリマス、又若干ハ殘ッテ居ルノデアリマスカラ、日本バカリデナイト云フヤウナ御言葉ガアッタ、材料ハ見セテヤラウト云フノデアリマス、ソレハ私ノ御尋ネシタ趣意ニ適ヒマセヌケレドモ、其材料ガ頂キタイノデスカラ、ドウゾ頂戴イタシタイノデアリマス、ソレカラ支那ノ絲ハ上海香港カラサウ出ナイト云フノデ、彼方モ依然ト薄イノダト云フコトデアリマスガ、此材料モ

頂戴シタイノデアリマス、昨年ノ今頃ナリ、或ハ四月デモ宜シウゴザイマスガ、五月デモ宜シイ、或ハ一月デモ宜シイ、材料ヲ御持チニナツテ居ルコトデアラナラバ、何時デモ宜シイガ、其時ノ香港竝ニ上海ニハ生絲ガドレダケ停滞シテ居ルカ、ソレカラ支那カラ輸出シタ生絲ノ數量ガドレダケニ上ツテ居ルカ、今日上海方面ニドレダケ停滞シテ居ルカ、此材料モ領事館ノ報告ニアッタサウデアリマス、又三井ヤ、モウ一ツドコダカ知レマセヌガ、サウ云フ所カラノ調べモアルサウデスカラ、ソレニ依テ農商務大臣ガ唯今御述ベニナリマシタ以上ハ、農商務大臣モ御承知ニナツテ居ラレルラシイデアリマス、ソレモ併セテ頂戴イタシタイ、是ハ書面デ宜シイデアリマシテ、書面デアリマセヌト、口頭デ伺ヒマス、記憶ガ出來難ウゴザイマスカラ書面ニシテ御送リヲ願ヒタイ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 若槻君ハ成ルタケ質問ニ付テノ答辯ハ要點ヲ極ク簡單ニシテ貫ヒタイト云フコトデアル、私モ成ルタケ簡單ニシタイノデアリマス、シタイノデアリマスガ御質問ノトキニ於テ、色々理由ヲ述ベラレマシテ御質問ニ相成リマスカラシテ、矢張私モソレハ斯ク斯クニナツテ居リマス、故ニ斯ウ云フヤウナコトニ相成リマシタ、ト云フ理由ヲ詳細ニ述ベマセヌト云フト、大變ナ行違ヒガ起ルノデアアル、貴方ハ簡單ニ述ベルガ宜シイ、私ハ貴方カラ簡單ニ聽イテ貫ヒタイ、サウシタラ簡單ニ述ベマス、ケレドモ御質問ニ付テ長イコト理由ヲ付ケマシテ行キマスル故ニ、ドウモ遂ニソレニ依リマシテ長ク説明ヲ致サナイト云フト、ドウモ分リ兼ヘルト思ヒマス、故ニ言フノデアリマス、ソレデ今ノニ付マシテモサウデアリマシテ、簡單ニ述ベヨト云フコトデアリマスガ、ドウモ誠ニ錯雜シテ居リマシテ、簡單ニ述ベルコトヲ、餘程困難ヲ感ズルノデアリマス、ドウカ此一條、二條ニ付テ逐一デ宜シウゴザイマスカラ、簡單ニドウゾ御質問ヲ願ヒマス、サウスレバ簡單ニ御答ヘイタシマス

○若槻禮次郎君 第一ハ此度ノ契約案ハ矢張依然トシテ一柵千五百圓ノ價格ヲ維持スルト云フ目的デアルヤ否ヤ、ソレニモウ一ツ附加ヘテ、其見込ミデ其目的デアラナラバ、其見込ミハ先程御答ニナツタノニ、當業者ガソレデ出來ルト言ッタカラソレデサウシタト仰シヤッタガ、其通りデアリマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 千五百圓ト申シマスルモノハ生絲貿易商、生

絲業者、總テ彼等ガ相談イタシマシテ、此位ナラバ維持ガ出來ル、又シテモ無理ノナイモノダ、又其位ノコトヲ維持ガ出來ナケレバ蠶業ノ將來ニ餘程影響ガ及ブ、先ヅソレガ適當ナリトシテ、サウシテ其見込ヲ以テ彼等ガ買入レルノデアアル、政府ニ於テハソレハ高イ、高イ故ニ安クシロトカ、先ヅ高クシロト云フダケノ……政府ニ於テ別ニ是ト云フ調ベヲ持ツテ居ラナイノデアリマス、矢張彼等ノ言フコトガ適當ナリト政府ノ方デ考ヘマシテ、是ガ適當ナリト自身ハ思ヒマスル故ニ、ソレニ一致シテ居ルコトデアリマス、是ハ亦彼等ニ於テ千五百圓ト言ヒマスガ、ドウモ時勢ノ變化ニ依テ千五百圓ニ賣レナイ故ニ千四百圓ニ致シマセウト云フヤウナコトガ起レバ、其事情ニ應ジテ、ソレモ變ジラレナイモノデナイ、故ニ初メカラ損ヲスル、損ヲ補償スルト云フコトハ、即チ見込ガ違ッテカラ始メテ損ガ出ルノデアリマス、ソコデアアルカラシテ五千萬圓ヤル上ニ付テモ、千六百萬圓カラ負擔スルダケノ金ヲソコデ積ミナサイ、サウシテ安心スルヤウニナサイ、是ハ見込ガ違ッテ損ヲスルト、貸シタ政府ノ貸金ニモ傷ノ著クヤウナコトガ起キマス、故ニ是ハサウシテ居ル譯デアリマス、先ヅ之ヲ維持スルト云フ目的ニ於テ進ム次第デアリマス、ソレカラ二ハ、ドウゾ一……

○若槻禮次郎君 矢張り長クナルノデ困リマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) ドウゾ簡單ニ御質問ヲ願ヒマス

○若槻禮次郎君 今ノ農商務大臣ノ御答辯デハ千五百圓ト彼等ガ言フカラシテサウシタ、サウシテ置キナガラ彼等ガ千四百圓ト云フテ來レバソレデ宜シイト云フ御答辯デアッタノデアリマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) サウデス

○若槻禮次郎君 政府デハ此ノ契約案ヲ御當テニナツテ生絲ノ價格ノ維持ヲ努メヤウトナサルノニ、今日ハ何等確定シタ御計算ハナイヤウニ思ヒマスガサウデスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 原案ガアルノデアリマス、斯ノ如ク價ヲ定メルトカ云フヤウナコトハ、唯政府ガ所謂皮相ノ論デ理窟デ行クモノデアリマセヌ、必ズサウ云フモノハ其途ニ堪能ナル商賣人ノ信用スベキモノガ集ッテ、サウシテ行クト云フコトガ誠ニ確實ナモノト前提ニ於テ考ヘルノデアリマス、サウシテソレヲ出來マスト云フト、ソレハ尤モデアアル、生産ノ上カラ考ヘテモ、或ハ紐育ノ有様ニ於テ考ヘテモ、内ノ生産ノ高ニ於テ考ヘテモ、

製造工業ノ品物デハナイ、農産物ニ付テハ一箇年ノ生産ニ凡ソ限リガアル、以上ニ付テモ色々ナコトヲ考ヘテ、是ハ尤モデアルト信ジテ、サウシテ承認シテ居ル次第デア

○若槻禮次郎君 餘リ執拗イデスガ、極ク簡單ニ……サウスルト此ノ契約案ニ依テ維持セムトスル價格ハ、當業者ガ是位デ宜カラウト言ッタ、其價格ヲ維持シヤウト云フ御考デアリマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) サウデゴザイマス

○若槻禮次郎君 ソレカラ其次一々簡單ニ御尋ネ致シマス、帝蠶會社ハ農商務大臣ノ仰シヤルヤウニ……仰シヤル通りニ從ヒマス、丁度公益事業ヲ目的トシテ居ルモノノヤウニ聞エマス、自分ノ財産ハ皆捨テ、モ此生絲ノ價格ヲ維持シヤウト云フ、斯ウ云フヤウナ會社デアルヤウニ聞エマス、ソコデ自分ハ皆損シテデモヤルカラサウヤラセルト仰シヤッタヤウニ御答辯ニナリマシタガ、ソレデ今日デモ帝蠶會社ハ皆損シテデモ公益ノ爲メ、生絲事業ノ全體ノ爲ニ已ムヲ得ナイカラト農商務大臣ハドコマデモ解釋シテ、凡ソ見當ラ付ケテ居ラレルカ、是カラ先キ七萬圓カラ買フ、ソレガ爲ニ拂込ラ要スレバ拂込金モスルト云フ覺悟ヲ持ッテ居リマスカ否ヤ、餘リ長クナク御答辯ヲ……
○國務大臣(男爵山本達雄君) 先刻申シマシタル千六百萬圓ノモノヲ八百萬圓拂込ンダ、此上ハドウモ自身等ノ力デ今日ノ經濟ノ狀態デ困難デアアル、ソレ故ニ政府ニ於テ後ノ此維持ヲスル上ニ付テ國家ニ助ケテ貰ヒタイト云フ、併ナガラ自身等ハドコ迄モ千六百萬圓ト云フモノハ責任ガアルノデアリマスカ、彼等ノ千六百萬圓ヲ損ヲスルニアラザレバ政府ノ三千萬圓ニハ少シモ損ハ來ナイト云フコトニ彼等ハ承知シテ居ルノデアアル、是ハ私ハ實ニ情ニ於テ考ヘルト能ク奮發シテ、ソコマデ爲シテ居ル、彼等ガ唯商賣ノ爲ニヤラズ、斯業ノ維持ノ爲ニ各自身等ガ奮發シテヤルコトニ付テ、自身ノ信賴シテ居ル株券ダケノモノハ皆ナ負擔イタシマスト公言シテ掛ッテ居ル、非常ナル奮發デアルト思ッテ、斯ウ云フ次第デアリマスカ

○若槻禮次郎君 其次ハ十萬圓モ堆積シタ生絲貿易ト云フモノガ、果シテ出來ルモノデアリマスカ、是モ御答辯下サルト云フコトニナリマスカ、餘程又御答辯ガ長クナリマスカ此方ハモウ質問ヲ致シマセス、私ハサウナルト思ヒマスケレドモ、ソレダケハ御答辯ヲ得ヌデモ宜シウゴザイマス、次ハ是キリ救濟ハナイカ否、又今年ノ秋ノ頃ニナッテカラ、アレデハイケナカッタカ

モウ一遍ヤッテ貰ヒタイト云フヤウナコトハ起ラヌノデアリマスカ否ヤ、之ヲ伺ヒマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) ソレハ起ラヌト云フコトノ保證ハシ兼ネマス、併シ政府トシテハ大正九年度ニ於テノ生絲ニ限ッテ補償ヲスルト云フコトニ區切リ付ケテ居リマス、ソコデアリマス故ニ大正十年度生絲ヲ兎ヤ角、政府ガ具體的ニ助ケルト云フコトハ更ニ考ヘナイノデアリマスカ

○上山滿之進君 私ハ蠶絲救濟ノ問題ニ付テ質問ヲ致シタイノデアリマス、此問題ハ現在ノ狀態ガ、現在ノ蠶絲市場ノ狀態ガ進退兩難ノ立場ニアル、進ムニモ困リ退クニモ困ル、千仞ノ崖ノ真中マデ引張り上ゲマシテ、真中程ニチヨット出テ居ル岩ノ上ニ据エラレタ、斯ウ云フ譯ニナッテ居ル、誠ニ厄介至極ナ問題デ、先日來種々考ヘマシタケレドモ、白狀イタシマスカ、マダ此案ニ對スル贊否ノ意見ガ私ニ決マラナイ、私ハ蠶絲救濟ニハ多少ノ以前緣故ヲ有ッテ居ル人間デアリマス、少シ位蠶絲ノコトハ承知シテ居リマスカ、到底判斷ガ出來ナイ、ソコデ二三ノ當業者デナイ人デ、能ク此方面ノコトヲ承知シテ居ル人ニ、實ハ教ヲ請フタノデアリマス、教ヲ請ヒマシテモ、マダ判斷ガ決マラナイノデアリマス、私ニ取ッテハ斯クノ如ク非常ニムツカシイ問題デアリマス、ソレデ此處デ此全ク自分ノ疑ヲ解ク爲ニ政府ニ質問ヲ致スノデアリマス、質問ヲ致シマスル前ニ昨年帝國蠶絲株式會社、約メテ帝蠶ト申スヤウデアリマスカ、此帝蠶ノ著手シタ、蠶絲救濟ノ歴史ニ付テ一言言ハナケレバナラヌ、此歴史ヲ索ネル所以ガ今日以後ニ於テ如何ナル方面ニ向ッテ國ガ手ヲ著ケナケレバナラヌカ、或ハ著クベカラザルカト云フコトヲ決スル、重要ナル材料ニナルノデアリマス、先刻來今度ノ蠶絲救濟ハ失敗デアルトカ、ナイトカ言フ、段々御議論ガ交換セラレタノデアリマス、私ハ農商務大臣ガ……政府ガ政治上ノ立場カラ強ヒテ是ハ失敗デナイト仰セラルル立場ニハ同情ヲスルノデアリマスカ、併シ政治上デハ何トデモ仰シヤッテ宜シイ、失敗ト云フ字ガ惡ケレバ、ヤリ損ヒト變ヘテモ宜シイ、アルハ「ト書イテモ、」ビータ「ト書イテモ、ソレハ何デモ宜シイノデアリマス、併シ事實ハ失敗ニ違ヒナイ、ソレハ政府ノ責任デアアルカドウカ、ソレヲ私ハ論ズルノデアリナイガ、併ナガラ事實ハ失敗デアアルコトハ是ハ明瞭デアアル、丁度此ノ救濟事業ガ昨年起リマシタノハ私ガ外國旅行中デアリマシテ、旅行先デ聞キマシテ、其時斯ノ如キコトヲ申シタ、餘程は大正四年ノ時トハ狀況ガ違ッテ居ル、違ッテ居

ルガ斯ナ狀況ニナツテ、生絲ノ値段ガ一時ニ暴落スルト云フコトニナツタナ
ラバ、何トカシナケレバナラヌデアラウ、併ナガラ大ニ情況ガ違ッテ居ル、ド
ウカ成功ヲスレバ宜イガ、併ナガラ何時モ鱈ノ居ル上ニ柳ガ必ズ立ッテ居ルト
ハ決ッテ居ラナイ、困ッタモノダト云フコトヲ申シマシタ、歸朝シマシテ、段
段様子ヲ聞イテ見マスト、此時私ノ考ヘマシタ事情ノ違ッテ居ルト云フコト
以外ニ、其以上ニ又實ハ驚クベキコトヲ聞イタノデアリマス、ソレ等ガ失敗
ノ原因デアアル、第一、事情ノ大正四年ト違ヒマス所ハ、生絲ノ主モナ得意先
デアアル亞米利加ノ景氣デアリマス、大正四年ノ時ハ景氣ガ上向キノ時デア
タ、今日ハ下向キノ時デアアル、昨年蠶絲救済ヲ始メタ時ガ恰モ下向キノナツ
來タ時デアアル、上向キト下向キト全ク方向ガ違ッテ居ル、是ガ一番此問題ノ大
事ナ事情ノ差異デアアル、ソレデ大正四年ノ時ハ上向キノ時デアリマシタカラ、
都合好ク行ッタ、今度ハ下向キデアアルカラ逆ニ行ク、斯ウ云フ譯ニナル、ソレ
カラ今一ツ事情ノ違フコトハ大正四年ノ時ト昨年ノ時ト、横濱ノ在荷ノ生絲
ノ分量ニ大變ナ相違ガアル、申スマデモナク、分量ガ少ナケレバ之ヲ荷捌キ
ヲスルニ極ク簡單デアリマス、分量ガ多ケレバ多イダケソレガムヅカシイ、
是ガ一ツ、今一ツ違ヒマスコトハ、此賣止メ價格デアリマス、是ハ大正四年
ト昨年ト直ニ其數字ヲ以テ、比較スル譯ニハ參リマセヌ、ソレハ總體ノ物
價ノ關係ガアリマスカラ、是ハ數字ヲ以テ直ニ比較スルコトハ出來マセヌガ、
問題ハ此千五百圓ト云フコトガ相當デアッタカ、高過ギハシナイカ斯ウ云フコ
トニナル、此三ツノ事情ガ大變違ッテ居ル、其千五百圓ハ私ハ高過ギタト思フ
ノデアリマス、其三ツノ事情ガ違ヒマス、ソコデ私ガ歸ッテ來マスト、先ヅ驚
入ッタコトハ、初メノ二ツノ事情ハ是ハ其時ノ事實デゴザイマスカラ別トシ
テ、賣止メ價格千五百圓ニシタト云フコトハ純粹ニ蠶絲救済、大正四年ニ起
タト同ジ意義ニ於ケル蠶絲救済ヲスルト云フコトノミニ非ズシテ、蠶絲救済
ニ依テ金ヲ儲ケヤウト云フ連中ノアッタコトガ發見セラレタノデアリマス、明
カニ其時ノ事情ヲ、私ノ知ッテ居ル限り申上ゲル方ガ、此議題ヲ御審議ニナル
ニ付テ必要ナリト思フノデアリマス、當時價格ヲ幾ラニシタラ宜カラウト云
フコトガ勿論第一ノ問題ニナツテ、横濱ノ當業者ハ此價格ヲ千二百圓ト云フ論
者モアリ、千三百圓ト云フ論者モアリマシタガ、先ヅ千二百圓ト云フコト
ノ論デアッタノデアアル、ソレデ外ノ方面カラ、ソレデハ安イ、千五百圓ニシヤ
ウト言フ、或ハ六百圓論モアッタヤウデアリマス、サウ云フコトデ結局千五百

圓ニナツタ、其當時ノ價格ハドウデアッタカト申シマスト、ハッキリシタ數字
ヲ覺エマセヌケレドモ、千二百三十圓トコロデアッタト思フノデアリマス、千
百二十圓デアッタモノヲ、横濱ノ當業者ハ、此道ニ掛ケテ多年ノ經驗ヲ持ッ
テ居リ、海外ノ事情モ十分承知ヲ致シテ居ル、是等ノ人ノ意見ハ千二百圓
デアッタ、ソレヲ外ノ方カラ、ドノ方ト私ハ申シマセヌ、外ノ方カラ千五百
圓ノ論ガ出テ、結局千五百圓ニナツタ、農商務省ガ千五百圓ニシロト仰ッシャ
タトハ申シマセヌケレド、併シ農商務省ハ其計畫ヲ是ナリトシテ、大藏省ニ
相談ヲシテ、低利資金ノ五千萬圓モ此ノ會社ノ爲ニ、支出ヲシテヤラウト云
フダケ、肩ヲ御入レニナツテ、農商務省ハ此千五百圓論ヲ是認セラレタコトハ
勿論デアリマス、千五百圓ガ適當デナカッタナラバ、農商務省ハ是ニ責任ガナ
イトハ言ヘナイ、私ハ責任ヲ問フノデアリマセヌケレドモ、強ヒテ責任ガ
ナイト仰セラルレバ、左様デゴザイマスカト云フテ御辭儀ヲシテ居ル譯ニハ
參ラナイ、私ハ帝蠶ノ株主ノ名前モ承知シテ居リマス、是ハ御披露致シマセ
ヌ、其株主ノ中ニハ、千五百圓ニ賣止メヲスルト云フト人爲ヲ以テ生絲ノ價
格ハ持ッテ行ケルモノト思ッタト見エテ、大ニ儲ケル積リデ居ッタ人ガ二三ニシ
テ止マラナイ、私其考ハ惡イトハ申サヌ、是非善惡ヲ論ズルノデアリマセヌ、
餘リニ御見當違ヒデアッタト云フコトヲ、寧ロ其人ノ爲ニ悲シム、悲シンデ
濟メバ宜シイノデアリマスカ、是ガ失敗ノ大キナ原因デアアル、當時或ハ千二
百圓或ハ千三百圓ニシテ置ケバ今日ノヤウナ苦境ニ陥ラナイノデアアル、一口
ニ言ヘバ慾ガ付イタト云フコトハ、此失敗ノ大ナル原因ノ一ツデアルト云フ
コトガ爭ヘナイノデアアル、尙ホ帝蠶ノ遣リ口ニ付テ申シマスト、折角帝蠶ヲ
立テタケレドモ、中々株主ノ拂込ガ容易ニ行カナイ、從ッテ此品物ヲ買フコト
ガ中々運バナイ、斯ノ如キ場合ニ於テハ此ノ製絲場ノ方ノ操業短縮ヲ早速ヤ
ラナケレバナラヌ、操業短縮ヲヤツテ、横濱ニ出テ來ル荷ヲ、成ベク少ナクス
ルト云フコトガ最モ必要デアアル、此ノ操業短縮ガ中々行ハレナカッタ、是等ガ
總テ此純粹ノ蠶絲救済ト云フ頭カラ、仕事ガ割出シテナイト云フ結果デア
ルト云フコトハ疑ヲ容レナイ、是ハ總テ事實デアリマス、マダ詳シイ事實ヲ承
知シテ居リマスガ、サウ／＼ハ此議場デハ申上ゲマセヌ、斯ノ如キ誤ッタ考ヲ
以テ始メラレタル蠶絲救済ハ、如何ナル結果ヲ來シタノデアリマス、農商務
大臣ハ失敗デナイト仰セナリマス、農商務大臣ノ御失敗アルカ御失敗デア
アラザルカハ別トシテ、帝蠶會社トシテハ、明々白々ノ失敗ヲ致シタノデア

ル、第一初メ千六百萬圓ノ會社ヲ立テ五千萬圓ノ低利資金ヲ融通シテ貰へ、蠶絲救済ハ出來ルト見込シテカカ、此仕事ヲ始メタニ違ヒナイノデアリマス、出來ルカ出來ナイカ分ラナイガ、何ガナシニ始メテ見ヤウト云フ宙腰ヲ掛ツタノデナイコトハ、是ハ明瞭デアラウ、果シテ然ラバ如何デゴザイマス、其見込ガ外レタ、失敗シタ、失敗シタカラ此度ハ政府ニ絶ッテ、三千萬圓ノ補償ヲ得ヤウト云フデアリマス、是位明瞭ナ失敗ハナイ、見込違ヒモ失敗モ同ジコトデアアル、株金ハ如何デアアル、千六百萬圓ノ會社ヲ造ッテ、半額ヤット拂込シテ、殘ノ半額ヲ拂込メバマダ仕事ガ出來ルノデアリマス、半額拂込シタガ、半額拂込ミ得ナイ、是ガ失敗ノ一ツ、是ニ伴ッテ折角政府ガ出シタ低利資金ノ五千萬圓ノ中ヲ半分ヲ借り得ナイ、是ガ失敗ナシ、尙ホ少シ細カイコトデアリマスケレドモ、問題ハ重大デアリマスガ、百斤千五百圓ト決メテ居ル、是ハ信州上一ガ目標ニナツテ居ル、此ノ上一ヨリ高イ品ヲ以テ、優良品ガ「エキストラ」トカ色、私名前ヲ一々記憶シマセヌガ、澤山ナ名前ガアル、是等ノ優等品或ハ上一ニ對シテ相當ノ値開キヲ以テ賣買サレテ居ルノハ勿論ノコトデアアル、所ガ千五百圓賣止メト云フ置キナガラ、上一ガ千五百圓以下デ、關カラ關ヘ賣ラレルト云フコトモ聞キマシタガ、是ハ大シタ數デナイト云フコトノ論モアル、所ガ上一以上ノ優等品ガ、本來ナラバ、上一ガ千五百圓ナラバ優等品ハ千八百圓トカ二千圓トカ、或ハモウ少シ上迄モ行クノデアリマスガ、相當ノ値開キヲ以テ居ナケレバナラス、優等品ノ上一ノ賣止メ價格ガ千五百圓ナラバ、外國ヘ賣ッテモ宜イト云フ扱ヒ、又現ニ賣ッテ居ル、是ハ非常ナ失敗デアアル、其他數ヘ舉ゲレバ幾ラデモアリマスガ、失敗ノ跡ハ歴然タルモノデアアル、其失敗ヲシタ帝蠶ヲ御助ケニナツテ、帝蠶ノ初メノ計畫ヲシタコトヲ宜シイトシテ、ソレヲ援助セラレタコトハ勿論失敗ト言ハナケレバナラナイ、私ハ何モ政治上ノ責任ヲコンナ問題デ何モ問フノデアリマセヌガ、餘リニ失敗デナイ、失敗デナイト仰ッシャルカラ、言ハザルヲ得ヌ、私ハ遣リ損ツタコトハ遣リ損ツタ、遣リ損ハナイコトハ遣リ損ハナイデ突張ル、是ガ男ノ遣リ口ト思フ、遣リ損ツタコトヲ一カラ十マデ神力佛ノヤウニ、完全無缺ノヤウニ主張シナイデモ宜イト思フ、非常ニ不思議ニ思フ、サウ云フコトヲ始終仰ッシャル爲ニ議事ハ益、長引クヤウニナル、之ヲ明瞭ニシタイ爲ニ問フノデアアル、何モ政治上ノ責任ヲ問フノデモナイ、帝蠶ハ失敗ニ相違ナイ、斯ノ如キ失敗ヲ失敗デナイト強ヒテ辯ジテ、強辯ヲシテ扱ヒテ先ノ計畫ヲ、數

字ノ正シイ計畫ヲ立テルト云フコトハ出來ヌ、矢張失敗ハ失敗ト認メテ、矢張覆轍ヲ踏マナイヤウニシテ行カナケレバ本當ノ仕事ハ出來ナイ、失敗ヲ失敗ニ非ズト強辯スルト覆轍ヲ踏マナケレバナラヌコトニナル、此故ニ私ハ申スノデアリマス、扱今後ドウシタラ宜イカト申シマス、要領ハ極ク簡單デアアル、九年ノ絲、昨年ノ絲ノ荷捌キヲ早クシテ仕舞フコト、十年ノ新絲ノ生産ヲ制限スル、是ヨリ外ニ要領ハ無イ、唯此要領ヲ達スルノニ、ドウ云フ手段方法デ行クカト云フコトガ問題デアアル、又其問題ガ極メテ厄介デアアル、厄介ノ上ニ其厄介ナル程度ハ進退兩難ノ所ニ今置カレテ居ルト云フコトデアリマス、斯ノ如キ私ハ考ラ有ッテ居リマス、又過去ノ帝蠶ノ遣口ニ付テ私ハ斯ノ如キ批評ヲ私ハ有ッテ居ルノデアリマス、サウシテ私ノ本案ニ對スル考ハ現ニ定マツテ居ラヌノデアリマス、サウ云フ立場カラ私ハ質問ヲ致スノデアリマス、私ノ質問ハ丁度八ツ程アリマス、政府委員御面倒デゴザイマスガ、御書取リヲ願ヒマス、是ガ御書取リ下サラヌト復尋ネタ尋ネヌト云フヤウナコトニ色々ニナツテ來ル、數ガ多イモノデスカラ混雜ヲ起シテハイケマセヌ、私ハ質問ニ付テハ極ク簡單ニ其意味ヲ申シマシテ、其後デ質問ノ文句ヲ此處デ悠クリ讀ミマスカラ御面倒デモ政府委員御書取リヲ願ヒマシテ大臣ニ御差出シヲ願ヒマスルト大變私モ便利デアリマス、第一ニ御尋ネ致シマスノハ「救済ヲ打切ラバ米國ヘノ賣行キ進ムト思フ如何」救済ヲ打切ラバ米國ヘノ賣行キ進ムト思フ如何、是デアリマス、先刻若槻君カラ同様ナル……類似ノ御質問ガアリマシテ農商務大臣ノ御答辯モアリマシタガ、私ノ聽イテ居リマス所ニ依リマス、日本ガ蠶絲救済ヲ始メタ爲ニ日本ノ絲ノ値ト、伊太利ナリ支那ナリノ生絲ノ値ト、其間ニ差ガ生ジテ居ル、ソコデ伊太利ヤ支那ノ生絲ハモウ僅カノ間ニスツカリ荷捌キガ付テ仕舞ツタ、ソレカラ其後モ出テ來ル物ガ續々賣レテ行ク、紐育市場ニ於テ支那ノ廣東絲ト、日本ノ信州上一ト同ジヤウナモノニ値開キガアル、日本ノ絲ガ不利益デアアル、斯ウ云フ風ニ聞イテ居リマス、農商務大臣ノ先刻ノ御説明ハ何カ之ヲ否定サレルヤウデアリマシタガ、ソレハ若槻君ハ材料ヲ要求セラレタカラ、同ジヤウナ材料ヲ私ニモ戴キタイノデアリマス、併シ唯今ノ事實ノ如何ニ拘ハラズ、救済ヲ打切レバ下ル、下ルト云フコトハ勿論安クナルト云フコトト同ジ意味デアリマスガ、安ケレバ多ク賣レルト云フコトモ當前ノコトデアアル、極端ニ言ッテ見レバ之ヲ只ニシ

タナラバ如何ニ亞米利加市場ト雖モ貰フテ行クト思フ、又此千五百圓ノ物ヲ三
倍五倍ニシタラ如何ニ亞米利加ニ需要ガアツテモ一柵モ賣レナイ、極端ニ言ヘ
バサウデアリマス、併シ眞理ハ此中間ノ所ニ行ハレルノデアアル、例ヘバ千五
百圓ノ物ヲ之ヲ千二百圓ニシタラ其處ニ三百圓ノ遠ヒガ出來テ、多ク賣レテ
行クト云フコトハ勿論ノ話ト私ハ思フ、是ニ付テ今一應申シマス、救済ヲ打
切レバ米國ヘノ賣行キ進ムト思フ如何、是ガ第一ノ質問、第二ノ質問ハ「救
済ヲ打切ラザレバ新絲安見越シニテ豫定ノ八萬柵ヲ賣ルヲ得ザルベシ如何」
「救済ヲ打切ラザレバ新絲安見越シニテ豫定ノ八萬柵ヲ賣ルヲ得ザルベシ如
何」、現在此議場ヘ上ツテ居リマス案ガ通過致シマス、帝蠶ノ計畫ハ今後三
四五六ノ四箇月間ニ月々二萬柵、合セテ八萬柵賣レマシタラ其殘リノ七萬柵
ヲ買ハウ、斯ウ云フ計畫ダサウデス、所ガ救済ヲ打切ラナイデ、今ノ案ヲ通
シテ往キマスルト、此六月迄ハマア持ツカモ知レマセヌ、併シ七月一日頃ニ
ナレバ新絲ガ出來マスカラ、新絲ノ値段ハ俄ニ落ルト云フコトハ勿論、ド
ノ位ノ程度ニ落ルカ分リマセヌガ、矢張千二百圓、千五百圓ト云フ所ニ落チ
テ來ルダラウト思フ、是ハ亞米利加ノ商人ハ勿論能ク見當ラ付ケテ居ルコト
デアリマセウ、二三箇月先デ安絲ガ買ヘルノニ、何モアワクツテ態、帝蠶ノ御
命令通りニ高イ絲ヲ買ハナイデモ宜イ筈、ドウモ是ハ豫定ノ柵ガ賣レナイダ
ラウト思フ、是ハ如何ニ御覽ニナリマスカ、是ガ第二ノ質問、即チ「救済ヲ
打切ラザレバ新絲安見越シニテ、豫定ノ八萬柵ヲ賣ルヲ得ザルベシ如何」、第三
ノ質問ハ「養蠶家ノ思惑經營ヲ如何ニシテ防止スルヤ、之ヲ防止シ得ズトセバ
多大ノ思惑損ヲナサシメ、又未來ノ荷間ヘテ生ズベシ如何」「養蠶家ノ思惑經
營ヲ如何ニシテ防止スルヤ、之ヲ防止シ得ズトセバ多大ノ思惑損ヲナサシメ、
又未來ノ荷間ヘテ生ズベシ如何」、今ノ此案ガ通過イタシマシテ、矢張帝蠶ハ
千五百圓ノ價格ヲ維持スルモノナリト云フコトニナリマスルト、全國ノ養蠶
家ハドウ云フ態度ヲ執リマセウカ、是ガ問題ナンデ、先刻今後ノ方針トシテ
思見ヲ申述ベマシタ中ニ、十年ノ新絲ノ生産ヲ成ル可ク制限スルト云フコト
ガ、今日蠶絲問題ニ處スル最モ重要ナル點デアルト申スノデ、デ此ノ春蠶ハ
勿論ナリ夏蠶モ秋蠶モ少ナク生産サスト云フコトガ必要ナノデ、少ナク生産
サスレバ需要供給ノ關係カラシテ値段ガ恢復シテ來ル、故ニ極力此場合ニ於
テ養蠶ノ不獎勵ヲ行ラナケレバナラヌ、農商務省ハ養蠶ノ獎勵ハ始終行ッテ居
ルノデアリマス、併シ斯ウ云フ場合ニハ其反對ノ不獎勵ヲシナケレバナラヌ

ノデアリマス、實ハ今日迄農商務省ノ養蠶不獎勵政策ガ、早ク又徹底的ニ御
著手ニナラナカッタコトヲ、寧ロ私ハ遺憾トスルノデアリマス、サウ云フ状態
ノ今日ニ當ツテ千五百圓ノ生絲ノ價格ヲ維持スルト云フコトガ帝國議會ニ於
テ決定シタ曉ニ、地方ノ養蠶家ハドウ云フ風ニ考ヘルデアリマセウ、是ハ勉
強シテ大ニ養蠶ヲ行ルベシト斯ウ向イテ來ルデアリマセウ、能ク此議事ノ進
行ノ狀況ヲ詳ニスレバサウ云フ疑問ハ起リマセヌケレドモ、地方ノ津浦、
山、村、ノ末ニ至ルマデ議會ノ狀況ニ審ナル人ヲ以テ充タスト云フコトハ勿
論出來ヌノデアリマス、其結果ダケ見ル、其結果ハ千五百圓ノ生絲ノ價ヲ維持
スルト云フコトヲ承知スルノデアリマス、サウスルト是ハ養蠶ヲ獎勵スルコ
トニナル、詰リ思惑ヲ以テ來年モ高ク賣レル、千五百圓ノ生絲、千五百圓ノ
割合デ爾ガ賣レル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、是ハ餘程重大ナ事柄デ
アラウト思ヒマスガ、是ハ防ガナケレバナラヌノデアリマス、政府ハドウシ
テ之ヲ御防ギニナリマセウカ、若シ之ヲ防ギ得ナイデ澤山ナ爾ガ出來タト致
シマス、其養蠶家ハ春蠶ノ賣出シ、春蠶ノ賣出ノ時ニ至リマシテ全ク其期
待ヲ裏切ラレルノデアリマス、此爾ヲ買フ人ハ養蠶ヲシテ居ル人ヨリモ比較
的能ク西洋ノ市場、橫濱ノ市場ノ狀況ヲ知ツテ居ルノデゴザイマス、來年ノ絲
ハ、大正十年ノ絲ハ決シテ救済ハシナイノデアアル、自然ニ放任スルノダ、隨
テ其價格ハウント落ルノデアアルト云フコトヲ能ク知ツテ居ルカラ決シテ高
イ繭ハ買ハナイ、養蠶家ハ安クテモ其繭ハ賣ラナケレバナラナイノデアアリマ
ス、ソコデ養蠶家ハ甚シキ損ヲスル、政府ハ此ノ蠶絲救済ヲスルコトガ養蠶家
ヲ救フヤウナ風ニ仰セニナルケレドモ、私ノ見ル所ハ遺憾ナガラ反對ノ結果
ヲ生ズル場合ガ多イヤウニ思フノデアリマス、自ラ養蠶家ヲ獎勵シ獎勵セラ
レテ造リ出シタ繭ハ安クシカ買ハレナイ、斯ウ云フ結果ニ陥ルデス、養蠶家
ノ立場、餘リ世ノ中ノ都會ノ有様……外國ノ市場ニ通曉ヲシナイ養蠶家ニ對
シテハ甚ダ氣ノ毒ナ感ヲ懷抱セザルヲ得ナイノデアリマス、サウシテソレノ
ミナラズ斯ノ如ク誤ッタル思惑カラシテ多數ノ養蠶家ガ澤山ニ蠶ヲ飼ヒマス
ト、是モ忽チ大正十年ノ絲ハ大ナル荷間ヘテ生ジテ來ル、大正九年度ノ荷間
サヘ既ニ付カヌ所ヘ更ニ新シイ繭ガ出テ、新シイ生絲ガ出テ、ドウ一體始末ヲ
スルカ、斯ウ云フ疑ヲ抱カザルヲ得ヌノデアリマス、是ガ「第三養蠶家ノ思惑
經營ヲ如何ニシテ防止スルヤ、之ヲ防止シ得ズトセバ多大ノ思惑損ヲナサシ
メ、又未來ニ荷間ヘテ生ズベシ如何」第四ノ質問ハ「三千萬圓ノ補償ニテ九年

絲全部ヲ始末スルヲ得ザリシ時ハ如何ニスルヤ」三千萬圓ノ補償ガアレバ九年ノ絲ハ始末ガ出來ルト云フ今見込デアリマス、帝蠶ノ見込ハ、其見込ハ今横濱ニ在ル生絲及ビ地方カラ春挽キニ依テ出來ル生絲、之ヲ合セテ外國向ガ十五萬圓、其中デ八萬圓ハ外國ヘ行き、七萬圓帝蠶ニ買フ、其七萬圓ト買入レタ三萬圓ヲ合セテ帝蠶ハ十萬圓ノ生絲ヲ持ツト斯ウ云フコトニナル、是ハ豫定デアリマシテ豫定通りニ參ルトハ限ラス、現ニ先程申シマシタ若シ外國ニ充テテアル八萬圓ガ思フヤウニ行カナカッタナラバ、詰リ新絲ガ廉イト云フ見込ヲ以テ思フヤウニ賣レナカッタナラバ、アトハドウナル、斯ウ云フ問題、三千萬圓ノ補償デ行キマス、今ノヤウナ計畫ガ豫定通りニ進行シタ時ノ場合、進行シナカッタラドウスル、是デハ補償ガ足ラヌト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、サウスルト當然第二ノ救済ヲシナケレバナラヌト云フコトニ陥ルノデハナイカ、此點ヲ伺ヒタイ、三千萬圓ノ補償ニテ九年絲全部ヲ始末スルヲ得ザリシ時ハ如何ニスルヤ、第五ハ「株金未拂込八百萬圓ハ必ズ拂込マシムル確信アリヤ、若シ之アラバ何故ニ今日直ニ之ヲ拂込マシメザルヤ」今提出ニナツテ居リマス案ハ三千萬圓ノ補償ハスルガ、ソレハ株金ノ全部、即チ千六百萬圓拂ッタ、ソレヲ使ッテ了ッタ後ノ補償デアアル、ソレヲ使フ迄ハ補償金ハ出サナイノダト云フコトダサウデス、所ガ今八百萬圓シカ拂込ンデナイ、半額シカ拂込ンデナイノデアリマス、残りノ半額ヲ拂込ミマス確信ガ御有リナサルカドウカ、甚ダ私ニハ分ラナイ、株式會社ノコトデアリマスカラ、株ヲ投出シテ行ケバ先ヅ何トモ仕方ガナイノジヤナイダラウカト云フ風ニ私ハ思フノデアアル、若シ拂込マス確信ガ御有リナサルナラバ今拂込マセレバ宜イ話デアアル、所ガ今拂込ミガ若シ出來ルナラバ何モ三千萬圓ノ補償ヲシナイデモ、マダ二千何百萬圓ト云フ低利資金ハ何時デモ御貸申スカラト云ツテ、興業銀行ニ政府カラ預ケテアルカラ、ソレヲ借リレバ仕事ガ出來ル、デ八百萬圓ノ殘額ヲ拂込マナイデ、政府ニ投ゲテ來ル、政府ハソコデ補償シテヤル、今拂込メナイケレドモ其金ハ後ニ拂込ムト云フコトヲ言ッテ居ルト云フコトハ、ドウモ私ニハ辻褄ガ合ハヌヤウニ思フ、何故今拂込マセラレナイカ、私ノ見込ニ依レバ是ハ拂込マナイト思ヒマス、何故ダト申スト、百斤千五百圓デ十萬圓ノ絲ヲ帝蠶會社ガ持ツ、斯ウ云フ今計畫ニナツテ居ル、其中ノ三萬圓ハ既ニ買ッテ居ル、新ニ七萬圓買フ、豫定通りニ行ッタト致シマスト、十萬圓ノ絲ヲ持ツコトニナル、十萬圓ハ五萬五千俵ニナル、一俵ト百

斤ハ同ジデアリマスカラ、即チ一俵ノ價ガ千五百圓、五萬五千俵デアリマス、ソコデ新絲ガ出ルト同時ニ、此生絲ノ直段ガ俄ニ下ガルト云フコトハ勿論ノ話、是ハドウシテモサウ下ガル、如何ナル程度ニ下ガルカ分リマセヌガ、丁度昨年横濱ノ當業者ガ蠶絲救済ノ賣止價格ヲ千二百圓ニシタラ宜カラウト云ツタ所ヲ取ッテ千二百圓ト假定致シマス、一俵デ三百圓ノ値開キガアル、其三百圓ヲ五萬五千俵ニ掛ケマスト千六百五十萬圓ト云フモノニナル、損失デス、損失ガ千六百五十萬圓ト云フモノニナル、之ニ倉敷金利ガアリマス、サウスルト帝蠶絲ノ株主ハ今拂込ンデ居ル八百萬圓ハ勿論棒ニ振ラナケレバナラス、是ハ拂込ンデ居ルカラ仕方ガナイカ知レマセヌガ、アトノ八百萬圓ヲ棒ニ振ル目的ヲ以テ態々帝蠶會社ニ獻納ニ來ルデアリマセウカ如何デアリマセウカ、ソレダケノ慈善心ハ想フニ私持ッテ居ナイダラウト思フデス、サウスルト私ニハドウモ残りノ半額ヲ拂込マシムル見込ガ立タナイ、政府ハドウシテソレガ立ツト御思ヒニナリマス、尤モ今一俵ニ付テ損ガ三百圓ト見マシタガ、之ヲ十圓トカ二十圓トカ五十圓トカ百圓トカ僅ニ見レバ是ハドンナニモ見ラレルノデアリマス、併シ千二百圓ハ一箇ノ空論デハナイ、昨年蠶絲救済ヲスルトキニ賣止價格ハドノ位ニシタラ宜イカト云フ協議ノ時ニ、横濱ノ當業者ハ全部デアッタラウト思ヒマス、少ナクモ是ハ多數ハ千二百圓デスカラ三百圓ト云ウテ居ル、シテ見ルト結局此十萬圓ニ對スル損金ト云フモノハ帝蠶會社ノ全株ヲ突込ンデモ足ラナイ、其場合ニ殘リノ半額ヲ謹ンデ拂込ミニ來ルト云フ非常ナ武士道ニ富ンダ株主ガドレダケ居ルカト云フコトヲ私ハ疑フ、株金ノ未拂込ミ八百萬圓ハ必ズ拂込マシメル確信アリヤ否ヤ、若シ是アルナラバ、何故ニ今日直ニ之ヲ拂込マシメザルカ、是ガデアリマス、モウ少シデアリマスカラ、ドウゾ……「救済ヲ繼續スルトシテ賣止價格一千五百圓ヲ低下スルヲ得ザル理由如何」救済ヲ此場合ニ打切ッテ仕舞ッテ此案ヲ否決シテ仕舞ヘバ、勿論價格ハ下ガルデアリマセウ、之ヲ可決シテ救済ヲ續ケルト云フコトニナルト、人爲デ以テ或相當ノ價格ガ維持サレ、千五百圓ヲ維持出來ルカモ知レマセヌガ、併シ其場合ニ於テ此千五百圓ヲ下ゲルト云フコトハ出來マセヌカト云フコトガ私ノ質問デアリマス、ナセサウ云フコトヲ申スカト云フト、今千五百圓デ以テ突ツ張ッテ、三、四、五、六、六月ノ中頃カラ末頃ニナツテ新絲ガ出テ來ルト、ソレニ依テ値段ガズツ落チテ來ル、サウ云フ風ニ急轉直下ニ値ヲ落スト云フコトハ餘程考ヘモノデハナイカ、ソレニ付テ

後ノ絲ヲ何トカ助ケテ吳レト云フ問題ガ起ル、斯ウ云フコトハナイ方ガ宜イ、

私ハサウシヤウト云フ意見デハアリマセヌガ、假ニ救済ヲ繼續スルトシテ、

サウシテ賣止價格千五百圓ヲ下ゲタラドウカト云フデアリマス、下ゲテイ

ケナイナラバ其理由ヲ承ハリタイ、下ゲタラドウカト云フ理由ハ急激ニ六月

ノ末、七月ニ行ッテ落スヨリ今カラ落シテ行ッタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ云フ

コトデアリマス、救済ヲ繼續スルトシテ賣止價格千五百圓ヲ低下スルヲ得ザル

理由如何、ソレカラ今一ツ「帝蠶買入絲ノ賣拂時期ノ見込如何」此點ハ先刻二

年ノ内ニ片ヲ付ケルト仰セニナッタノニ依テ、豫メ御答ヲ得テ居ルカノヤウニ

思フ、其御話ノ意味ハ二年ノ内ニ賣ッテ仕舞フ、斯ウ云フ御話ドラウト思ヒマ

ス、是ハ今一應伺ヒタイノデアリマスガ、私ノ見込デハドウモムヅカシクハ

アリマセヌカ、亞米利加ノ景氣ガ上向イテ居ッテ繁昌シテ居ルナラバ、ソレハ

モウ構ヒマセヌ、併シ繁昌ニ向フ意氣旺盛ナ大正四年ノ時デモ先刻仰セニナ

ルヤウナ僅ナ絲ノ始末ヲスルニモ相應ノ時間ガ掛カッタ、況ヤ今日ノヤウナ段

段景氣ノ下向キニナッテ居ル時機ニ於テ、二年間ニ賣ルト云フコトハ餘程我國

ノ新絲ノ市場ヲ脅迫シハシマセヌカ、十萬捆ト申ストナカナカ大キナ分量デ、

戰前ノ高ト比ベマス輸出高ノ三分ノ一カ、或ハ四分ノ一位ノ、可ナリ大キ

ナ高ニナッテ居リマス、ソシテ大キナ分量ヲ、大正十年ナリ、十一年ノ新絲市

場ニ投出スト云フコトニナッタナラバ、非常ニ市價ヲ攪亂スルデアリマセ

ヌカ、サウスルト此絲ハ先ヅ亞米利加ノ景氣ノ恢復スルマデハ一切賣ラナイ

ヤウニシテ、シマッテ置カナケレバナラス、サウ云フ風ニ思ハレル、デアリマ

加ノ景氣ガイツ恢復スルカト云フト、戰爭デ非常ニ困ッタ歐羅巴大陸ノ景氣ガ

恢復スルニアラザレバ亞米利加ノ景氣ハ逆モ以前ノヤウナコトニ恢復シナイ

ノデアリマス、大體ニ於テ亞米利加ノ景氣ノ將來ハ甚ダ悲觀シテ居リマス、

是ハ人々ノ見込デアリマス、少ナクモ現在ノ状態ニ於テハ容易ニ恢復スル見

込ハ立タナイノデアリマス、其場合ニ當ッテ、而モ斯ノ如キ多額ノ分量ヲ擁シ

テ居ッテ、之ヲ僅カ二年バカリノ間ニ片ヲ付ケルト云フ御見込ニ依テ來タル所

以テ私ニハ分ラナイ、之ヲ出來マスレバドウゾ御説明ヲ願ヒタイ、此點ガ、

折角買ッタ生絲ノ後始末ヲドウスルカ、イツソノコト燒イテ仕舞ヘバ誠ニ始末

ガ宜イノデアリマス、燒ク譯ニ行カナイデ之ヲ持ッテ居ラナケレバナラス、サ

ウシテ其持ッテ居ル期間ガ非常ニ長キニ互ルト云フコトニナルト、色々玆ニ困

私ノ質問デアリマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御質問ノ要綱ガナカナカ精密デアリマシテ、

却ッテ私ヨリ御答ヲスルヨリモ當局ノ政府委員ヨリ御答ヲシタ方ガ詳シカラ

ウト思ヒマス、尙ホソレニ付テ必要ガアレバ又補足スルコトニ致シマス

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 御答ヘ申上ゲマスガ、随分多岐ニ互ッテ居リマスノ

デ、或ハ遺漏ナキコトヲ保セマセヌノデ、ドウゾ又不足ノ所ハ後デ御申聞ケ

ニ依テ補充イタスコトニ致シマスガ、大體ニ互リマシテ此生絲ノ價格ノコト

ニ付テ、千五百圓ヲ當局ガ認メマシタコトニ付テ色々御疑念ガアルヤウデア

リマスガ、ソレハ御入用トアレバ詳シイ細項目ニ互ッテ調査キテ差上ゲマス、

是ハ唯漠然ト千五百圓ガ宜シイト申シタノデハナイノデアリマス、先程來大

臣カラ繰返シ御話ガアリマシタ如ク、凡ソ斯ノ道ニ經驗ノアル者モ、其邊ガ

相當ノ價格デアルト云フコトヲ申シテ居リマスシ、又農商務ガ當局トシテ其

絲ヲ作りマスstickカラ、生絲ヲ拵上ゲマス間ノ總テノ生産費等ノ關係カラシ

テ、此邊ガ適當デアルト認メテ出テ居ルノデアリマス、是ハ各項目ニ互ッテ、

通ジテノ御議論ノヤウニ承ハリマシタカラ、豫メ申上ゲテ置キマス、ソレ

カラ第一ノ御尋トシテ救済ヲ打切ッタナラバ米國ヘノ賣行ガ一層進ンデ行ク

ト思フガドウカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ今日ノ日本ノ生絲ノ思フヤ

ウニ捌ケナイト云フコトハ、千五百圓ト云フ價格ノ爲ニ捌ケナイモノト當局

ハ認メテ居リマセヌノデ、素ヨリ御質問ノ如クタダ進上シヤウト云フヤ

ウナ極端ナ場合、又タダデナクテモ非常ニ安價デ之ヲ投賣シヤウト云フ場合

ハ是ハ別問題デゴザイマセウケレドモ、百圓下レバ賣レル、二百圓下レバド

ウト云フヤウナ場合デナイノデ、各般ノ景氣ノ上カラドウシテモ思フヤウニ

賣レナイノデアリマス、又今迄調べマシタ結果ニ依リマスルト詰リ安定ヲシ

ナイ、先キノ見込ガ立タヌト云フコトガ此商賣ノ思フヤウニ進マナイ主ナル

一ツノ理由ニナッテ居ルト云フコトヲ認メマシタノデ、帝蠶會社等ヲ後援イタ

シマシテ、其價格ノ安定ヲ圖ル方針ニ出ダダケデアリマス、從テ例ヘバ日本

ノ絲ヨリモ割安ノ絲ガ、或ハ支那ノ絲ニシマシテモ、其他ノ絲ニシマシテモ、

其方ガ賣レテ行クカト云フト矢張賣レテ行カナイ、此事モ先程來ノ御注文

ノ上ニ十分御研究アラムコトヲ御願ヒ致シマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ十分ニ聴取り兼マシタノデ、或ハ間違ガアルカモ知レマセヌガ、此救済ヲ打切ラナケレバ、新絲ノ安見込ノ爲ニ今外國ニ行ク八萬圓ト云フモノガ賣ルコトガ出来ナクナルダラウ、斯ウ云フ御考ノヤウデアリマシタ、是ハ數回申上ゲタ如ク、生絲ハ要スルニ千五百圓内外ヲ以テ賣ルト云フ其生絲ノ値段ガ、千五百圓内外ト云フコトハ適當ナル値段ト云フノハ、生産費其他カラ割出シマシテモ適當ナル値段ト認メテ居リマスカラ、其適當ナル値段ニハ世ノ中ノ特別ノ事情ノ起ラス限りハ、何か特殊ノ事情ノ起ラナイ限りハ、其所謂安定スベキ所ニ將來ニ於テ安定スルモノト大體ハ認メテ居ルデアリマス、從ッテ將來二箇年ナラ二箇年ノ計畫ヲ立テマシテ、帝蠶會社ガ此絲ヲ持ッテ居ルト云フ方針ヲマア立テテ居ル譯デアリマス、其間ニ必ズヤ相當ニ賣捌キノ出来ル時機ガ來ルダラウト、斯ウ見テ居ルデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、帝蠶會社ハ容易ニソレダケノ買込シダモノハ今直グニ離スト云フコトニナッテ居リマセヌカラ、此買込ミノ爲ニ千五百圓デアリタカラ新絲ガ安クナルトカ、或ハ買ハナイカラ打切ッタラドウトカ、打切ラナイカラドウトカ云フ、此打切ルト打切ラザルトニ依テ、絲ガ安クナル高クナルト云フコトハ直接ノ關係ハナイト思ヒマスノミナラズ、寧ロ打切ッテ自然ノ成行キニ委セテ、此實際ニ日本ニ餘ッテ居リマスル七萬圓ナリ八萬圓ナリト云フモノガ、自然ノ儘ニ此市場ニ殺到シテ來ルト云フコトニナリマスレバ、ソレコソハ益、此市場ヲ攪亂イタシマシテ、價格モ益々低落セシムルコトニナラウト思フデアリマス、打切ルト御心配ニナレバ寧ロ打切レバ却ッテ非常ナ茲ニ市場ノ紛亂ガ出来テ安クナルト云フ虞ガアルト思ヒマス、確ニ私ハ現ハレテ來ル現象デアアラウト思ヒマスノデ、丁度御尋ト反對デ、打切ラナケレバ安見込ミデアルト仰シヤルケレドモ、打切ッタラバ大變安見込ミガ起ッテ來テ大騒動ガ經濟社會ニ、單リ蠶絲業ノミナラズ他ノ事業ニモ大影響ノ起ルコトト信ジテ居リマス譯デアリマス、ソレカラ第三ノ御尋ハ養蠶家ノ思惑ヲ如何ニシテ防グカ、若シモ防ギ得ザルモノトスレバ多大ノ生産ガ茲ニ出来テ參リマシテ、從ッテ價格モ下リ、養蠶家ガ大變ナ困難ニ陥ルダラウト云フヤウナ御尋ノヤウニ承知イタシマシタガ、是ハ思惑ヲ特別ニ或手段ヲ以テ防グト云フ、特別ノ方法ニ依テ防グト云フコトハ唯今ニ於テ考ヘテ居リマセヌケレドモ、既ニ御承知ノ通り先程カラモ此市場ノ甚ダ思ハシクナイ結果トシテ製絲家等モ各自相戒メマシテ、生

産ノ制限ヲ致シタヤウナ次第デゴザイマス、又現在ノ如ク此市場ノ模様ガ甚ダ拂ッシクナイト、斯ウ云フ事實ガゴザイマスレバ、從ッテ是カラ相當ノ資金ヲ投ジテ養蠶ノ業ヲ營ムト云フ者ノ上ニハ、自然ノ間ニ所謂其餘計作ルト思フ思惑ヲ手控ヘマシテ、生産ハソレガ爲ニ減ジテ來ルヤウナ結果ニナラウト思フノデアリマス、デアリマスカラシテ此市場ノ景氣ガ直ラスニモ拘ハラズ、續ク春蠶、夏蠶、秋蠶ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、サウシテソレガ爲ニ市場ニ大變ナ生産過剩ノ結果ヲ來シテ、養蠶家等ガ大困難ニ陥ルダラウト云フヤウナコトモ、決シテ今ノ模様ニ於テハドウモ御心配過ギルコトデアアルマイカト存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ第四ノ御尋ト致シマシテ三千萬圓ノ此度ノ補償ヲシテモ、九年度ノ全部ヲ買入レルコトガ出来ナク、タナラバドウスルカ、斯ウ云フ御尋ネデゴザイマシタヤウデアリマスガ、是ハ繰返シ既ニ大臣ヨリモ申上ゲタ如ク、總テ斯ノ道ニ經驗モアリ各般ノ事情ヲ斟酌イタシマシテ、政府ニ於キマシテ此度ノ補償ヲスルト云フ手續ヲ取りマスレバ唯今停滯シテ居リマスル所ノ、將ニ市場ニ現ハレントシテ居リマスル所ノ大正九年度ノ生産額全部ハ買收シ得ルモノト見込モ立テテ居ル譯デアリマス、殊ニ上山君ノ御考ノ如ク千五百圓ト云フ價格ハ無理デ、寧ロソレヨリモ下ガル、値段ガ安クナルト云フヤウナ御見込デアリマスガ、安クナルト云フ御見込ノ程度ハドレダケ安クナルト云フ御見込カ知レマセヌケレドモ、多少ナリトモ安クナルト云フコトガアリマスレバ、是ダケノ既ニ未拂込ニナッテ居ル八百萬圓、ソレカラ又更ニ此政府ノ二千萬圓、之ヲ併セマシタ補助ガアルトシテ、此九年度ノ生産ノ額ヲ買入レルコトニ於テ差支ガ生ジャウト云フコトハ、ドウモ起リ得ナイト思ハレマス、ドウシテモ是ダケノモノガアレバ大體買入レニ於テ差支ヲ生ゼヌモノト認メテ居ル譯デアリマス、ソレカラ八百萬圓ノ殘額ノ拂込ノ見込ガアリヤ否ヤ、何故ニ直ニ拂込マシメザルヤ否ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ申上ゲマシマデモナク、將來其拂込ノ必要ヲ認メマシテ、拂込マシムル場合ニ於テ拂込ミ得ザル者モ或ハ出来ルカモ知レマセヌ、是ハ何人ト雖モ果シテ全株主ガ聊カノ滞リナク總テ拂込ミ得ルト云フコトハ保證シマセヌ、併ナガラ株主タル者ハ拂込マナケレバナラス所ノ法律上ノ義務ガアルノデアリマスカラ、若シ不心得ノ人ガアリマシテ、拂込マナイヤウナ場合ニハ法律上ノ制裁ニ依テソレヲ強制スルヨリ外致方ナイト思ヒマス、併ナガラ今日何故ニ直ニ拂込マシメザルヤト云フコトニ付テハ、

少シク御無理ナ御注文ノヤウニ考ヘラレマス、今日ハ御承知ノ通りノ經濟界ノ、殊ニ産業ニ從事スル者ノ事情ハ十分上山君ニ於テモ御承知ノ事情デゴザイマス、而カモ今斯ノ如ク難儀シテ居ル所ノ仕事ヲ進メマス上ニ於テ、先日第二回ノ拂込ヲシ、又直ニアト全部ノ拂込ヲ強制スルト云フヤウナコトハ、ソレコソ非常ニムヅカシイ、心配シナケレバナラヌ問題デ、今日直ニ拂込マセルト云フコトハ確ニ出來得ラレナイ、不可能デアルト申上ゲテ宜シイノデ、將來ニ於テ拂込ヲスルト云フコトニ付テハ不能ノコトデアルト申上ゲテ差支ナイト認メマス、ソレカラ又ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマスケレドモ、兎モ角モ株主ハ全部ノ責任ヲ負フテ千六百萬圓ノ拂込金ヲ皆損シテモ構ハナイ覺悟ヲスル、尙其上ニ政府ガ又三千萬圓マデノ補償責任ヲスルト云フコトナリマスレバ、殊ニ局ニ當ッテ居リマス勸業銀行ニ致シマシテモ、興業銀行ニ致シマシテモ、其ノ取扱方ニ基イテ快ク諸種ノ融通ヲ與ヘル譯デアリマスカラ、ソレニ依テ直ニ拂込ヲセヌデモ仕事ノ進行ヲ見ルコトガ出來ル譯ニナルノデアリマス、ソレカラ第六ノ御尋ハ將來繼續スルモノトシテ、千五百圓ヲ低下スルヲ得ザル理由如何、是ハ多分千五百圓ハ高イカラ、モット此際切下ゲテハドウカト云フ御考ノ下ニ出タ御質問ト承知イタシマス、ソレハ既ニ前提ニ於テ申上ゲマシタ如ク、千五百圓ト云フモノハ相當ナ値段デアルト云フ見込ヲ立テ居ル譯デアリマス、併ナガラ今後諸般ノ事情ニ依リマシテ、千五百圓ト云フモノハ到底維持スルコトガ出來ナイト云フコトモ起リ得ルノデアリマス、起リ得ルガ故ニ、即チ此會社ガ或場合ニ於テハ自己ノ拂込ノ千六百萬圓モ丸デ捨テナケレバナラヌ、更ニ政府ガ三千萬圓ノ補償ヲシナケレバナラヌト云フ懸念ノ起ル所ハ其處ニアルノデ、必ズシモ千五百圓ト云フモノハ永久マデモ動カスベカラザルモノデアルト云フ譯デアリナイノデアアルケレドモ、生産費カラ割出シテモ、諸般ノ事情カラ致シマシテモ、正當ナル價格ナリト認メテ居リマスカラシテ、ソレハ極ク遠イ將來ハ兎ニ角ト致シマシテ、二年マデハ持チ堪ヘルト云フ決心ヲ以テ品物ヲ抱込シ以上ハ、其正當ナル價格ノ到來スベキ時期ガアラウト思ヒマス、況ンヤ其抱込シ居ルコトガ出來ナイト云フ場合ハドウカト云ヘバ、寧ロ世間ノ價格ハソレヨリ下ッタ場合デ、生産費以上ニ價格ガ下ッテ居ルト云フコトニナリマスレバ、自然ニ養蠶ヲスル者、製絲ヲスル者ハ手控ヘラヌルコトニナリマスカラ、世ノ中ノ生産ハ自然ノ間ニ減ッテ來ル、生産ガ自然ニ減レバ價格モ亦ソレニ連レテ自然ニ騰

ルト云フコトガ起リマスカラ、帝蠶會社ノ持ッテ居ル品物ガ即チ自然ノ有様ニ立戻ッテ、正當ノ價格デ賣捌クト云フ途ガ付テ來ルダラウト私ハ思フノデアリマス、第七ハ帝蠶ノ買入絲ノ賣拂ノ見込如何ト云フ御話デアリマスガ、丁度唯今第六ニ於テ御答ヲ申上ゲタコトデ、其ノ御疑問ガ盡キテ居ルモノト認メマス、大體右ダゲヲ御承知ヲ……

○上山滿之進君 今ノ御答辯ノ點ニ付テ種々疑問ヲ持ッテ居リマスガ、一々ソレニ付テ再質問ヲ致シマス、時モ移リマスカラ差控ヘマス、唯一二件大切ナ點ニ付テ伺ッテ置キマス、政府ノ御考デハ一俵千五百圓ト云フ値段、生産費ニ當ル、斯ウ仰セニナルノデアリマスガ、チヨットソレヲ伺ヒマス

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 御尋ノ通りデゴザイマシテ、先ヅドチラカト申シマス、少ナクトモ千五百圓デナケレバナラヌ、無論全國デ總テ生産費ハ同一デハゴザイマセス、所ニ依リ種々違ヒガアリマスケレドモ、其中マデ行キマセヌデモ、寧ロ中ヨリモ割安ニ出來ル所ヲ目度ト致シマシテ、千五百圓ト云フモノデナケレバ是ハ引合ハナイ商賣デアルト云フ結論ヲ得テ居ルノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 會議時間ノ延長ヲ宣告イタシマス

○上山滿之進君 唯今ノ生産費ト仰セニナルノハ、九年絲ノ生産デアラウト思ヒマス、十年絲ヲ造ルニハ肥料其他ノ生産費ガ非常ニ下ッテ居ルノデアリマスカラ、十年絲ハ千五百圓以下デ宜イ、斯ウ云フ自然ノ歸結ニナルヤウニ思フノデアリマス、是ハ別ニ御質問シナイデモ勿論サウデアラウト思ヒマス、サウシテ別ニ質問ヲ致シマス、宜ク分リ兼ネマシテゴザイマスガ、段々伺ッテ見ルト、政府ハ大正十年ノ絲モ一俵千五百圓ガ相當デアアル、又一俵千五百圓ノ價格ヲ大正十年絲モ維持スルモノデアアル、斯ウ御見込ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其通りデアリマスガ、是ダケト云フト、根本ニ於テ私ハ違フノデアリマス、此點ヲ極ク明カニ今一應繰返シマス、政府ハ大正九年ノ絲ヲ千五百圓適當ナリト、斯ウ御見込ニナッテ居ル、是ハ申サヌデモ宜シイ、大正十年度……今年ノ新絲モ千五百圓ヲ以テ適當ナリト思フ、又此適當ナル價格ガ實現スルモノデアアル、斯ウ御考ヘニナッテ、其根柢ノ上ニ先般ノ御答辯ト思フノデアリマスガ、此點ヲ明カニ伺ッテ置キマス

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

農商務大臣 男爵山本 達雄

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、先刻來申上ゲマシタ其價格ノ計算ハ固ヨリ十年度ノ……九年度ノ絲ニ付マシテ、生産費ニ付テ申上ゲタノデアリマス、而シテ之ヲ十年度ノ絲ニ付テドウ考ヘルカト云フ御尋デアリトスレバ、十年ハ多少事情ガ違ヒマスルカラシテ、幾ラカ安クナルカモ知ラヌケレドモ、大體ニ於テ矢張大差ガ無イモノト認メテ居リマスル、殊ニ此價格ノ一番元ヲ致シテ居リマスル努力ノ、勞働賃ガ一向ニ變化ヲ見テ居リマセヌノデゴザイマス、大シタ區別ガ無イモノト思ウテ居リマスガ、多少ノ變化ハソレハゴザイマセウ

○上山滿之進君 先刻來ノ御説ニ依テ能ク分リマシタ、但シ分リマシタガ實ハ甚ダ驚入ッタノデアリマス、是ハ私バカリデハアリマセヌ、思フニ當業者ハ決シテサウハ考ヘテ居ナイ、大正九年度ノ絲ハ、ソレハ其通りデスガ、十年ノ絲ハ餘程下ガルト私思ウテ居ル考デゴザイマス、是ハモウ意見ノ相違デアリマス、大ニ驚キナガラ……此上申上ゲヤウハ無イ、其御考デ此問題ヲ御答辯ニナルト、極メテスラノト參リマスガ、其根柢ガ甚ダ驚愕ノ外ナイノデアリマス、是ダケ述ベテ質問ヲ打切りマス

○江木千之君 唯今議題ニナッテ居リマスル豫算案ハ、審査期限ヲ審査結了マデト致シタイト思ヒマス、ドウゾ御賛成ヲ……

○子爵八條隆正君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ノ審査期限ニ關スル動議ハ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、取引所法中改正法律案、政府提出、第一讀會

取引所法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正十年三月九日

内閣總理大臣

原

敬

取引所法中改正法律案
取引所法中左ノ通改正ス

第四條 株式會社組織ノ取引所ハ他ノ株式會社組織ノ取引所ヲ合併スル場合ニ限リ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ存在シタル地區内ニ支所ヲ設クルコトヲ得支所ノ數ハ其ノ合併ニ依リ消滅スル取引所及支所ノ數ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條中「仲買人及」ヲ削リ「取引員ニ」ニ改ム

第八條 取引所ハ政府ノ認可ヲ受ケ取引所ノ賣買取引ニ附帶スル業務ヲ營ムコトヲ得

第三章

取引所ノ會員及取引員

第十條第一項ヲ削リ同條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム

第十一條中「帝國臣民」ノ下ニ「又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社」ヲ加ヘ「仲買人」ヲ「取引員」ニ「婦女、未成年者、」ヲ「無能力者、」ニ、「其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リ」ヲ「刑ノ執行ノ免除ヲ得」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

合名會社、合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ其ノ無限責任社員ノ全員カ帝國臣民タルモノ、株式會社ニ在リテハ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半数カ帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ屬シ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員ノ全員カ帝國臣民タルモノニ非サレハ會員又ハ取引員トナルコトヲ得ス無限責任社員又ハ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中前二項ニ該當スル者アル場合亦同シ

第十一條ノ二中「第十條第一項ノ要件ヲ缺キ又ハ」及「第十條第一項ノ要件ヲ缺キ若ハ」ヲ削リ「第一項若ハ第二項」ヲ「第一項、第二項又ハ第四項」ニ、「第一項第二項」ヲ「第一項、第二項若ハ第四項」ニ、「仲買人」ヲ「取引員」ニ、「第一項又ハ第三項」ヲ「第一項、第三項又ハ第四項」ニ、「第一項若ハ第三項」ヲ「第一項、第三項若ハ第四項」ニ改ム

第十一條ノ三 取引員取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタルトキハ其ノ免許ハ效力ヲ失フ

第十一條ノ四 會員又ハ取引員ハ第二項但書ノ場合ヲ除クノ外支店、出張所其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハスニ以上ノ場所ヲ以テ同一取引

所ノ賣買取引ノ取扱ヲ爲ス場所ト爲スコトヲ得ス
何人ト雖取引所ノ賣買取引ノ委託ノ代理、媒介又ハ取次ヲ營業ト爲スコトヲ得ス但シ會員又ハ取引員ニシテ農商務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十二條第一項ヲ削リ同條中「仲買人」ヲ「會員又ハ取引員」ニ改ム

第十三條中「取引所ノ仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム

第十四條中「取引所ノ會員及仲買人」ヲ「會員又ハ取引員」ニ改ム

第十五條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ、「五百圓」ヲ「千圓」ニ改ム

第十五條ノ二中「若ハ仲買人」ヲ「若ハ取引員」ニ、「又ハ仲買人」ヲ「又ハ其ノ」ニ改ム

第十五條ノ三中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改メ「死亡シ」ノ下ニ「解散シ」ヲ、「死亡」ノ下ニ「解散」ヲ加フ

第四章 取引所ノ役員及商議員會

第十六條中「取引所ノ仲買人」及「仲買人」ヲ「取引員」ニ改メ「取引スル」ノ下ニ「株式會社組織」ヲ加フ

第十六條ノ二、第二十七條及第二十八條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム

第十七條中「役員又ハ取引所」ヲ「株式會社組織ノ取引所ノ役員又ハ」ニ、「仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム

第十七條ノ二 取引所ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ商議員會ヲ置キ取引所ニ關スル重要ナル事項ヲ附議スヘシ

第十八條 取引所ノ賣買取引ノ期限ハ有價證券ニ在リテハ二箇月、米ニ在リテハ三箇月、蠶絲ニ在リテハ六箇月、其ノ他ノ商品ニ在リテハ勅令ノ定ムル期間ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

取引所ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ賣買取引ノ違約ヨリ生スル損害ニ付賠償ノ責ニ任スルコトヲ得

第二十二條ノ二 株式會社組織ノ取引所ハ前條ノ規定ニ依リ賠償ノ責ニ任スルトキハ營業保證金ヲ政府ニ納ムヘシ

第二十四條ノ二 取引所ノ賣買取引ノ委託者ハ會員又ハ取引員カ委託契約ニ違ヒタル場合ニ於テ其ノ違約ニ因ル債權ニ關シ違約シタル會員又ハ取引員ハ身元保證金ニ付他ノ債主ニ對シ優先權ヲ有ス

前條ノ優先權ハ前項ノ優先權ニ對シ優先ノ效力ヲ有ス

第二十五條中「仲買人」ヲ「會員又ハ取引員」ニ、「定期取引」ヲ「賣買取引」ニ、「三箇月」ヲ「一箇月」ニ改ム

第二十六條中「各仲買人」ヲ「各會員又ハ各取引員」ニ改ム

第二十六條ノ二 差金取引ヲ爲ス取引所類似施設ヲ爲シ又ハ其ノ施設ニ依リテ取引ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 第十七條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ特別ノ利害關係ヲ生スルコトヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ三第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

四、第二十六條ノ二ノ規定ニ違反シタル者

第三十二條ノ六中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改メ「若ハ第十二條第一項」ヲ削ル

第三十二條ノ七 本法ノ罰則ハ法人ニ在リテハ其ノ行爲ヲ爲シタル理事、取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條ノ改正規定中有價證券ノ賣買取引ノ期限ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ他ノ規定ヨリ後ニ之ヲ施行スルコトヲ得但シ其ノ施行ノ期日ヲ大正十三年四月一日ヨリ後ト爲スコトヲ得ス

本法施行ノ際現ニ營業スル仲買人ハ其ノ營業部類ニ付本法ニ依リ其ノ取引所ノ取引員タル免許ヲ受ケタルモノト看做ス

本法施行前ニ爲シタル取引所ノ賣買取引ニ付テハ其ノ取引ノ結了ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 唯今議題ト相成リマシタル取引所法案ノ説明デゴザイマスガ、此ノ取引所ノ一國產業經濟ノ發達ニ至大ノ關係ヲ有スル、極メテ重要ナル職責ヲ持ッテ居ル機關デアアルコトハ今更申述ベルコトモナイノデアリマスガ、現在取引所法ハ明治二十六年ノ制定ニ係ッテ居リマス、政府ハ爾來必要ニ應ジマシテ、同法及ビ關係法令ノ改正ヲ爲シマシテ、以テ時勢ノ進運ニ伴ハシムル處ノ處置ヲ執ッテ居ル次第デアリマスルガ、我が經濟界ハ近時非常ナル發達ヲ遂ゲマシテ、現行取引所制度ヲ以テシテハ、社會ノ需要ニ

應ジテ其本來ノ職責ヲ全クセシムル上ニ於キマシテ、遺憾ノ點ガ少ナクナイノデアリマス、加フルノニ當業者竝ニ一般國民中ヨリモ、取引所制度ノ改善ヲ求ムル聲ガ漸次ニ高マリツ、アル状態デアリマス、此時ニ當リマシテ、政府ハ速ニ適當ナル改善策ヲ講ジマシテ、其解決ヲ計ルノ必要ヲ認メマシテ、昨年ノ特別議會ニ於テ調査費ノ協賛ヲ得テ、其後取引所法改正調査委員會ヲ設ケマシテ、改善ニ關スル調査研究ヲ爲サシメ、其調査ニ基キマシテ、法規ヲ改正シテ社會ノ實際ニ適應セシメ、取引所本來ノ機能ヲ發揮セシムル上ニ於テ遺憾ナカラシムルノ趣旨ヲ以テマシテ、茲ニ取引所法中改正法律案ヲ作成イタシテ本議會ニ提出シタル次第デアリマス、今回改正ヲ致シマシタル、其ノ根本義ニ於キマシテハ、直物取引ヲ助成シ、無謀ナル投機取引ヲ成ベク抑制シテ、取引所ガ當業者ノ團體トシテ物資ノ需給ヲ調節シ、公正ナル相場ヲ公定スル機關タル機能ヲ十分發揮シタイト云フ趣旨ニアルノデアリマス、此趣旨ニ依リマシテ取引所ノ組織、賣買取引ノ擔保、賣買取引方法、及ビ現物市場ニ關スル事項ヲ主トシテ考慮ヲ致シ、諸般ノ改正ヲ加ヘタ次第デアリマス、即チ取引所ノ組織ニ付マシテハ、急激ナル改廢ニ依ル經濟界ノ動搖ヲ十分慮イタシマシテ、現在ノ制度ニ對シ、大ニ此ノ會員組織、其長所ヲ加味イタシマシテ、併セテ將來ニ於キマシテハ會員組織ノ取引所ノ實現ヲ容易ナラシムル方ニ努メタ次第デアリマス、又賣買ノ擔保ニ付マシテハ、任意擔保ヲ原則ト致シ、賣買取引上ノ信用ヲ基礎トシテ堅實直正ノ取引ヲナサシメ、取引者ノ自治自制ニ依テ放漫ナル投機ニ陥ラザラシメルコトニ注意ヲ致シマシタ、最モ必要ニ應ジ政府ノ認可ヲ受ケテ取引所ガ擔保ノ責任ヲ負フノ制度モ設ケテ居ル次第デゾザイマス、次ニ賣買ニ付マシテハ不健全ナル投機取引ノ抑制上、有價證券ノ最長期ヲ二箇月ニ短縮イタシマシテ、長期ノ取引ニ付テハ證據金ヲ掛ケ合ハサシメ、其他ノ方法ニ付テハ社會ノ要求ニ應ズルコトヲ期シタノデアリマス、又直物取引ニ傾カセルコトニ、前申ス如キモノニシテ之ニ力ヲ費シタ次第デアリマス、又此大量ノ取引ニ付マシテハ、需給ヲ一箇所ニ集中シテ、公道相場ヲ決定スルコトヲ至當ト致シタ次第デアリマス、且ツ有價證券ハ最モ完全ナル投機物件ナル爲ニ、有價證券ノ取引所ハ總テ取引所内ニ於テ取引所法ニ依ラシムルコトトシタノデアリマス、更ニ取引所以外ニ於テ差金取引ヲ爲ス取引所類似施設ヲ爲シ、又斯ル施設ニ依リテ取引ヲ爲スコトヲ嚴禁ヲ致シマシタ、徒ラニ投機心ヲ抑壓シ、社會ニ害毒ヲ流スコ

トヲ防止セムトスル趣意ニ外ナラヌノデアリマス、以上ノ趣意ニ依リマシテ制定シタ次第デゾザイマス、ドウカ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ願ヒマス

○男爵小畑大太郎君 私人二回ニ互ツテ農商務大臣、一回大藏大臣ニ質問イタシタウゴザイマス、極メテ簡單デゾザイマスカラ當席カラ發言致シマス、御許シ下サイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵小畑大太郎君 今朝本員ガ此法案ヲ受取りマシテ熟讀イタシマシテゴザイマスガ、ドウモ杜撰孟浪、殆ト一夜造リト言ッテ宜シカラウカト思ヒマス、唯今ノ説明ヲ承リマスト益、其感ヲ深ク致シマス、ソレデ疑ヒハ澤山アリマシテ質問モ澤山イタシタイノデゴザイマスガ、今朝來上山君江木君カラモ度々御話ガアリマシタ如ク、會期モ最早餘日モゴザイマセズ重要ナル案ガ山積シテ居ル際デアリマスカラ、此貴重ナル時間ヲ澤山費スト云フコトハ心苦シウゴザイマスデ、要點二三ヲ質問イタシマス、第一ニ農商務大臣ニ承リタイノデゴザイマスガ、此法案中ニ印刷ノ何カ誤リカ、脱漏ガアルト云フヤウナ話ガアリマスカ、ソレハアルノデアリマスカ無イノデアリマスカ、シツカリ其處ヲ伺ヒマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 私ハツイ申述ベルノヲ落シマシタ、此御配リ申シマシタル改正案ノ中ニ文字ノ誤植、遺漏ガアルノデアリマス、ソレヲ今朝氣付マシタノデゴザイマスガ、早速印刷イタシマシテ、改メテ一刻モ早ク御廻シスルヤウニ當局ヘ申付ケテ居リマス、何レ出來次第ニ御手許ヘ差上ゲルコトニ致シマス、ツイ申上ゲ落シマシタ

○男爵小畑大太郎君 其條項ヲチヨット承リ置キタイノデアリマス、論議スル都合モゴザイマスルデ御讀ミヲ願ヒタウゴザイマス

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 申上ゲマスガ、此法案ノ中ニ「附」ト云フ字ニ書キマシタ「附」ト云フ字ガゴザイマスガ、ソレハ「付」ヲ取ツタ「付」ト云フ字ニ直ルノデス、ソレカラ「委託」ト「托」ト云フ字ガ手扁ニ書イテゴザイマスガ、ソレハ言扁ニ直ルノデアリマス、ソレカラ「見做」ト云フ所ガ一箇所ゴザイマスガ、ソレハ「見」ノ字ガ書イテゴザイマスガ、ソレヲ「看」ト云フ字ニシテ「看做」ト云フ風ニ直スコトガ文字ノ誤リデゴザイマス、ソレカラ重要ナコトデゴ

ト云フ風ニ直スコトガ文字ノ誤リデゴザイマス、ソレカラ重要ナコトデゴ

ト云フ風ニ直スコトガ文字ノ誤リデゴザイマス、ソレカラ重要ナコトデゴ

ザイマシテ、第四條ノ二トシテ「有價證券ヲ賣買取引スル市場ハ本法ニ依ルニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス」ト云フ一條ガ脫漏イタシタノデアリマス、其一條ガ脫漏イタシマシタノガ肝腎ナル誤リデゴザイマス、アトハ今申上ゲダ文字ヲ印刷所デサウ云フ間違ヒヲ致シマシタ、ソレダケ……

○男爵小畑大太郎君 ドウカ今後モアルコトデアリマスカラ、ドウゾ十分御注意ヲ願ヒマス、ソレカラ法案ノ第十八條、取引所賣買取引ノ期間ニ關シテ特ニ大臣ノ御説明ガアリマシテ、是ハ無謀ナル長期ノ取引ヲ、改正調査委員ガ立案シタ最モ改善シタ案ニ依テ之ヲ出サレタト云フ御話デアリマス、然ラバ其案ヲ此所ニ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ之ニ依リマスト云フト有價證券ハ現在三箇月ヲ二箇月ニシテ一箇月短縮サレ、米ハ現在ノ儘デ、蠶絲ハ三箇月ヲ六箇月ニ延バシタ、是ハ大臣ノ御話ガアリマシテゴザイマスガ、抑、物ノ賣買取引ト云フモノハ、現物ノ賣買取引ト云フモノガ根本ノ趣意デアリマス、ソレヲ米トカ或ハ其他生産ヲ要スル物品ト云フモノハ、生産ニ或期間ヲ要シ、又生産地カラ需要地、詰リ市場へ持ッテ來ル間ノ輸送期間モアルヤウナ場合ニハ、其期間ノ間ニ相場ノ變動ガアツテ、價格ノ維持ヲ保ツ爲ニ、現物賣買ニ於テ便宜上定期ノ賣買ギヲ致スノデアリマス、ソレデドウモ此米、此所ニ書イテゴザイマス蠶絲其他ヲ除イテ、有價證券ニ至ッテハ期限ヲ定メズ賣買スルト云フコトガ本則デアラウト思ヒマス、ソレデ三箇月ヲ一箇月減ジテ二箇月ニサレタト云フコトハ、先程大臣ノ御説明ガアツタ無謀ナル長期ノ取引ト云フコトヲ意味スルノデアラウト思ヒマス、サウスレバ何故全然根本カラ御改善ノ意味ヲ以テ、此定期ノ取引ト云フコトヲ御止メニナラナンドデアルカ之ヲ承ハリタイ、ソレカラ此附則ニ依リマスト云フト、殊ニ此ノ有價證券、最モ其期間ヲ定メテ賣買スルト云フコトノ弊害ノアル有價證券ニ限り、本案ノ實施ト云フモノヲ十三年ノ四月一日、三年モ後ニキメラレタト云フノハドウ云フ譯デアルカ、此二點ヲ承ハリタイ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此ノ有價證券ノ賣買取引ニ致シマシタト申シマスルノハ、御承知ノ通りニ今日ハ三箇月ニ相成ッテ居リマス、三箇月ニナツテ居リマスカラ、ソレヲ今日餘リ短縮シテ激變ヲ生ズル如キコトヲ爲シマス、現在ノ取引所ノ利害ニ大關係ヲ持ッテ來マス、從ヒマシテ經濟上ニ激變ヲ生ズル虞レガアルノデアリマス、ソコデ漸次ニ斯ウ云フモノハ矯正スルガ

宜シト云フコトデ、先ヅ此所デ或年限ヲ與ヘマシテ二箇月ト云フコトニシタナラバ、ヒドイ變動モ起キズシテ此改正ガ出來ヤウカト信ジマシテ、斯ク致シタルコトデアリマス、御承知ノ通りニ明治三十四年ノ頃ト記憶シテ居リマスガ、時ノ政府ハ三箇月ヲ二箇月ト致シマシテ、大ニ取引所ノ取引ニ大關係ヲ持ッテ來マシテ、遂ニ一度斯ク致シマシタガ餘儀ナク又勅令ヲ改正イタシマシテ三箇月ニ復活シタヤウナコトデアリマシテ、ドウモ斯ウ云フコトハ餘リ經濟社會ニ利害ノ關係ノアル、殊ニ激變ノ生ズルコトハ宜シクナイト云フ積リデ、斯ク致シマシタル譯デアリマス、ソレカラ米、絲ト云フ如キ物品ノ賣買デ見マスト、餘程株券トハ趣ガ違ッテ居リマス、絲ノ如キハ外國ニ向ヒマシテ關係ノアルモノデアリマシテ、御承知ノ如ク綿糸トカ又棉トカ云フ如キ世界的物品ノ賣買ハ、約一箇年ト云フコトヲ以テ其期限トシテアルヤウナルコトデアリマスカラシテ、先ヅコ、ラアタリニシタ方ガ宜シト云フ積リデアリマス、ソレカラ定期ニ付テナゼ斯ウ云フ期間ヲ定メテスルヤウナコトヲスルカト云フ、是ハ申ス迄モアリマセズ世界的ノ、取引所ハ多ク會員組織ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ會員組織ハ至極宜シイコトト思ヒマス、思ヒマスガ矢張り是マデ殆ド四十何年ト云フ間ノ習慣ヲ以テ定期ノ取引ヲ開イテ居ル我國ノコトデアリマスカラ、ソレヲ此所デ統一ノ爲ニ餘リ激變ヲ生ズベキ改正ハ面白クナイ、故ニ先ヅココラアタリノモノニシテ會員組織ノモノヲ改正ノ點ニ加味シテ居ッタナラバ、追々理想的取引ニ向フノデアラウト云フ積リデ斯ク致シタ次第デアリマス

○男爵小畑大太郎君 私ノ質問イタシマシタコト以外ノ、蠶絲ノ取引法トカ或ハ會員組織トカ言フ御話ガアリマシタガ、私ハサウ云フコトハ御尋ネイタシマセヌ、此ノ有價證券ヲ二箇月ニ縮メラレタト申スノハ、先程御話ガゴザイマシタ改正調査委員會デ立案サレタ改善ノ成案ニ依テ出來タモノデアリマスカ、其ノ調査會ノ成案ヲドウゾ御示シテ願ヒタイト云フコトガ一ツ、ソレカラ三箇月ノモノヲ二箇月、タッタ一箇月縮メラレタト云フモノハ、今日ヒドイ變動ヲ起スト困ルカラト云フコトハ能ク分リマシタ、併ナガラ附則へ持ッテ行ッテ三年ノ後ニ之ニ限り實施ヲスルト云フ、有價證券ヲ除イテ外ノモノト云フモノハ生産スルニ或期間ヲ要シ、生産地カラ需要地へ即チ市場へ持ッテ來ルニハ運搬ノ期間ヲ要スル、其間ニ價格ノ變動ガアルト困ルカラト云フノデ、詰リ價格ノ保險ヲスルト云フ意味デ其意義ガアルコトデアル、所ガ有價證券

ニ於テサウ云フ期間ヲ定メルト云フコトハ無意義ナ話、無意義ナモノデア
 ニ拘ラズ、依然ト是ヘ矢張期間ヲ置カレルト云フモノハドウ云フモノデア
 ルカ、所ガソレヲ承ハリマス云フト一箇月縮メタト仰ッシャルノハ、詰リ經
 濟界ニ大ナル變動ヲ與ヘテハナラヌカラ一箇月縮メタト言ヘバ、其所ハ能ク
 分リマシタ、サリナガラ其上ヘ、無クテモ宜イモノノ上ニ又之ニ限リ施行期
 日ヲ大正十三年四月一日、三年モ先キニ行フト言ハレルノハドウ云フコトデ
 アルカ、ソレヲ承ハリタイ、其二點デス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 三年ノ後ニ決メマシタノハ、矢張今此所デ
 突然之ヲ施行シマス云フト、變動ガ生ジ易イノデアリマスカラシテ、成ベ
 ク其變動ヲ、激變ヲ防ギタイト云フノ精神ニ於キマシテ、先ヅ永イ間ノコト
 デゴザイマスルカラ、其久シイ間ノ規則ヲ改正シマスルニ付テハ、先ヅ三年
 位ナ年限ヲ設ケテ、サウシテ徐ロニ用意ヲサシタナラバ、ヒドイ變動ヲ來サ
 ズシテ行クデアラウト云フ見込ニ於テ、斯ク致シタ次第デアリマス、ソレカ
 ラ調査ニ付シマシタル書類ニ於キマシテハ、何レ御手許ニ御廻申上ゲルコ
 トニ致シマス

○男爵小畑大太郎君 餘リ諄ウゴザイマスガ、モウ一應承ハリマスガ、現在
 ノ定期取引所ト云フモノハ、大正十一年或ハ一兩年ノ内ニ滿期ニナル筈デア
 リマス、ソレニ施行期日ヲ大正十三年ト御決メニナッタノハドウ云フモノデア
 リマスカソレモ伺ヒタイ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 是ハ取引所ニ依リマシテ種々ニナツテ居リマ
 シテ、其前ニ期限ノ達シマスルモノモアレバ、又ソレヨリハズツト遅レテ來ル
 モノモアルノデアリマス、唯是ハ約三年位ナ年限ヲ置テ、サウシテ定期ノ月
 ヲ短縮シタナラバ、餘リ變動ガ起ラズシテ宜カラウト云フ方カラ起リマシタ
 ノデス、其期限ナドノコトニ付テハ餘リ重キヲ置テ爲シタノデアリマセヌ
 ○男爵小畑大太郎君 矢張附則デゴザイマスガ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以
 テ之ヲ定ム」トアリマスガ、イツカラ實施サレル御考デアリマスカ、ソレヲ
 承ハリタイ

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 此ノ施行期日ハ成ベク早ク準備ヲ整ヘマシテ、實

施イタシタイ積リデゴザイマスケレドモ、色々當局トシテノ準備モ必要デゴ
 ザイマスルシ、又各取引所ニ於テモ種々ナ準備ガ要ルノデゴザイマスカラシ
 テ、矢張數箇月ヲ要スルコトト認メテ居リマス、ソレカラ先程御尋ネノ期限
 ノコトヲ序デニ申上ゲマスガ、大部分ハ十二年ノ六月頃ト記憶シテ居リマ
 ス、ケレドモ大臣ノ御話ノ如ク其後ズツト長イ後迄モ、十六年以後ニ及ンデ居
 ルノモゴザイマス、多クノモノハ今後二箇年半以上、三年内外ノ所デ消滅ス
 ルヤウナコトニナツテ居リマス

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○男爵小畑大太郎君 今度ハ大藏大臣ニ御尋ネ致シマス、現行ノ取引税法ト
 云フモノハ不備不完全ナ點ガ澤山アリマス、ソレデ何レ此法案ニ關聯シテ稅
 法ノ改正ト云フモノガ必要デアラウト思ヒマス、是ハドウ御考ヘデアリマス
 カ伺ヒマス

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 御答ヘ致シマス、税法ノ改正ハ全ク別ト致シ
 マシテ、此ノ取引所法改正ガ行ハレマシタガ爲ニ、ソレノ爲ニ改正ヲ要スル
 ト云フコトハ今日見テ居リマセヌデアリマス、現行ノモノヲ適用シテ
 行ケルト斯ウ信ジテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 鈴木總兵衛君ハ、先刻何カ御發言ヲ御求メニナル
 趣デアリマシタガ

○鈴木總兵衛君 左様デゴザイマスガ、此際申述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○鈴木總兵衛君 第十八條各取引ノ限月ヲ定メラレマシタガ、綿糸ト云フ
 モノガ掲ゲテアリマセヌ、勅令ヲ以テ定メルト云フ部分ニ這入ルコトトハ思
 ヒマスルガ、昨年ノ經濟界ノ變動ノ際ニハ、綿糸ノ暴落ト云フコトガ一般ノ
 上ニ非常ナ影響ヲ與ヘタ、其原因ニハ種々アリマスケレドモ、其時ノ輿論ハ
 餘リ此期限ガ長イカラ、却ツテソレガ爲ニ種々ナ弊害ガ生ズルト云フコトハ一
 般ノ認メタ所デゴザイマス、農商務大臣ニ於テハ此期限ヲ茲ニ定メズニ置カ
 レタト云フコトハ、矢張一箇年位迄ハ許ス積リデアリマスカ、或ハ蠶絲同様
 ニ六箇月位ヲ期限ニスルノデアリマセウカ、既ニ綿糸業者ノ救済ト云フ時ニ
 モ、其筋ニ於テハ六箇月位ノ期限ニ縮メネバナルマイト云フ御内議ガアッタト
 云フヤウニ伺ヒマス、如何ナル譯デ定メデナイノデアリマスカ、チヨット伺ヒ
 マス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 是ハ御承知ノ通り綿糸綿布ノ取引ハ世界的ニ於テ一年ヲ極度トシテ居ルノデアリマス、而シテ是ハ唯取引ニ於テ一年ヲ最長期トシテ居ルノデアリマスルカラ、我國ノ綿糸ノ定期取引ハ六箇月ニナツテ居ル、ソレデ定期トシテ參リマスレバ矢張此ノ六箇月ヲ以テ期限トシタイ、生絲同様ニト云フ政府ハ腹案デアリマス、併シ今申シマスル如ク一年以内ヲ以テ約束シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ定期バカリニ於テ六箇月ガ果シテ適當ナモノカ、又昨年ノ如キ大阪ナド綿糸ノ組合ニ於テハ容易ナラヌコトガ起ツテ參リマシタガ、是ハ法律ヲ制スルコトノ出來ナイコトニナツテ居リマスガ、其取引ハ一年以上ヲ以テ取引ヲスルモノガ往々アルヤウナコトデ、爲ニ弊害ガ起ツテ參リマシタガ、是ハドウ云フコトニ致シマシテモ一年以内ノモノニハ無論シナケレバナラヌト思ヒマス、其邊ニ外國ノ取引ニ付テノ關係ナドガアリマスカラ、此所デ法律ヲ定メルヨリモ勅令ニ依テ、適當ナルモノニ定メタイト思フノデアリマス、併ナガラ只一年以上ハ如何ナルコトヲシテモイケスト云フコトハ此所デ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○若槻禮次郎君 是ハ非常ニ重大ナル法律案デアツテ、初メテ受取りマシタガ、實ハ斯様ナモノハ能ク調査スルコトガ出來スノデアリマス、斯様ナ法案ハドウゾモウ少少御出シニナツテ、能ク調査スルコトノ出來ル餘裕ヲ與ヘテ頂キタイト思ヒマス、ソレデ只一ツ伺ツテ置キタイノハ、二十二條ノ二デ、今後ハ取引所ハ擔保ヲ入レテ賠償ノ責ニ任ジナイノガ任ズルコトニナツタ、任ズル方ガ例外ノ規定ノ方ガ正當ニ爲サレルヤウニナツタヤウデアリマス、是ハ農商務大臣ノ説明ノ通りデアリマシタガ、斯ウ御變ヘニナツタノハ何カ現時ノ實狀ニ必要ガアツテ、斯ウ御變ヘニナツタノカ、又此現在ノ取引所ニシテ賠償ノ責ニ任ジナイ者ガ出來サウデアリ、又農商務大臣ハ如何ニ考ヘテ此改正ヲ爲サレルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 取引所ハ會員組織ヲ本義トシテ改正シタイト云フコトデアアルノデアリマスガ、是迄ニ現物取引所ガアリマシテ、之ヲ直ニ斯ク致シマス云フト、非常ナル變化ヲ起シテ參リマスカラ先ヅ此場合ニ於テハ元ノ強制擔保ヲ矢張農商務大臣ノ許可ニ依テ許ス、併ナガラ本義トシテハ任意ノ擔保デアリマシタガ、餘程時勢ノ進運ニ伴フ必要ナルコトト

シテ、サウシテ設ケタ次第デアリマス

○若槻禮次郎君 チョット今ノハ分リマセヌガ、強制擔保ト云フノハドウ云フ意味デアリマスカ、取引所ガ任意デ賠償ノ責ニ任ズルト云フノデアリマスカ、或ハ取引所ガ御互ニ保證スルト云フノデアリマスカ、或ハ取引所ニハ關係ナイト云フ意味デ任意ト云フノデアリマスカ、ドウ云フ意味デアリマスカ

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 是迄ノ取引所ハ擔保ヲ皆入レサセマシテ、サウシテ手数料ヲ徴シマシテ行カケレバナラヌ、強制的擔保ニナツテ居リマス、此度ノモノハ仲買人ト成ベク其ノ賣買者ト雙方ノ間ニ於テ、信用ヲ以テ取引ヲスルト云フコトニナルノデアリマス、此仲買ノ向上ヲ計ツテ、サウシテ仲買同志ニ於テ互ニ取引ヲ致スト云フコトニ致シテ、サウシテ取引所ト云フモノガ、強制擔保ヲ徴セズニ爲シ得ルト云フ簡條ヲ設ケタノデアリマス、是ハ此三者ノ……注文スル者ガ強制擔保ヲ入レテサウシテ矢張取引所ヲ信ズルト云フコトニ相成リマスレバ、ソレニ依テ其方モ宜シ、或ハ仲買ノ確實ナル者ヲ信ジテ、サウシテ其方ニ付テ賣買ヲスルト云フコトヲ客ガ好ムナラバソレモ宜シ、ドウシテモ會員組織ニナリマス云フト、強制的擔保ハ出來ナイノデアリマスカラシテ、ソレヲ此會員トナルベキ、此度ノ改メマヌル會員トナルベキ者ノ間デ、信用ヲ以テ取引ヲスルト云フ意味デゴザイマス

○若槻禮次郎君 サウ迄詳シク御説明ハ要リマセヌ、私ノ伺ヒマシタノハ……會員組織ノ取引所ニ付テハモウ御尋ネラセヌノデアリマス、サウデナク、今日會員組織ノ取引所ト云フモノハ日本ニハ無イヤウニ思ヒマスガ、有ルノデアリマスカ、今有ルノハ大低株式會社デアラウト思ヒマスガ、株式會社ノ取引所ヲシテ、賠償ノ責ニ任ゼナイヤウニ、今度原則ヲサウ御直シニナルノハ、サウ云フコトヲ希望スル者ガアツテ、斯ウ御直シニナルノデゴザイマセウカ、或ハ政府ガ希望スル爲ニ、此法律ヲ御作リニナルノデアリマスカ、此法律ヲ改正ニナツタナラバ、株式組織ノ取引所ニ於テ賠償ノ責ニ任ゼヌモノガ出來ルト云フ御見込デアリマスカ、又出カス積リデアアルカト云フ、唯ソレダケデアリマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 出來ル見込デアリマス、又成ダケ出カシタイト、政府ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

衆議院議長 奧 繁二郎

貴族院議長 公爵徳川家達殿

貯蓄銀行法案

貯蓄銀行法

第一條 左ニ掲クル業務ヲ營ム者ハ之ヲ貯蓄銀行トス

一 複利ノ方法ニ依リ預金ヲ受入ルルコト

二 一回十圓未滿ノ金額ヲ預金トシテ受入ルルコト

三 豫メ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ受入ルルコト

四 期限ヲ定メテ一定金額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金銭ヲ受入ルルコト

貯蓄銀行ニ非サルモノハ前項ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ貯蓄銀行ニ非サル銀行カ預金取引ヲ有スル者ヨリ其ノ者トノ取引ノ結果生シタル十圓未滿ノ金額ヲ其ノ預金ニ受入レ又ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲スヘキ預金取引ヲ有スル者ヨリ十圓未滿ノ金額ヲ其ノ預金ニ受入ルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 貯蓄銀行業ハ主務大臣ノ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

前項ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ定款及業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ主務大臣ニ提出スヘシ

第三條 貯蓄銀行業ハ資本金五十萬圓以上ノ株式會社ニ非サレハ之ヲ營ムコトヲ得ス

第四條 貯蓄銀行ハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行ナル文字ヲ用ウヘシ

貯蓄銀行ニ非サルモノハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第五條 貯蓄銀行ハ第一條第一項ノ業務ノ外左ニ掲クル業務ヲ併セ營ムコトヲ得

一 定期預リ金

二 保護預リ

三 債權ノ取立

四 公共團體又ハ産業組合ノ金銭出納事務ノ取扱

○男爵阪谷芳郎君 モウ質問ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) モウ無イヤウデゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 此法案ハ段々問題ガアリマヌヤウデゴザイマスカラ、特別委員ノ數ハ十五名トシテ、議長ノ指名ニ願ヒタクゴザイマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 賛成ニハ、議長ト御呼ビテ願ヒタク思ヒマス

○男爵佐竹義準君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ動議ハ賛成者ガゴザイマシタカラ成立

イタシマシタ、阪谷男爵ノ本案ノ委員ノ數ヲ十五名、其委員ハ議長ノ選定ニ任スト云フ說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官

ヲシテ朗讀致サセマス

〔長書記官朗讀〕

取引所法中改正法律案特別委員

子爵青山 幸宜君 子爵酒井 忠亮君 大久保利 武君

男爵村上 敬次郎君 和田 彦次郎君 仲小路 廉君

男爵武井 守正君 男爵中島 久萬吉君 男爵島津 久賢君

男爵岩倉 道俱君 倉知 鐵吉君 早川 千吉郎君

伊藤 傳七君 中村 圓一郎君 安田 善三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 茲ニ於テ御諮リヲ致シタイコトハ、日程第八、第

九ハ、一括シテ説明ヲ煩ハシ、特別委員モ同一委員ニ付託シタイト考ヘマス、

御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第八、貯蓄銀行法案、第九、銀行條例中改正

法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

貯蓄銀行法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月九日

五 公共團體又ハ産業組合ヨリノ要求拂預リ金

第六條 貯蓄銀行ハ本法ニ規定セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第七條 貯蓄銀行カ貯蓄銀行ノ營ムコトヲ得サル業務ニ屬スル契約ニ基ク權利義務ヲ合併ニ因リテ承繼シタル場合ニ於テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ妨ケス

第八條 貯蓄銀行ハ小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス第一條第一項第一號第二號ノ預金取引ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 貯蓄銀行ハ第一條第一項及第五條第一號第五號ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スヘシ但シ供託金額中受入金額ノ四分ノ一ヲ超ユル額ニ付テハ第十一條第一項第一號ノ有價證券ヲ以テ國債ニ代フルコトヲ得

前項ノ受入金額ハ每半年末日現在ニ依リ之ヲ定ム

第十條 預金者及第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ハ其ノ預金及給付金ニ關シテハ前條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第十一條 貯蓄銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外其ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ス

一 國債、地方債、社債又ハ株式ノ應募、引受又ハ買入

二 國債其ノ他前號ニ掲クル有價證券ヲ質トスル貸付

三 不動産ヲ抵當トスル貸付

四 預金者ニ對シ其ノ預金額ヲ限度トスル貸付

五 第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ニ對シ其ノ給付金額ヲ限度トスル貸付

六 銀行ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金

七 銀行引受手形ノ買入

前項ニ規定スル社債及株式ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 貯蓄銀行ノ所有シ又ハ貸付金若ハ預ケ金ノ擔保トシテ受入ルル一會社ノ株式ハ該會社ノ總株式ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十三條 一人ニ對スル貸付金額ハ拂込資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條第一項第三號ノ規定ニ依ル貸付金ノ總額ハ拂込資本金及準備金

ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條第一項第五號ノ貸付金額中既ニ受入レタル金額ヲ超過スル額ニ付テハ確實ナル擔保又ハ保證アルコトヲ要ス

第十四條 一銀行ニ對スル預ケ金及其ノ銀行ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ハ第一條第一項及第五條第一號第五號ニ規定スル受入金ノ十分ノ一ヲ限度トシ且該銀行ノ拂込資本金及準備金ノ四分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス但シ其ノ總額中國債其ノ他第十一條第一項第一號ニ掲クル有價證券ヲ以テ擔保セラレタル額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 貯蓄銀行カ其ノ財產ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ第一條第一項及第五條第一號第五號ノ規定ニ依ル契約ニ基ク銀行ノ債務ニ付各取締役ハ連帶シテ其ノ辨償ノ責ニ任ス

前項ノ責任ハ取締役ノ退任登記前ノ債務ニ付退任登記後二年間仍存續ス

第十六條 貯蓄銀行ハ左ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 定款ヲ變更セムトスルトキ

二 業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セムトスルトキ

三 代理店ヲ設置セムトスルトキ

主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十七條 貯蓄銀行ノ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十八條 主務大臣ノ免許ヲ受ケスシテ貯蓄銀行業ヲ營ミタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 左ノ場合ニ於テハ貯蓄銀行ノ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條及第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二 第十六條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

第二十條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十一條 本法ニ別段ノ規定ヲ設ケサル事項ニ付テハ銀行條例ニ依ル銀行條例第二條ノ三ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ノ債權者ハ之ヲ預金者ト看做ス

第二十二條 貯蓄銀行業ヲ營ム者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ營業稅額ノ二分ノ一ヲ免除ス

附則

第二十三條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 貯蓄銀行條例ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ營業ノ認可ヲ受ケタル貯蓄銀行ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法ニ依リテ免許ヲ受ケタル貯蓄銀行ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル認可、處分其ノ他ノ行爲ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十五條 前條第二項ノ貯蓄銀行ノ資本金ニ付テハ本法施行後五年ヲ限リ仍舊法ニ依ル

第二十六條 第二十四條第二項ノ貯蓄銀行ニシテ現ニ其ノ商號中ニ貯藏銀行又ハ貯金銀行ナル文字ヲ用ウルモノニ限リ第四條第一項ノ規定ニ拘ラス仍其ノ商號ヲ用ウルコトヲ得

第二十七條 第二十四條第二項ノ貯蓄銀行カ第九條ノ規定ニ依リテ爲スヘキ供託ニ付テハ本法施行後二年ヲ限リ仍舊法ニ依ル但シ其ノ期間内ニ於テ新ニ供託ヲ爲ス場合ニ於テハ第一條第一項ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ四分ノ一迄ハ國債ニ限ル

第二十八條 本法施行前貯蓄銀行ノ爲シタル契約ニシテ本法ニ依リ貯蓄銀行ノ爲スコトヲ得サル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ニ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十九條 本法施行ノ際現ニ貯蓄銀行ノ所有スル公債、社債又ハ株式ニシテ第十一條第一項第一號ノ規定ニ依リ應募、引受又ハ買入ヲ爲スコトヲ得サルモノハ本法施行後三年ヲ限リ仍之ヲ所有スルコトヲ得

本法施行ノ際現ニ貯蓄銀行ノ所有スル株式ニシテ第十二條ノ規定ニ依ル限度ヲ超ユルモノニ付テハ本法施行後三年内ニ之ヲ其ノ限度ニ適合セシム

第三十條 本法施行ノ際一銀行ニ對スル預ケ金及其ノ銀行ノ引受ケタル

手形ノ買入高ノ總額カ第十四條第一項ノ規定ニ依ル限度ヲ超ユル場合ニ於テハ本法施行後二年内ニ之ヲ其ノ限度ニ適合セシムヘシ

第三十一條 貯蓄銀行ノ取締役ニシテ本法施行前退任シタル者ノ貯蓄銀行條例第三條ノ規定ニ依ル責任ニ付テハ仍舊法ニ依ル

第三十二條 本法施行前貯蓄銀行條例第一條ノ事業ヲ廢止シタル者ハ既ニ締結シタル契約ノ完了スル迄仍其ノ契約ノ屬スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ貯蓄銀行條例第三條乃至第六條ノ二及第九條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第三十三條 本法施行ノ際貯蓄銀行ニ非スシテ現ニ大正四年法律第二十三號附則第四項ノ規定ニ依リ本法第一條第一項第三號第四號ノ業務ヲ繼續スル者ニ關シテハ仍舊法ニ依ル

銀行條例中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月九日

衆議院議長 奧 繁三郎

貴族院議長公爵惠川家達殿

銀行條例中改正法律案

銀行條例中左ノ通改正ス

第二條ノ五中「貯蓄銀行條例第一條ノ事業」ヲ「貯蓄銀行法第一條第一項ノ業務」ニ、「貯蓄銀行條例第三條乃至第六條ノ二及第九條ノ二」ヲ「貯蓄銀行法第九條、第十條、第十五條及第十九條」ニ、「同法第三條及第九條ノ二」ヲ「同法第十五條及第十九條」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前第二條ノ五ノ規定ニ依リ貯蓄銀行條例第一條ノ事業ニ屬スル契約ニ基ク權利義務ヲ承繼シタル銀行ニ關シテハ其ノ契約ノ屬スル事業ニ付仍從前ノ例ニ依ル

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 日程第八、及ビ第九ヲ束ネテ説明ヲ申上ゲマス、貯蓄銀行ハ零細ナ資金ヲ確實安全ニ保管蓄積シテ、國民ノ貯蓄ヲ獎勵ス

ルコトヲ目的ト致スモノデアリマシテ、公益慈善ノ性質ヲ有シテ居リマシテ、普通ノ銀行ガ一般經濟界ニ於ケル金融ノ媒介、乃至商工業ノ資金ノ運用利殖ヲ任ト致スモノトハ、全く其職能ヲ異ニ致シテ居ルデアリマス、故ニ其監督ニ付マシテモ、普通銀行ニ較ベマスレバ嚴格周到ナルヲ要シマシテ、其業務ノ範圍放資ノ方法等ニ關シテ、相當ノ制限ヲ設クルノ必要ガアルノデゴザリマス、然ニ現行貯蓄銀行條例ハ、制定ノ後幾多ノ改正ヲ經マシテ、漸次ニ其特色ヲ失フニ至リマシタ、現在ニ於テハ貯蓄銀行ハ當然普通銀行ノ業務ヲ兼營スルコトガ出來テ居リマシテ、其業務ノ範圍及ビ資金運用ノ方法等ニ關シマシテ、何等ノ制限ガゴザリマセヌ、故ニ其受入レマシタル所ノ零細ノ貯蓄預金ヲ、他ノ一般商業ノ資金ト何等ノ區別ナク、一樣ニ商工業ノ資金ニ運用セラレタラ、或ハ不確實ナル擔保ニ對シ、又ハ全ク擔保ノナイ貸出ヲナシマシタリ、甚ダシキハ一人ニ對シマシテ其銀行ノ運命ヲ左右スルガ如キ多額ノ貸出ヲナシマシタリ、或ハ所謂親銀行ノ預金吸收ノ機關トナリマシテ、其預金ノ殆ド全部ヲ親銀行ニ預入レマシテ、親銀行ト運命ヲ共ニスルモノナドガ生ジテ參リマシタ、誠ニ遺憾ノ至リデゴザイマス、近頃貯蓄銀行ノ取付或ハ休業、或ハ破綻ノ多クハ、其原因ハ固ヨリ一ニシテ足ラナイ譯デアリマスルガ、是等ノモノガ此原因ノ多キヲナシテ居ルヤウニ考ヘマス、固ヨリ斯ノ如キハ銀行業者ノ經營其宜シキヲ得ザルニ因ルモノデゴザイマスルガ、又貯蓄銀行ニ關シマスル現行法規ノ上ニ於テ、又缺陷ガアルト云フコトニ基クコトモ亦大ナルモノデアアルト信ズルノデアリマス、就キマシテ今回貯蓄銀行條例ニ改正ヲ加ヘマシテ、業務ノ範圍ヲ限定シマシテ、資金運用ノ方法ヲ制限イタシ、擔保供託ノ割合ヲ増加イタシマスル等、幾多ノ改善ヲ施シマシタ、零細資金保管ノ機關トシテヨク其機能ヲ發揮セシメムトスルノデゴザイマス、而シテ此改正ノ要項ガ如何ニモ多クアリマスルガ爲ニ、此際寧ロ貯蓄銀行條例ヲ廢止イタシマシテ、新ニ貯蓄銀行法ヲ制定スルヲ以テ適當ナリト認メマシテ、本案ヲ提出イタシタル次第デゴザイマス、尙ホ現行銀行條例中ニ貯蓄銀行條例ノ規定ヲ引用イタシタモノガゴザリマスルデ、此點ニ付マシテハ、本法案ノ制定ニ伴ヒマシテ、當然銀行條例中ニ改正ヲ要スル次第デアリマスルカラシテ、之ニ關スル銀行條例中改正案ヲモ併セ提出イタシマシタル次第デゴザイマス、而シテ本法ノ施行期限ハ、法案中ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルトアリマスルガ、是ハ大正十一年一月一日ヨリ施行イタシ法案デゴザイ

マス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ願ヒマス

○矢口長右衛門君 簡單デゴザイマスカラ此席デ……大藏大臣ニチヨット伺ヒマスガ、是マデ主トシテ地方ニアリマシテハ何レ銀行ト云フ名稱下ニ、貯蓄ヲ大概兼營イタシテ居リマス、併シ本法ガ愈々制定サレルコトニナリマスレバ、兼營ト云フコトハ絕對ニ出來ナイコトニナル、所謂普通ハ普通、貯蓄ハ貯蓄ト斯ウ明カニソコニ區別ヲ立テラコトニナルダラウト思フノデアリマス、サウ致シマスルト一ツ私ノ疑問ヲ生ズルノハ、地方等ニ於テ兼營銀行ハ必ず貯蓄ト云フモノヲ私ハ無論廢止スルヤウナルコトニナル譯デアリマス、又サウシナクチヤナラナイ、然ニ一銀行ナリ數銀行合同イタシマシテ、新ナル貯蓄銀行ヲ茲ニ拵ヘテ其代理店ニナルト云フヤウナ風ニナルノデアリマス、斯ル際ニ當リマシテ大藏當局ニ於テハ之ヲ保護シ成ベク之ヲ許可スルト云フヤウナ方針ニ出デラレルノデアリマス、ソレトモ此趣意ハ成タケ貯蓄銀行ト云フモノヲ整理スルノデアアルカラ、詰リ段々此數ヲ減ズルノデアアルカラ、成ベク許サヌ方針ヲ執ツテ、サウ云フ際ニハ許サヌト云フ御考デアリマス、其邊ニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスカラ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣 子爵高橋是清君 普通銀行ニシテ貯蓄銀行ヲ兼營スル、兼營銀行ナルモノニ付テノ政府ノ當局ノ考ハ、最初ニ御述ベニナク御考ノ通りデ、變リマセヌデゴザイマス

○矢口長右衛門君 第二ノ御考ハドウデアリマス、只今ノ第二ノ御考ハ如何デゴザイマス、第二ニ問ヒマシタ所ノ……

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣 子爵高橋是清君 第二ノ御質問モ自分カラ先刻ノ御答デ合ンデ居ル積リデアリマスガ、餘リ簡單過ギテ甚ダ恐縮イタシマシタ、是ハ十分ニ便宜ヲ與ヘル積リデアリマス、決シテ貯蓄銀行ヲ撲滅スルトカ云フヤウナ考ハ毛頭ナイノデアリマス、左様御承知ヲ……

○男爵小畑大太郎君 私モ極ク簡單ニ大藏大臣ニ一言質問イタシ度ウゴザイマスカラ當席カラ發言ヲ御許シテ願ヒマス、宜シウゴザイマス、本來貯蓄銀行ガ破綻ヲ來シテ社會ニ迷惑ヲ掛ケル、其上カラ本法案ガ出タコトデ、唯今大臣ノ御説明ガアリマシタ通り、當然ノコトト思ヒマス、併ナガラ如何ニ法ヲ嚴重ニ致シマシテモ、取締ガ緩ヤカデアッタナラバ反古同然デアラウト思

フ、ソレカラ遺憾ナガラ現在ノ取締法ト云フモノハ十分デナイト私ハ思フ、將來ニ於テドウ云フ風ニ御取締ヲナサル御積リデアルカ、チヨット一例ヲ申上ゲマスト云フト、特殊銀行ニハ監理官ト云フモノガ置イテアル、昨年ノ四十三議會ニ私ガ銀行條例ノ改正法律案ノ委員ニナリマシテ、其節勸業銀行ノ貸出資金ノコトニ付テ統計ヲ求メマシタ、監理官ガ居ラレルコトデアルカラ明細ナ而モ最近ノ御答ガアラウト思ヒマシタ、所ガ本日ハ持合セガナイカラ一兩日待ツテ吳レト云フコトデ、甚ダ意外ノ感ニ打タレタ、當時御持合セガナカッタカラ待チマシタ、二三日經チマスト云フト御答ガゴザイマシタガ、其御答ハ遺憾ナガラ一年モ前ノ統計デアアル、實ニ意外千萬ニ私ハ思タノデアリマス、一體監理官ハ銀行ノ資金運用ニ付テ始終注意ヲ與ヘテ行カナケレバナラヌ筈デアアル、其者ガ一年モ前ノ統計ヨリ知ラヌト云フコトデハ、實ニ案外ノ感ニ打タレタノデアリマス、一體ドウ云フコトニ今後ハ御取締ニナルカ、ソレカラ殆ド此案ヲ拜見イタシマスルト云フト、嚴重過ギテ現在ノ貯蓄銀行ノ存在ガムヅカシイ位デアアル、ケレドモ只今申シマシタ通り、取締ヲ寛ニスレバ是ハ反古同然デアラウト思フ、ドウ云フ風ニ御取締ニナルカ承リタイ

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 只今ノ取締ノコトニ付マシテハ、獨リ貯蓄銀行ノミナラズ、普通銀行ニ至ル迄相當ノ取締ヲ致サネバナラヌ必要ヲ當局ハ認メテ居リマス、サウシテ是ガ取締ノ方法ハ一定ノ検査機關ヲ置キマシテ、常ニ其機關ヲシテ銀行ノ検査ニ從事セシムルヨリ外ニナイノデアリマス、而シテ此検査ヲ致シマシテ取締ニ付マシテモ、先ヅ以テ法律ニ缺陷ガアリマシテハ取締モ十分出來ナイ次第デアリマシテ、茲ニ先ヅ修正案ヲ出シマシテ、偕此ノ検査機關ト云フモノヲ設ケマスニ付テ現在今日デモ未ダ研究シテ審議シテ居ルノデアリマスガ、直ニ之ニ適當ナル所ノ役員ヲ備ヘルト云フコトガ困難デアアル、又銀行ニ臨ンデ検査ヲスルト云フコトハ、取引先キノ秘密ガ悉ク分ル譯デアリマシテ、是ニハ當局モ甚ダ苦ンデ居ル、而シテ完全ナル機關ヲ拵ヘテ、此二千數百ノ銀行ヲ少ナクとも年ニ一回検査ヲセムトスレバ、非常ニ龐大ナ機關ヲ置イテ、非常ナ經費ヲ掛ケナケレバナラヌト云フコトニナルノデ、只今マデノ所デハ如何ニシテ完全ナル検査機關ヲ拵ヘ得ルカト云フコトニ付テ、頻ニ研究ヲシテ居ル次第デアリマス、今日ト雖モ大藏省ニ於テ銀行局ガアリマシテ、何時デモ必要ト認メル時ニ於キマシテハ、検査員ヲ

派出スルコトニナツテ居リマス、其人員モ極メテ亦少ナイコトデアリマス、十分ニ行キマセヌ、ソレカラ又今日ノ所デハ、從來検査ト云フモノハ國庫金ノ検査ハ世間ニ普ク知ラレテ居リマシタガ、普通ノ銀行ニ臨ンデノ検査ト云フモノハ、何か事ガアツテ検査ヲスル必要ガ生ジテ後ニ検査スル、ソレ故ニ事ノ起ル前ニ防グ爲メノ検査ト云フコトハ今マデ行ツテ居ラヌノデアリマス、何レ検査ノ機關ヲ拵ヘテ検査ノ方法、又検査スル人達ノ服務規律、サウ云フヤウナモノモ十分ニ拵ヘマシテ世ノ中ニ之ヲ公ニシテ、然ル後ニ検査ニ臨メバ一般公衆モ検査ヲ受ケタ銀行ニ對シテ敢テ怪ミヲ起サナイノデアアル、サウ云フ機關ヲ備ヘ、方法ヲ公ニシテ能ク知ラシメテ、然ル後ニ此検査ト云フコトヲ致シマセヌト云フト、從來ノ慣習デ大藏省カラデモ検査ヲ受ケルト云フト、アノ銀行ハ何か怪シイコトガアルノデハナイカト云フ、疑ノ眼ヲ以テ見ルノデアリマス、ソレデ徒ニ取付ナドト云フコトヲ誘導セストモ限ラヌ、ソレ故ニ先ヅ法ヲ嚴重ニシマシテ検査機關ヲ作り、検査ノ方法、検査官ノ服務規律ト云フヤウナモノヲ拵ヘマシテ、世ノ中ニ公ニシマシタ上ニ於テ、是ハ著手スル必要アリト當局ハ認メテ居ルノデス、是ダケヲ今日申上ゲテ置ク次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔長書記官朗讀〕

貯蓄銀行法案外一件特別委員

- 侯爵佐佐木 行 忠君 子爵八條 隆 正君 子爵渡邊 千冬君
- 男爵小畑 大太郎君 男爵藤田 平太郎君 仁尾 惟 茂君
- 小山 健三君 菅原 通 敬君 八木 久兵衛君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十、公有水面埋立法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

公有水面埋立法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十年三月九日

衆議院議長 奥 繁三郎

公有水面埋立法案

公有水面埋立法

第一條 本法ニ於テ公有水面ト稱スルハ河、海、湖、沼其ノ他ノ公共ノ用ニ供スル水流又ハ水面ニシテ國ノ所有ニ屬スルモノヲ謂ヒ埋立ト稱スルハ公有水面ノ埋立ヲ謂フ

公有水面ノ干拓ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ埋立ト看做ス

本法ハ耕地整理法ニ依ル溝渠又ハ溜池ノ變更ノ爲必要ナル埋立其ノ他勅令ヲ以テ指定スル埋立ニ付之ヲ適用セス

第二條 埋立ヲ爲サムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

第三條 前條ノ免許ハ地方長官期間ヲ指定シテ地元市町村會ノ意見ヲ徴シ之ヲ爲スヘシ

第四條 地方長官ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者アルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外埋立ノ免許ヲ爲スコトヲ得ス

一 其ノ公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者埋立ニ同意シタルトキ

二 其ノ埋立ニ因リテ生スル利益ノ程度カ損害ノ程度ヲ著シク超過スルトキ

三 其ノ埋立カ法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ爲必要ナルトキ

第五條 前條ニ於テ公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

一 法令ニ依リ公有水面占用ノ許可ヲ受ケタル者

二 漁業權者又ハ入漁權者

三 法令ニ依リ公有水面ヨリ引水ヲ爲シ又ハ公有水面ニ排水ヲ爲ス許可ヲ受ケタル者

四 慣習ニ依リ公有水面ヨリ引水ヲ爲シ又ハ公有水面ニ排水ヲ爲ス者

第六條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四條ノ權利ヲ有スル者ニ對シ其ノ損害ノ補償ヲ爲シ又ハ其ノ損害ノ防止ノ施設ヲ爲スヘシ

漁業權者及入漁權者ノ前項ノ規定ニ依ル補償ヲ受クル權利ハ共同シテ之ヲ有スルモノトス

第一項ノ補償又ハ施設ニ關シ協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ地方長官ノ裁定ヲ求ムヘシ

第七條 前條ノ規定ニ依リ漁業權者ニ對シ損害ノ補償ヲ爲スヘキ場合ニ於テ其ノ漁業權カ登録シタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タルトキハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ補償ノ金額ヲ供託スヘシ但シ先取特權者又ハ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域内ニ於ケル公有水面ニ付存スル漁業權又ハ入漁權カ訴訟ノ目的タル爲訴訟當事者ヨリ請求アリタル場合ニ之ヲ準用ス

登録シタル先取特權若ハ抵當權ヲ有スル者又ハ訴訟當事者ハ前二項ノ規定ニ依ル供託金ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第八條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ第六條ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ其ノ補償ヲ爲シ又ハ前條ノ規定ニ依ル供託ヲ爲シタル後ニ非サレハ第四條ノ權利ヲ有スル者ニ損害ヲ生スヘキ工事ニ著手スルトコトヲ得ス但シ其ノ權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得タルトキ又ハ地方長官ノ裁定シタル補償ノ金額ヲ供託シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ第六條ノ規定ニ依リ損害防止ノ施設ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ其ノ施設ヲ爲シタル後ニ非サレハ第四條ノ權利ヲ有スル者ニ損害ヲ生スヘキ工事ニ著手スルトコトヲ得ス但シ其ノ權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 第六條ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ爲スヘキ漁業權ヲ目的トスル先取特權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ前條第一項但書ノ規定ニ依ル供託金ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十條 公有水面ノ利用ニ關シテ爲シタル施設カ埋立ノ爲其ノ效用ヲ妨ケラルルトキハ地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ施設ヲ爲シタル者ニ對シ之ニ代ルヘキ施設若ハ其ノ效用ヲ保全スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ損害ノ全部若ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第十一條 地方長官埋立ヲ免許シタルトキハ其ノ免許ノ日及其ノ事件ノ要

領ヲ告示スヘシ

第十二條 地方長官ハ埋立ニ付免許料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ免許料ノ徵收及歸屬ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ埋立ニ關スル工事ノ著手及工事ノ竣功ヲ地方長官ノ指定スル期間内ニ爲スヘシ

地方長官正當ノ事由アリト認ムルトキハ前項ノ期間ノ伸長ヲ許可スルコトヲ得

第十四條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者埋立ニ關スル測量又ハ工事ノ爲必要ナルトキハ地方長官ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地ニ立入り又ハ其土地ヲ一時材料置場トシテ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ヲ爲サムトスル者ハ其ノ日時及場所ヲ少クトモ五日前ニ其ノ土地ノ市町村長ニ通知スヘシ

市町村長前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受タルトキハ其ノ旨土地ノ占有者ニ通知スヘシ通知スルコト能ハサルトキハ告示スヘシ

前三項ノ規定ハ埋立ノ免許ヲ受ケムトスル者ニ關シ之ヲ準用ス

第十五條 前條ノ規定ニ依ル立入又ハ使用ニ因リテ生シタル損害ハ其ノ立入又ハ使用ヲ爲シタル者之ヲ補償スヘシ

第十六條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ埋立ヲ爲ス權利ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ埋立ヲ爲ス權利ヲ讓受ケタル者ハ埋立ニ關スル法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ依リ讓渡人ニ生シタル權利義務ヲ承繼ス但シ第六條第一項、第十條又ハ前條ノ規定ニ依ル義務ハ讓渡人及讓受人連帶シテ之ヲ負フ

第十七條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ相續人ハ其ノ被相續人ノ有シタル埋立ヲ爲ス權利ヲ承繼ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 埋立ヲ爲ス會社ノ發起人カ會社成立ノ後ニ於テ會社ノ爲ス埋立ニ付免許ヲ受ケタル場合ニ於テ會社成立シタルトキハ埋立ヲ爲ス權利其ノ他ノ埋立ニ關スル法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ依リ生シタル權利義務ハ會社之ヲ承繼ス

第十九條 埋立ノ免許ヲ受ケタル會社合併ニ因リテ消滅シタルトキハ埋立

ヲ爲ス權利其ノ他ノ埋立ニ關スル法令又ハ之ニ基キテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ依リ生シタル權利義務ハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ成立シタル會社之ヲ承繼ス

第二十條 前三條ノ規定ニ依リ權利義務ヲ承繼シタル者ハ其ノ承繼ノ日ヨリ起算シ十四日內ニ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十一條 第十六條乃至第十九條ノ規定ニ依ル權利義務ノ承繼アリタル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付テハ其ノ權利義務ヲ承繼シタル者ヲ以テ埋立ノ免許ヲ受ケタル者トス

第二十二條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ埋立ニ關スル工事竣功シタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ竣功認可ヲ申請スヘシ

第二十三條 埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ前條ノ竣功認可前ニ於テ埋立地ヲ使用スルコトヲ得但シ埋立地ニ埋立ニ關スル工費用ニ非サル工作物ヲ設置セムトスルトキハ命令ヲ以テ指定スル場合ヲ除クノ外地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條 第二十二條ノ竣功認可アリタルトキハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ竣功認可ノ日ニ於テ埋立地ノ所有權ヲ取得ス但シ公用又ハ公共ノ用ニ供スル爲必要ナル埋立地ニシテ埋立ノ免許條件ヲ以テ特別ノ定ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ埋立地ノ歸屬ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 公共ノ用ニ供スル國有地ニシテ埋立ニ關スル工事ノ施行ニ因リ不用ニ歸シタルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ有償又ハ無償ニテ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ニ之ヲ下付スルコトヲ得

第二十六條 前二條ノ規定ハ耕地整理法第十一條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第二十七條 埋立地ニ關スル權利ノ設定又ハ讓渡ニ付テハ埋立免許條件ヲ以テ地方長官ノ許可ヲ受クヘキ旨ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ埋立地ニ關スル處分ノ制限ヲ定メタル場合ニ於テハ地方長官ハ第二十二條ノ竣功認可ヲ爲シタル後遲滞ナク其ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ

不動産登記法第二百二十九條ノ規定ハ前項ノ登記ニ付テ之ヲ準用ス

地方長官登記シタル處分ノ制限ノ全部又ハ一部ヲ解除シタルトキハ遲滞ナク其ノ登記ノ抹消又ハ變更ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第二十八條 前條第二項ノ登記ヲ爲シタル埋立地ニ關スル權利ノ設定又ハ讓渡ニシテ同條第一項ノ許可ヲ受クヘキモノハ其ノ許可ヲ受クルニ非サルハ效力ヲ生セス

第二十九條 前條ノ許可ヲ受ケ權利ヲ取得シタル者ヲ除クノ外第二十七條第二項ノ登記ヲ爲シタル埋立地ニ關スル權利ヲ取得シタル者ハ其ノ取得ノ日ヨリ起算シ十四日內ニ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十條 地方長官ハ前二條ノ埋立地ニ關スル權利ヲ取得シタル者ニ對シ埋立ノ免許條件ノ範圍內ニ於テ義務ヲ命スルコトヲ得

第三十一條 第八條第一項ノ規定ニ依リ埋立ニ關スル工事ニ著手スルコトヲ得ル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ工事ノ施行區域內ニ於ケル公有水面ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ノ除却ヲ其ノ所有者ニ命スルコトヲ得

第三十二條 左ニ掲クル場合ニ於テハ埋立ニ關スル工事竣功認可前ニ限リ地方長官ハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ニ對シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ其ノ爲シタル免許其ノ他ノ處分ヲ取消シ其ノ效力ヲ制限シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、埋立ニ關スル工事ノ施行區域內ニ於ケル公有水面ニ存スル工作物其ノ他ノ物件ヲ改築若ハ除却セシメ、損害ヲ防止スル爲必要ナル施設ヲ爲サシメ又ハ原狀回復ヲ爲サシムルコトヲ得

一 埋立ニ關スル法令ノ規定又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ
二 埋立ニ關スル法令ニ依ル免許其ノ他ノ處分ノ條件ニ違反シタルトキ
三 詐欺ノ手段ヲ以テ埋立ニ關スル法令ニ依ル免許其ノ他ノ處分ヲ受ケタルトキ

四 埋立ニ關スル工事施行ノ方法公害ヲ生スルノ虞アルトキ
五 公有水面ノ狀況ノ變更ニ因リ必要ヲ生シタルトキ
六 公害ヲ除却シ又ハ輕減スル爲必要ナルトキ
七 前號ノ場合ヲ除クノ外法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

ル事業ノ爲必要ナルトキ
前項第七號ノ場合ニ於テ損害ヲ受ケタル者アルトキハ地方長官ハ同號ノ事業ヲ爲ス者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第三十三條 埋立ニ關スル工事竣功認可後埋立ニ關スル法令ニ依ル免許其ノ他ノ處分ノ條件又ハ第三十條ノ規定ニ依リ命スル義務ニ違反スル者アルトキハ地方長官ハ其ノ違反ニ因リテ生シタル事實ヲ更正セシメ又ハ其

ノ違反ニ因リテ生スル損害ヲ防止スル爲必要ナル施設ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條 左ニ掲クル場合ニ於テハ埋立ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ但シ地方長官ハ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ效力ヲ失ヒタル日ヨリ起算シ三月內ニ限リ其ノ效力ヲ復活セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ埋立ノ免許ハ始ヨリ其ノ效力ヲ失ハサリシモノト看做ス

一 免許條件ニ依リ埋立ニ關スル工事ノ實施設計認可ノ申請ヲ要スル場合ニ於テ申請ニ對シ不認可ノ處分アリタルトキ又ハ免許條件ニ於テ指定スル期間內ニ申請ヲ爲ササルトキ
二 第十三條ノ期間內ニ埋立ニ關スル工事ノ著手又ハ工事ノ竣功ヲ爲ササルトキ

前項但書ノ規定ニ依リ免許ノ效力ヲ復活セシメタル場合ニ於テハ地方長官ハ免許條件ヲ變更スルコトヲ得

第三十五條 埋立ノ免許ノ效力消滅シタル場合ニ於テハ免許ヲ受ケタル者ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域內ニ於ケル公有水面ヲ原狀ニ回復スヘシ但シ地方長官ハ原狀回復ノ必要ナシト認ムルモノ又ハ原狀回復ヲ爲スコト能ハスト認ムルモノニ付埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ申請アルトキ又ハ催告ヲ爲スニ拘ラス其ノ申請ナキトキハ原狀回復ノ義務ヲ免除スルコトヲ得

前項但書ノ義務ヲ免除シタル場合ニ於テハ地方長官ハ埋立ニ關スル工事ノ施行區域內ニ於ケル公有水面ニ存スル土砂其ノ他ノ物件ヲ無償ニテ國ノ所有ニ屬セシムルコトヲ得

第三十六條 第三十二條第一項及前條ノ規定ハ埋立ノ免許ヲ受ケシテ埋立工事ヲ爲シタル者ニ關シ之ヲ準用ス

埋立ノ免許ヲ受ケシテ埋立工事ヲ爲シタル者アル場合ニ於テ地方長官原狀回復ノ必要ナシト認ムルモノトキハ埋立ノ追認ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ追認ノ日ニ於テ埋立ノ免許アリタルモノト看做ス
埋立ノ免許ニ關スル規定ハ前項ノ埋立ノ追認ニ關シ之ヲ準用ス

第三十七條 地方長官第六條第三項ノ裁定ヲ爲シ又ハ第十條若ハ第三十二條第二項ノ規定ニ依ル補償ヲ爲サシムル場合ニ於テ鑑定人ノ意見ヲ聞キタルトキハ其ノ鑑定ニ要スル費用ハ第三十二條第二項ノ場合ニ於テハ同

項ノ事業ヲ爲ス者、其ノ他ノ場合ニ於テハ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第三十八條 第十二條ノ免許料ニシテ國ニ歸屬スルモノ及前條ノ鑑定ニ要スル費用ハ地方長官國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 埋立ノ免許ヲ受ケスシテ埋立工事ヲ爲シタル者
二 詐欺ノ手段ヲ以テ埋立ニ關スル法令ニ依ル免許其ノ他ノ處分ヲ受ケタル者
三 埋立ニ關スル法令ニ依ル免許其ノ他ノ處分ノ條件ニ違反シ公有水面ノ公共ノ利用ヲ妨害シタル者

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第二十三條但書ノ規定ニ違反シ工作物ヲ設置シタル者
二 第二十七條第二項ノ登記ヲ爲シタル埋立地ニ於テ埋立ニ關スル法令ニ依ル免許其ノ他ノ處分ノ條件ニ違反シ工事ヲ爲シタル者
三 第三十條ノ規定ニ依リ命スル義務ニ違反シ埋立地ニ於テ工事ヲ爲シタル者

第四十一條 第二十條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十二條 國ニ於テ埋立ヲ爲サムトスルトキハ當該官廳地方長官ノ承認ヲ受クヘシ

埋立ニ關スル工事竣功シタルトキハ當該官廳直ニ地方長官ニ之ヲ通知スヘシ

第三條乃至第十一條、第十四條、第十五條、第三十一條、第三十七條及第四十四條ノ規定ハ第一項ノ埋立ニ關シ之ヲ準用ス但シ第十四條ノ規定ノ準用ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受クヘキ場合ニ於テハ之ニ代ヘ地方長官ニ通知スヘシ

第四十三條 地方長官ハ公共ノ用ニ供スル爲必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國ニ於テ埋立ヲ爲シタル埋立地ノ一部ヲ公共團體ニ歸屬セシムルコトヲ得

第四十四條 第六條第三項ノ規定ニ依ル補償ノ裁定ニ不服アル者ハ其ノ裁定書ヲ送付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ六月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第四十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

本法ニ依リ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル場合ニ於テハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第四十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル事項ニ付行政廳ノ爲シタル違法處分ニ因リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四十七條 本法ニ依リ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケシムルコトヲ得

第四十八條 本法ニ依リ地方長官ノ職權ニ屬スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ輕易ナルモノニ限り下級行政廳ニ之ヲ委任スルコトヲ得

第四十九條 本法中市會又ハ市長ニ關スル規定ハ北海道區制又ハ沖繩縣區制ニ依ル區ニ付テハ區會又ハ區長ニ關シ之ヲ適用ス

本法中町村會又ハ町村長ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セサル地ニ付テハ町村會又ハ町村長ニ準スルモノニ關シ之ヲ適用ス

附則

第五十條 本法ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ公有水面ノ一部ヲ區劃シ永久的設備ヲ築造スル場合ニ之ヲ準用ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前爲シタル處分及之ニ附シタル條件ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ抵觸セサル限り本法ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件ト看做ス但シ地方長官ハ公益上必要アリト認ムルトキハ本法施行ノ日ヨリ起算シ三月内ニ限り第三十二條ノ規定ニ拘ラス處分ニ附シタル條件ヲ變更シ又ハ處分ニ條件ヲ附スルコトヲ得

地方長官ニ對スル申請其ノ他ノ埋立ニ關スル手續ニシテ本法施行前爲シタルモノハ本法ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

〔國務大臣床次竹二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 説明ヲ申上ゲマス、公有水面埋立ニ關スル現行

法規ト致シマシテハ、明治二十三年勅令第三百七十六號、官有地取扱規則中ニ唯一箇條ノ規定アルニ止マリマシテ、頗ル不備デゴザイマシテ、遺憾ノ點ガ少ナクゴザイマセヌ、依テ此際埋立ニ關スル法規ヲ制定イタシマシテ、時勢ノ要求ニ應ゼムトスル次第デゴザイマス、衆議院ニ於テ一箇條追加修正ガゴザイマシテ、特ニ巨費ヲ投ジテ築造セル魚池、船渠ノ如キ永久的施設ニシテ埋立ニ準ズベキモノニ適用スル趣旨ヲ以テ追加セラレマシタ、政府ハ此修正ニ同意ヲ致シマシタ、ドウカ宜シク……

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス
〔長書記官朗讀〕
公有水面埋立法案特別委員
伯爵清棲 家 教君 子爵藤谷 爲寛君 江木 千之君
男爵南岩倉 具 威君 男爵安藤 直 雄君 男爵今園 國貞君
阪本 鈺之助君 西久保 弘道君 中山 嘉兵衛君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一、一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、花山院侯爵
〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕
一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十年三月八日

右特別委員長
侯爵花山院 親家

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔侯爵花山院親家君演壇ニ登ル〕

○侯爵花山院親家君 唯今日程ニ上リマシタ一年現役小學校教員俸給費國庫負擔法案委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此ノ委員會ハ前後三回開會イタシマシテ、政府當局ノ出席ヲ求メマシテ、ソレゾレ應答質疑ヲ重ネマシテ、慎重審議ヲ盡シタノデゴザイマス、本案ノ大體ノ趣旨ハ、從來師範學校ノ卒業生ハ、六週間現役ヲ以テ其ノ兵役義務ヲ終ッテ居ッタノデアリマスガ、大正七年ニ徵兵令改正ノ結果、現役一年ヲ勤メルト云フコトニナッタノデゴザイマス、從ヒマシテ何等教職ニ従事シテ居ラヌ、實際教職ニ就テ居ラヌ

者ノ俸給ヲ市町村ニ於テ支辨スルト云フコトハ、甚ダ苛酷ナコトデアルト云フノデ、國庫ガ之ヲ負擔スルト云フノガ本案ノ趣旨デゴザイマス、委員會ニ於キマシテ、ソレゾレ質疑ガゴザイマシテ又政府委員ヨリ之ニ對スル御答辯ガゴザイマシタガ、既ニ速記録ニ於テ御覽濟ミノコトト存ジマスデ、茲ニ省略イタシマス、委員會ニ於キマシテハ、此法案ハ大正七年徵兵令改正ノ時ニ其俸給ノ八割ヲ支給スルト云フコトヲ當局大臣ヨリ言明セラレタノデアリマシテ、誠ニ結構ナ案デアアル、適當ナ案デアアルト認メマシテ全會一致ヲ以テ可決スベキモノナリト議了イタシタノデゴザイマス、右御報告申上ゲマス
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵八條隆正君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵八條隆正君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會決議ノ通りデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十二、國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

大正十年三月九日

衆議院議長 奥 繁三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

第一條 明治三十二年法律第九十九號國有土地森林原野下戻法第一條ノ期限内ニ下戻ノ申請ヲ爲ササル者ハ大正十一年三月三十一日迄ニ主務大臣

ニ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ申請ニ對シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三條 明治三十二年法律第九十九號國有土地森林原野下戻法ニ依リ申請シタル者又ハ此ノ法律施行以前ニ下戻ニ關スル申請書又ハ願書ヲ差出シ

此ノ法律ニ依リタルモノト看做サレタルモノニシテ主務大臣ノ處分ニ對シ期限内ニ出訴セサル者ハ大正十一年三月三十一日迄ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

○山脇玄君 農商務ノ政府委員ハ御出席ニナツテ居ラレマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 居ラレマスカ

○山脇玄君 ソレデハチヨット

○議長(公爵徳川家達君) 質問デアリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマスカ

○山脇玄君 此ノ下戻法案ハ數回出マシテ、段々ニ下戻ニナリマシタガ、未ダ下戻ニナラヌモノガアツテ權衡ヲ得テ居ラヌノデアリマスカ、御承知ノ通りニ

此ノ下戻ヲ受ケマスニハ證據物ノ蒐集ト云フコトガ非常ニ困難デアルノミナラズ、大林區署ヲ經テ農商務省ニ達スルノデアリマスカラ、其間ニハ適分面

倒ナ手續ヲ經ル爲ニ期限モ後レルト云フコトニナツテ居ル、洵ニ困ツタハ手續デアリマス、ケレドモ一旦下戻ヲ許スト云フコトニナリマシタ以上ハ、公平ニ御處置ニナラナクテハナルマイト思フ、既ニ下戻ヲ受ケタ者ト未ダ下戻

ヲ受ケナイ者トノ權衡ヲ得ヤウト云フニハ、ドウシテモ殘ツタモノヲ下戻シテヤルト云フ必要ガ無論アルノデアリマスカ、デアリマスカラ政府モ定メシ此案ニハ御同意ニナツテ居ルコトトハ存ジマス、其御意見ヲ承ハリタイ、萬一若シ此案ニ同意ヲナサレヌト云フコトデアルナラバ、下戻ヲ受ケタノト、下戻ヲ受ケナイモノトノ權衡ヲ得ル爲ニ、他ニ御考デモアルナラバ、其コトヲ伺ヒタイ

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、御尋ノ通り此案ハ六度、今度デ七度衆議院カラ當院ニ御送付ニナツテ居ル案デアリマシテ、段々ノ御事情、此案ヲ提出イタサレマスル理由ニ付マシテハ、誠ニ御同情ニ堪ヘヌコトトハ存ジマスルガ、元々此林野ノ下戻ト申シマスルノハ、地租改正ノ際ニ其時ノ處分ニ誤謬ガアル、誤テ民有タルベキモノガ官有地ニ編入サレタト云フ其ノ誤謬手續ヲ改メテ貰ヒタイト云フコトニナルノデアリマスカ、而シテ其手續ハ固ヨリ十數年來、明治十年前後カラ地租改正ガ始リマシテ、其終了十四五年以來カラ考ヘテ見マシテモ、明治三十二年迄モ十七年餘ノ年月ガアル、其十七年ノ間ニ誤謬ヲ訂正スベキモノハ誤謬ヲ訂正スルコト云フコトデ、段々ト順序ヲ經テ來テ居リマス、而シテ其十數年ノ間ニ或ハ訓令トナリ、或ハ省令トナツテ、諸般ノ手續等ヲ人民ニ示シテ居ルノデアリマスカ、サウ致シテ居

リマスルガ、何時マデ經ツテモ其區切ガ付カヌ、ソレガ爲ニ此ノ國有財産ノ經營ノ上ニ於テモ方針ノ立テ方ガナイ、折角政府トシテ整理ニ手ヲ著ケタモノモ、所有權ノ恢復ヲ求メテ來ルト云フヤウナ次第デ、全般ニ互ツテノ計畫ノ上ニ諸般ノ支障ヲ起シマシタノデ、ソレ故ニ明治三十二年ニ所謂下戻ナルモノヲ發布セラレマシタガ、實ハソレハ新ニ下戻ヲスル法律デハナクシテ、此下戻手續ヲモウ一年デ打切ラウト云フ法律デアアル、打切ル法律デアアル、ソレニ依テ三十二年カラ詰リ三十三年六月マデデ、最早此ノ誤謬訂正、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ下戻ノ出願ハ、最早許サヌゾト云フ法律デアアルノデアリマスカ

ソレデ以テ濟ンダノデアアル、ソレヲ又其後ニ至リマシテ、段々漏レタモノガアルカラ、モウ一遍下戻手續ヲ開始シテ吳レト云フコトデアリマスカ、デ漏レタモノガアルト云フ、ドレダケノモノガ漏レテ居ルカ、勿論廣イ日本國中ノコトデゴザイマスカラ、漏レタモノガアルデゴザイマセウケレドモ、漏レタモノガアルカラト申シマスレバ何時マデモ際限ガ付カヌ、ドウシテモ前ノ方

針ヲ國家ノ爲ニ所謂打切りト云フモノヲチャント區切ヲ立テテ、勿論其立テ
タ以後全體ノ國有林ニ付テ諸般ノ經營ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、今又
國有林ノ中或部分ニ缺陷ヲ來スト云フコトハ、政府トシテドウシテモ國有財
産ノ經營上ドウモ御同意イタシ兼ヘル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ國有林ノ下戻ヲ願フ、或部分、或動機ノ中ニハ誠ニ其同情ニ堪
ヘヌコトガアルノデアリマス、即チ此ノ國有林ト、其ノ國有林ノ所在地、其
ノ町村部落トノ關係ガ如何ニモ圓滿ヲ缺クヤウナコトガアルノデアリマス、
實際ノ上カラ申シマスルト、百姓家ノ軒先カラ直グ官有デ「ステッキ」一本取ッ
テモ、栗一ツ拾ッテモ、嚴重ナ法律ノ上カラ申シマスルト、制裁ヲ受ケナケレ
バナラヌト云フヤウナコトガアル、國有林ヲ監視スル所ノ役人ニ對シテモ、
殆ド敵人デアルガ如キ感ヲ以テ村民ガ之ニ臨ムト云フガ如キコトモ、往々ニ
シテ世間デ申スノデアリマス、ソレハ今申シマスル如クデナイカモ知レマセ
ヌガ、確ニ或場所或部分ニ於テハ偶、官林ニ野火ガ起ッテモ喜ンデ勇ンデ之ヲ
消スト云フヤウナコトガナカッタリ、盜伐ヲ見テモ見テ見ヌ振ヲシタリスルコ
トガ段々アツタサウデアリマス、此點ハ如何ニモ残念ナコトデアリマス、ドウ
シテモ此間ノ調和ヲ取ラナケレバナラヌト感ジマシテ、幸ニ現行ノ法律ニ於
テハ此ノ國有林ノ保護ヲ、其ノ所在町村部落等ニ委託スル方法ヲシテ宜イコ
トニナツテ居リマス、ケレドモ現在ニ於テハ、ソレハ致シテ居リマセヌノデア
リマス、此ノ委託保護ノ方法ヲ是非急イデ致シタイ、即チ所在ノ町村ガ官林
ノ保護ノ委託ヲ受ケテ、只今申上ゲマシタヤウナ、或ハ盜伐デノリ或ハ蟲害
デアリ、或ハ野火デアルト云フヤウナコトニ付テ、始終部落町村ガ見廻リヲ
シテ呉レル、保護ヲシテ呉レル、其代リ其町村カラ生ズル所ノ副産物デアリ
マス、或ハ町村民ノ要スル所ノ薪炭材デアリマス、或ハ山カラ生ズ
ル所ノ枯損木デアリマス、或ハ官行事業ヲ致シマシタ場合ニ段々途中デ
間伐スルヤウナ、手入レノ爲ニ伐拔キヤスルヤウナ材木モ出マス、又本當ノ
本材ヲ伐リマシタ時ニハ其枝木デアリマス、末木デアリマス、トカ云フヤ
ウナ、相當ナ財産トナルベキモノガ出マス、ソレ等ノモノヲ村民ニ無償
給與スル、前申上ゲマスル其保護ニ對スル報酬トシテ、村民ヲシテ其山林ヲ
愛護スルノ念ヲ起サシメテ、憂ヘテ居ル所ノ其官林ニ對スル惡感情ヲ一掃シ
タイト存ジマシテ、唯今折角其取調ベテ進メテ居リマス、近キ將來ニ於キマ
シテソレヲ實現イタシタイト思ヒマス

○子爵板倉勝憲君 議長……

○議長(公爵徳川家達君) 板倉子爵ハ……

○子爵板倉勝憲君 私モ同様ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、私モ簡單デゴザ
イマスカラ、此處カラ申上ゲマスガ、此法案ハ今政府委員カラ御説明ニナリ
マシタ通り、屢、從來繰返サレタモノデアアル、元々此ノ國有林ヲ拂下ゲルト云
フコトハ、ズット前ノコトデアアツテ、無論其當時ノコトデゴザイマスカラ、或
ハ長州デアルトカ、或ハ九州デアルトカ云フ風ノモノハ、悉ク官有林ガ拂下
ゲニナツタト云フヤウナ事實ガアリ、語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ
事實ガアル、然ニ東北ノ如キハ極メテ引キガ薄カッタ爲メ或ハ納稅ガ遅レ、或
ハ證據ガ完備シナイ、種々ノ手續ノ錯誤、證據ノ不十分ト云フヤウナコトデ、
拂下ヲ受ケナカッタ地面ガ非常ニ多イ、其爲ニ今日デモ唯今、農商務次官カラ
御話ノ通り、自分ノ軒先カラ直グ官有ノ土地デアアル、官有林デアアル、私ノ
知ッテル所ニ依リマスルト、却テ自分ノ庭先ヲ越エテ向フノ山ハ自分ノ村ニ
ナツテ居ル、自分ノ村ナドガ證據ガナイ爲ニ國有ニナツテ居ル、斯ウ云フヤウ
ナ不條理ナコトガ、殊ニ東北地方ニ非常ニ多イト考ヘル、其爲ニ段々人口ガ
殖エテ稠密ニナツテ來ルト、自然盜伐……、從來ハ自分ノ村ノ所有地トシテ
扱ッタモノガ、官有林デアアルカラ自然盜伐ガ行ハレル、地方ニ於テ政府ノ役人
ト村民ト始終爭ヒヲスル、甚ダシキニ至ッテハ栗ノ實ヲ拾ッテモ、枯木ノ枝ヲ
取ッテモ直グニ拘引サレルト云フヤウナコトハ、甚ダ多イ事實ノヤウニ思フ、
是ハ國家トシテ甚ダ私ハ、國有林ダ國有土地ダト云フヤウナ觀念デ、村民ノ
土地ヲ證據ノ不十分、或ハ手續ノ遅延ト云フノデ、國有ニドンドン繰入レテ
仕舞ッタ、昔カラ其村ノ村民デアアルベキ軒先ノ地面等ヲ國有林ニスルト云フコ
トハ非常ニ怪シカラヌコトデハナイカ、是ハ政府ガ人民ヲ敵トスルモノデア
ル、然ラバサウ云フ現狀デアアルナラバ、六遍デモ七遍デモ常ニ此期限ヲ延シ
テ成ベク證據ノアルモノハ取上ゲテ、採擇シテ、サウシテ之ヲ人民ニ拂下ゲ
ルト云フコトガ、是ハ政府ノ政策トシテ當前ノコトデアアル、今日ノ如ク丸
デ山林ノ役人ト人民トガ喧嘩ヲシテ、其人民ノ總代ガ牢屋ニ這入ル、俺達ハ
總代デ這入ルト云フヤウニ總代ヲ決メテ置イテ、サウシテドンドン盜伐ヲス
ル、或ハ草ヲ刈ルト云フヤウナコトヲシテ居ル地方ガ非常ニ少ナクナイト云
フノハ、甚ダ國家ノ爲ニ私ハ悲シムベキコトデアルト思フ、サウ云フコトヲ
考ヘマスと云フト、斯ウ云フ法律ハ手續ヲ忘レタ者モアルシ、知ラヌ者モア

ルシ、又證據が不十分ナル者が段々アル、ソレヲ採用スルコトが當然ノコトダラウト思ヒマスカラ、之ニ對スルモウ一ツ政府ノ感想ヲ伺ヒタイ

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、唯今モ申上ゲタ如ク、此ノ町村ト國有林トノ間ノ關係ニ付テ、兎角圓滿ヲ缺ク傾ガアルト云フコトニ付テハ、甚ダ遺憾ニ感ジテ居リマス次第デゴザイマス、併ナガラ過去ノ實蹟ニ徴シテ見マシテモ、何萬ト云ツテ出テ參リマシタ下戻ノ願ノ中ニ、證據ガ備フテ下戻ヲ許可スルト云フノハ甚ダ比例ガ少ナイノデゴザイマス、今後假ニ此規則ヲ又更ニ出シマシテモ、十分確實ナル證據ガ澤山ナリトシテ願フタモノサヘモ、今申上ル通りニ非常ニ許可ヲ得ル比例ガ少ナイノデゴザイマスカラ、今後出テ參リマスモノハ、今選リ抜イタ後ノ出願ニナルノデ、其比例ハ益、減ルモノデナカラウカト實ハ存ジテ居リマス、而シテ此下戻ヲ願ヒマシテ、幸ヒ許可ヲ得マシタ各町村等ノ實蹟ニ付テ大體ヲ觀察イタシマシテモ、其ノ出願中結局行政裁判所等迄參リマシテ、費用ヲ使フ者モアリ、行政裁判所迄參ラス者ニ致シマシテモ、何レ證據調べノ世ノ中デアリマスルノデ、矢張専門家ノ手ニ渡ラナケレバナリマセヌノデ、段々費用ニ掛リマシテ、村ノ方ニ殘ル所ノモノ幾許モナイ、却テ下戻ヲ得テ非常ナ苦痛ヲ感ジテ居ル町村モアルヤウナコトニ聞及ンデ居リマス、今後處分ヲスルニ致シマシテモ證據ガナイモノニ下ゲル譯ニ參リマセヌカラ、矢張ドコ迄モ證據問題ニナラナケレバナラス、而シテ確實ナル證據ヲ持ツテ居ルト云フノハ、前申上ゲル通り非常ニ比例モ少ナイコトデゴザイマスルカラ、同情ニハ堪ヘヌコトデハゴザイマスケレドモ、又前申上ゲタ方針打切ッタモノヲ、又茲ニ回復ヲシテ、サウシテ村民トシテハ非常ニ手續モ費用モ掛リ、サウシテ割合ニ效果ノ薄イ手續ヲスルト云フコトハ考ヘモノデアアル、ソレヨリハ村民トノ關係ニ於テハ、前申上ゲタヤウナ手續ヲ致シマシテ、所在地ト官吏トノ間ノ關係ヲ圓滿ナラシムル所ノ方ガ、實效ガアツテ容易イコトデナカラウカト思ツテ居リマス次第デゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 モウ一ツ伺ヒマスガ、今ノ政府ノ御同情アル御話デアアルガ、然ラバ何モ其法律ヲ作ツテ置イテモ宜カラウト考ヘル、成程證據ガ集ル前、完備トハ行クマイケレドモ、何百何千ト云フ中ニハ完備シタモノガ出テ來ルカモ知レヌ、ソレヲ何モ強ヒテ打切ル必要ナカラウト思フ、法律ヲ拵ヘテサ

ウシテサウ云フ證據ノ出タ者ハ、假令一ツカニツデモ今又ソレハ完全ナル證據ト信ジテモ、ソレヲ行政裁判所ナリ何ナリデ審査シテ、證據ガ不完全トスレバ、ソレヲ以テ判決ヲ下セバ納得スル、ソレデ納得サシテヤラレルノガ宜カラウト思フ、唯モウソレヲ打切ツテ仕舞ツテ受取ラヌト云フヨリモ、ドンドン受取ル、證據アルモノハ千ノ中ニ一ツモ出テ來ル、又千ノ中ニ二百出テ來ル、其證據ハ不完全ナラ不完全ト言ヘバ、納得シテ參ル、御前ノ證據ガ不完全ダト言ヘバ納得スル、又住宅地ノヤウナ話モアリマシタガ、是ハ近キ將來、近キ將來ト云フ言葉デアリマスガ、近キ將來ト云フノハ三年掛ルカ、五年掛ルカ分ラヌ、サウ云フ近キ將來ト云フコトヲ唯言フダケデ、此法規モ何モ否定スル必要ハナカラウ、其法律ヲ置ク爲ニ非常ナ費用ガ掛ルトカ、非常ナ手續ガ要ルトカ云フノナラバ、又ソレハ考ヘモノデアリマスガ、單ニ之ヲ置イテモ左程ノ費用モ掛ラナケレバ、手數モ掛ラヌ、サウシテ一方ニハ、極メテ新シイ證據ガ出ルカモ知レヌ、又サニ非ズシテ出願者ハ立派ナ證據ト信ジテ居ル證據ガ不十分デアツテモ、不十分ダト言ツテ納得サスレバ宜イ、然ニ之ヲ打切ツテ仕舞ツテ、今後ハ相成ラヌト云フコトハ、甚ダ政府トシテハ面白クナイコトデナイカト考ヘル、モウ一應其點ヲ伺ヒタイ

〔政府委員田中隆三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスルガ、此法律ガ出マスルト云フト、矢張ソレガ爲ニ數十人ノ役人ヲ、矢張拵ヘマシテ、特別ニ……サウシテ中々綿密ナル且嚴重ナル調査ヲシナケレバナラヌノデアリマス、中々其簡單デナイノデアリマス、殊ニ兎角世間カラ何ノカンノト云フ疑惑ヲ招クヤウナ職務デアリマスルノデ、特別ニ此コトニ専門ニ當ル所ノ數十人ノ役人モ使ハナケレバナラス、ソレ等ノ半ハ餘リ格別デナイト致シマシテモ、國家トシテ一番ノ苦痛ハ國有林ノ計畫ヲ中止シナケレバナラヌノデアリマス、ソレガ一番困ルノデ、ソレカラ又此度ノ法案ニ致シマシタ所デ、一年ト云フ期限デアアル、丁度只今御提案ニナツテ居リマスノハ、一年期限デアアル、一年經ツテ又同じ問題ヲ繰返シテ來年迄ニ願フコトガ出來ナカッタ、證據ガ調ハナカッタト云フ者ハ、又來々年ニナツテ又何故私ニヤラセヌカト云ツテ苦情ヲ云フ者ガ出ル、理窟ノ同ジコトヲ繰返スコトニナルカラドウシテモ是ハ官民相互ノ爲ニ同じク憂ヒテ居リマス所ノ町村ノ關係トカ何トカ云フコトハ、別ノ方ニ依テ治メタ方ガ實績ガアルモノト思フ、此方法ヲ執ルコトハ不得策デアアル、斯ウ認メ

テ居ルノデアリマス、根本ノ事情ニ於テハ洵ニ同情ニ堪ヘヌ點ハゴザイマス
ルケレドモ、國家ノ上カラシテドウシテモ是迄既ニ手續ヲ運ンデ居リマスカ
ラ、此上ニ更ニ此山林ノ經營ヲ、争ヒノ一切治マルマデ中止スルト云フコト
ハ洵ニ困ル譯デ、其點ニ於テ政府ハ御同意致シ兼ネテ居ル次第デゴザイマス
○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、本案ノ特別委員ハ
國有財産法案ト同一ノ委員ニ付託致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) モウ一ツ諸君ニ御諮リヲ致シマス、議事日程第十
三ヨリ第三十九マデハ、請願ノ會議デゴザイマスガ、諸君ニ於テ御異議ガナ
ケレバ、全部一括シテ問題ト致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ依
フ〕

意見書案

義務教育費國庫負擔金増額ノ件

長野縣松本市教員三村壽八郎外六名呈出

秋田縣秋田市長野下堀端町教員井口益吉外一名呈出

佐賀縣佐賀市大字水ヶ江町教員濟木庄八外十名呈出

新潟縣南蒲原郡栗林村佐藤謹二外四十六名呈出

愛知縣南設樂郡長篠村教員山田國一外二十六名呈出(四通)

大分縣下毛郡東城井村教員角野善治外三百七名呈出(三十一通)

茨城縣水戸市下市十軒町教員川上春次郎外八十名呈出(二通)

京都府南桑田郡龜岡町平民教員淺井榮次郎外八十一名呈出(二通)

栃木縣下都賀郡栃木町官吏原島正助外六十九名呈出

京都市上京區室町通教員田村作太郎外八百五十九名呈出

山梨縣甲府市富士川町教員保坂茂吉外六百八十八名呈出(七通)

德島縣板野郡川内村教員手塚猪九郎外十名呈出

新潟縣長岡市愛宕町教員星野廣外六十四名呈出(四通)

秋田縣平鹿郡淺舞町長眞田龜治外百四名呈出(二通)

埼玉縣兒玉郡賀美村教員永澤角太郎外七名呈出

佐賀縣三養基郡北茂安村教員岡村織三郎外百七名呈出
青森縣青森市大字浦町教員山内元八外百九十三名呈出
和歌山縣和歌山市湊紺屋町酒造業南方常楠外三百七十五名呈出(十二
通)

滋賀縣蒲生郡八幡町松原廣吉外三百一十一名呈出(二十九通)

福井縣大野郡阪谷村教員山村福松外二百二十二名呈出(二十八通)

東京市神田區錦町華族東京府教育會會長岡部長職外九十五名呈出(七
五通)

埼玉縣大里郡御正村長松本定吉外一名呈出(二通)

群馬縣高崎市柳川町高崎市教育會會長平井八太郎外四十二名呈出

新潟縣南蒲原郡長澤村農石月佐傳次呈出

長野縣上伊那郡伊那町上伊那郡教育會會長原才三郎外三百九十四名呈出
(二十七通)

長野縣北佐久郡蘆田村公吏岩下政三外二百一名呈出(十二通)

長野縣更級郡八幡村教員中嶋惣左衛門外千二百三十二名提出(百六十
三通)

山口縣下關市關後地村教員西原主馬外九十九名呈出(五通)

長崎縣北松浦郡平戸村教員白川富太郎外二百八十二名呈出(五十二通)

熊本縣玉名郡阪下村教員中島熊五郎外八百七十三名呈出(十通)

秋田縣平鹿郡増田町教員柴田熊藏外二百二十五名呈出(六通)

埼玉縣大里郡新會村長荒木常四郎外二十九名呈出(十七通)

滋賀縣野洲郡玉津村教員石田篤造外九百八十七名呈出(九十三通)

岡山縣御津郡福濱村教員正本龜太郎外十四名呈出

茨城縣水戸市市上櫻町官吏松本喜一外三十名呈出

廣島縣高田郡三田村農己斐秋一外一名呈出

滋賀縣蒲生郡鎌掛村教員小林八重吉外六名呈出

富山縣水見郡布勢村教員中野良吉外二十八名呈出

東京市本所區新小梅町華族本所區教育會會長徳川囿順呈出

埼玉縣大里郡吉岡村長長井茂吉外四名提出(五通)

岐阜縣大垣市室町教員竹中薰外七十六名呈出

鳥根縣能義郡廣瀬町教員妹尾信敏外十一名呈出

千葉縣千葉市千葉縣教育會長折原巳一郎呈出

神奈川縣津久井郡與瀨町醫師小林藤治外四名呈出

鹿兒島縣揖宿郡顯娃村教員上村新之助外二百八十名呈出(二十通)

熊本縣玉名郡南關町教員久我末尾外千九百二十二名呈出(百四通)

大阪市南區天王寺南河堀町官吏和田廉之助外三十二名呈出

岐阜縣郡上郡奧明方村教員喜多七五郎外八十五名呈出(八通)

神奈川縣津久井郡三澤村教員加藤銀造外八百三十五名呈出(二十通)

北海道白老郡白老村教員遠山隆外二百八十五名呈出(二通)

島根縣安濃郡波根西村教員今岡増太郎外四百四十五名呈出(三通)

巖手縣盛岡市加賀野官吏勝山信司外三十四名呈出

神奈川縣橫濱市老松町教員星年松外七百六十九名呈出(三十二通)

德島縣德島市南佐古町教員藤本達治外六百六十二名呈出(十六通)

山形縣米澤市關東町教員椿辰之助外百三十名呈出(七通)

埼玉縣大里郡男沼村平民農中里小源治外八十五名呈出(五通)

山梨縣東八代郡下會根村教員大木惠吉外七十五名呈出(五通)

熊本縣鹿本郡田原村教員生田長太郎外五十三名呈出

秋田縣雄勝郡湯澤町教員藤井秀三郎外二百九十三名呈出(三十五通)

山形縣山形市小鷹銳健呈出

京都府南桑田郡篠村教員木村作次郎外四百五十五名呈出(五通)

高知縣土佐郡秦村公吏大平茂樹外四百九十三名呈出(十七通)

三重縣宇治山田市中之町教員青木家平外三百四十九名呈出(三通)

兵庫縣神戸市夢野町教員辻信一外二百五十五名呈出(三通)

熊本縣鹿本郡山鹿町教員堀井勇三外二百三十四名呈出(十九通)

長崎縣壹岐郡田河村教員松本德衛外十三名呈出(二通)

福岡縣大牟田市松浦町教員眞武莊一外三百十八名呈出(三通)

神奈川縣中郡吾妻村平民教員福泉義勉外三十二名呈出

岡山縣小田郡陶山村教員惣津三郎外二十四名呈出

福岡縣糸島郡前原町教員白水卯之吉外六百六十六名呈出(二通)

長野縣下高井郡倭村教員渡邊巨海外三千三百十五名呈出(五十三通)

和歌山縣伊都郡花園村教員山内由松外七百七十五名呈出(八通)

岡山縣御津郡圓城村教員石井一郎外百十五名呈出(五通)

福岡縣早良郡原村教員福田丑之助外九名呈出

山形縣山形市旅籠町教員高野甚太郎外百十六名呈出

千葉縣夷隅郡東村教員高原直吉外二百三十六名呈出(二通)

三重縣度會郡瀧原村教員稻田州三外三百六十五名呈出(二通)

神奈川縣橫濱市元濱町橫濱市教會長大谷嘉兵衛外一名呈出(二通)

長野縣北佐久郡志賀村教員赤岡一男外六名呈出

右ノ請願ハ曩ニ政府ハ市町村義務教育費國庫負擔法ヲ制定シ小學校教員優遇ノ途ヲ開カレタリト雖町村ノ一般ノ經費ハ漸次膨脹シテ教育費ノ支出ニ苦ムノ狀態ニ在リ斯ノ如キハ小學校教員ノ地位ノ安定ヲ得サラシメ義務教育上ノ一大障礙ナルヲ以テ國庫負擔金ヲ小學校教員俸給ノ半額ニ達セシムルヤウ増額セラレタリト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

內閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案

明治二十三年法律第九十一號中改正ノ件

佐賀縣東松浦郡唐津町平民教員中村敬吉呈出

右ノ請願ハ明治二十三年法律第九十一號第七條第二項第一號ノ規定ハ公立學校ノ囑託員及雇員ヲ除外セサル爲退隱料受給資格者カ囑託員及雇員トシテ更ニ公務ニ就キタル場合退隱料ノ全部又ハ一部ヲ停止セラシムルハ文武官ニ比シ權衡ヲ失スルノミナラス同規定ハ大正九年ノ俸給令及恩給法改正以前ニ退職シタル公立學校職員ヲシテ實收入ノ減少ヲ來タサシムルモノナルヲ以テ同號ヨリ囑託員及雇員ヲ除外シ且「退職現時ノ給料額」ノ下ニ(大正九年ノ俸給令改正以前ニ於ケル退職者ニハ其ノ退職現時ノ給料ノ一、七倍額)ノ一節ヲ加ヘラレタリト旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

內閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案

大田瀧原間鐵道敷設ノ件

東京市赤坂區仲ノ町士族醫師河島右一外六十五名呈出(二通)

右ノ請願ハ島根縣邑智郡濱原村大字瀧原ヨリ邇摩郡大森町ヲ經テ安濃郡大田町ニ至ル鐵道ハ該地方ニ於ケル文化ノ發達並富源ノ開拓上最必要ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

國分岩川間鐵道敷設ノ件

鹿兒島縣噲啖郡岩川村長川崎和夫外九名呈出

右ノ請願ハ鹿兒島縣噲啖、肝屬二郡及宮崎縣南那珂郡ハ農畜畜産等ノ業盛ナリト雖交通運輸ノ便ヲ闕キ經濟上密接ノ關係ヲ有スル鹿兒島市トノ連絡完カラス地方開發上甚遺憾ナルヲ以テ鹿兒島線鐵道國分驛ヨリ鹿兒島噲啖郡岩川村ニ至ル鐵道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

府縣稅徵收ニ關スル交付金増額ノ件

宮崎縣宮崎郡宮崎町長若松悌二呈出

右ノ請願ハ明治三十三年勅令第八十一號ニ依リ定メラレタル府縣稅徵收ニ關スル交付金ハ他ノ租稅徵收ニ關スル交付金ニ比スレハ少額ナルノミナラス近時町村ニ於ケル各種自治事業ノ勃興ニ伴ヒ地方民ノ負擔益加重シ府縣

稅徵收ノ煩勞益増大シタルヲ以テ同交付金ヲ相當増額セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

石川縣珠洲郡内ニ鐵道敷設ノ件

石川縣珠洲郡飯田町長八木久八郎外九名呈出

右ノ請願ハ石川縣珠洲郡ハ海陸ノ產物豐富ナルニモ拘ラス交通機關ハ甚不備ニシテ殊ニ冬季ハ風波ノ爲定期船ノ航海ヲ杜絶スルコト多ク郡民ノ不便不利甚シキヲ以テ北陸線鐵道ヨリ分岐シテ鳳至郡輪島町ニ至ル鐵道ヲ敷設スル場合ニハ之ト同時ニ同鐵道ヲ珠洲郡ニ延長敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

群馬縣山田郡毛里田村外三村ヲ新田郡ニ編入ノ件

群馬縣山田郡毛里田村長野村直次郎外三名呈出(四通)

右ノ請願ハ群馬縣山田郡毛里田、矢場川、韭川及休泊ノ四村ハ郡内ニ於ケル他ノ町村トハ地利上並歴史上人情、風俗、習慣及業務ヲ異ニシテ却テ新田郡トハ古來密接ナル關係ヲ有シ公私ノ事務總テ同郡ニ依ルノ状態ニアルヲ以テ右ノ四村ヲ新田郡ニ編入セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

松前鐵道敷設ノ件

北海道松前郡福山町平民農早川鐵治外二百八十名呈出

右ノ請願ハ函館ヲ起點トシ松前郡福山町ニ至ル松前鐵道ノ豫定地方ハ農業
牧畜養蠶ヲ業トシ前途有望ナルノミナラス水産物亦豐富ニシテ殊ニ柔魚漁
ノ如キ百萬圓ノ收獲アルニ拘ラス交通機關ノ完成セサルハ地方民ノ苦痛ニ
堪ヘサルトコロナルヲ以テ速ニ該鐵道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴
族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

大田於福間鐵道敷設ノ件

山口縣美禰郡共和村於福大田間鐵道期成同盟會長阿武義一外十名呈出
右ノ請願ハ山口縣美禰郡ハ氣候温和ニシテ農産、林産、畜産及鑛産等ニ富
ムモ交通不便ニシテ車馬ニ依リ僅ニ用ヲ辨スルニ過キス殊ニ大田於福間ハ
交通頻繁ナル爲道路ハ破壞シ人民ノ不便甚シキヲ以テ速ニ同郡大田ヨリ秋
吉別府ヲ經テ於福ニ至ル鐵道ヲ敷設シ伊佐正明市間輕便鐵道ト連絡シテ同
地方文化ノ開發ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇
スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

義務教育費國庫負擔金増額ノ件

新潟縣中蒲原郡小須戸町長齋藤一外三十六名呈出

右ノ請願ハ曩ニ政府ハ千萬圓ヲ國庫ヨリ支出シ教員優遇ノ資タラシメムト
セラレシモ町村一般ノ經費ハ漸次膨脹シテ困難ヲ感スル狀態ニ在リ斯ノ如
キハ小學校教員ノ地位ノ安定ヲ得サラシメ教育上ノ一大障礙ヲ醸スノ虞ア
ルヲ以テ小學校教員ノ俸給ニ對スル國庫補助ヲ相當増額セラレタシトノ旨
趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六
十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

義務教育費國庫負擔金増額ノ件

新潟縣東頸城郡安塚村長丸山吉五郎外十三名呈出

右ノ請願ハ小學校ノ經費ハ逐年膨脹シ市町村費ノ大半ハ之ニ投セラレ産業
衛生土木等ノ施設ハ之カ犠牲トセラルルノミナラス町村財政ノ如何ニ依リ
テハ教育設備及教員ノ待遇ニ甚シキ差異ヲ生ス斯ノ如キハ國民教育ノ振興
上遺憾ニシテ且自治體ノ發達ヲ害スルコト多大ナルヲ以テ速ニ小學校教員
俸給ノ半額ヲ國庫負擔トスルノ制ヲ定メ之ヲ救濟セラレタシトノ旨趣ニシ
テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條
ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

富山縣氷見郡氷見町ニ漁港修築ノ件

富山縣氷見郡氷見町長大井義昌呈出

右ノ請願ハ富山縣氷見町地方ハ富山灣ニ面シ近海及遠洋ノ漁業盛大
ニシテ漁獲高多キモ漁業ノ最盛ナル冬期ハ天候險惡ニシテ漁船ノ遭難頻頻
タリ斯ノ如キハ同地方ノ發展ヲ圖ル所以ニ非サルヲ以テ地勢上最好適地タ
ル氷見町ヲ漁港トシテ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

御肖像掲載ノ印刷物取締ニ關スル件

山梨縣甲府市柳町鍼治業長田保春呈出

右ノ請願ハ御肖像ヲ新聞雜誌其ノ他ノ印刷物ニ奉掲スルハ不知不識ノ間ニ不敬ヲ犯スノ因トナルヲ以テ取締法ヲ制定シ之ヲ禁止スルカ或ハ附録等ニ奉掲シテ永久保存ヲ爲シ得ルヤウセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

八尾金澤間鐵道敷設ノ件

石川縣金澤市西町金澤商業會議所會頭横山章呈出

右ノ請願ハ飛越線鐵道ノ停車場設置豫定地タル富山縣下八尾ヨリ石川縣金澤市ニ至ル鐵道ノ敷設ハ沿線地方ニ於ケル産業ヲ發達セシムルノミナラス飛越線鐵道及北陸本線鐵道等ノ營養線トナリ且工事モ容易ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

秋田縣雄勝郡仙道村ニ無集配郵便局設置ノ件

秋田縣雄勝郡仙道村平民農高橋初藏呈出

右ノ請願ハ秋田縣雄勝郡仙道村ハ山間ノ僻村ナルモ近ク縣道ノ開通アリテ交通繁ク通信機關ノ必要ヲ感スルコト切ナルニモ拘ラス之ヲ管轄スル田代郵便局ノ距離遠ク村民ノ不便甚シキヲ以テ同村ノ中央ニ位スル中仙道字真木ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

山口縣大島郡安下庄町ニ登記所設置ノ件

山口縣大島郡安下庄町長中本章三外三名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ町村ハ時勢ノ進運ニ伴ヒ登記事務激増シタルモ之ヲ管轄スル岩國區裁判所西方出張所若ハ同區裁判所屋代出張所ハ距離遠隔ニシテ峻阪多ク町村民ノ不便甚シキヲ以テ山口縣大島郡安下庄町大字西安下庄字真宮ニ區裁判所出張所ヲ設置シ安下庄、久賀ノ兩町、平郡村及沖浦村大字秋ヲ管轄セラレタク廳舎倉庫等ハ安下庄町ニ於テ建築ノ上無償ヲ以テ提供スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

内閣總理大臣原敬殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

大田瀧原間鐵道敷設ノ件

島根縣安濃郡長久村平民農恆松嘉吉外六名呈出

右ノ請願ハ山陰線大田驛ヨリ島根縣邑智郡瀧原村大字瀧原附近ニ於テ未成線三次江津間鐵道ニ接続スル鐵道ハ同地方ニ於ケル文化開發ニ必要ナルノミナラス陰陽連絡ノ最捷路タルヘキヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

宮崎福島間鐵道敷設ノ件

宮崎縣宮崎郡宮崎町長若松悌二外二十九名呈出

右ノ請願ハ宮崎縣宮崎郡宮崎町ヨリ縣ノ南東部ヲ經テ南那珂郡飯肥町ニ至リ更ニ福島ニ達スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル天與ノ富源ヲ開發スル所以ナルノミナラス七浦七峠ノ勝地、官幣大社鶴戸神宮ニ至ル旅客ニ利便ヲ與ヘ且内海、油津兩港ノ利用ヲ完カラシムルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

八雲利別間鐵道敷設ノ件

北海道山越郡八雲町士族公吏木村定五郎外四百十七名呈出

右ノ請願ハ北海道山越郡八雲町ヨリ瀬棚郡利別村ニ至ル鐵道ノ敷設ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農産、林産、鑛産ヲ開發スル所以ナルノミナラス同地方ハ函館トノ交通ヲ便ニシ且拓殖ニ及ボス效果ハ遙ニ國縫瀬棚間鐵道ノ比ニ非サルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

五條新宮間鐵道敷設ノ件

奈良縣宇智郡五條町林業栗山藤作外二千四百六十四名呈出

右ノ請願ハ關西線五條驛ヨリ奈良縣下野原、南宇智、賀名生、大塔及十津川ノ諸村ヲ經テ和歌山縣下新宮町ニ至リ未成線タル紀勢鐵道ニ連絡スヘキ鐵道ハ同地方ニ於ケル豐富ナル海陸ノ利源ヲ開發スルノミナラス賀名生、十津川ニ於ケル南朝ノ遺蹟及熊野地方ニ於ケル瀨八町、九里峽、那智等幾多ノ名勝舊蹟ヲ探ル旅客ニ利便ヲ與ヘ且國防上必要ナル爲既ニ第四十三回議會ニ於テ採擇セラレタルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

飛行事業擴張ニ關スル件

東京市麴町區有樂町帝國飛行協會會長華族大隈重信呈出

右ノ請願ハ我國航空界ノ實況ハ今尙幼稚ニシテ國防上並交通上甚遺憾ナルヲ以テ之ヲ發達セシムルカ爲速ニ航空中央機關ヲ設置シテ航空一般ニ關スル行政ヲ統轄セシメ又東京大阪間ヲ始メ滿鮮臺灣等ニ至ル航空路ヲ開設シテ飛行ニ便ニシ且航空機及其ノ發動機製造獎勵法及航空補助法ヲ制定シテ事業ノ進歩ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

新舊文官ノ恩給並扶助料不權衡更正ニ關スル件

茨城縣水戸市上市五軒町士族無職業立花三七郎外三十七名呈出

熊本縣熊本市南千反畑町士族無職業江良惟一外三十九名呈出

福岡縣門司市大字門司士族無職業進退藝外二十五名呈出(二通)

右ノ請願ハ明治四十三年四月官吏増俸以前ニ退職シタル文官及死亡シタル文官ノ遺族等ハ増俸ノ恩惠ニ均霑スルヲ得スシテ其ノ恩給及扶助料ハ薄給時代ノ俸給ニ基クカ故ニ其ノ額少ク新舊文官恩給ノ不權衡甚シ既ニ軍人ニ對シテハ新舊恩給等差撤廢ノ例モアレハ新舊文官ノ恩給及扶助料ニ對シテモ其ノ不權衡ヲ更正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

帝國在郷軍人會國庫補助ノ件

東京府西多摩郡西秋留村平野昌吉外二十三名呈出

右ノ請願ハ在郷軍人會ノ事業ハ國運ノ消長ニ至大ノ關係アルヲ以テ其ノ事業遂行ノ基金トシテ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ下附セラレタク帝國議會ニ請願シ既ニ採擇セラレタルモ未其ノ運ニ至ラサルハ國勢ノ發展上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

天鹽沿岸鐵道延長敷設ノ件

北海道留萌郡留萌町平民漁業菅原直治郎外八百二十六名呈出

右ノ請願ハ未成線留萌羽幌間鐵道ノ終點タルヘキ羽幌村ヨリ沿岸各村ヲ經テ未成線稚内線鐵道ニ連絡スヘキ鐵道ヲ敷設スルハ海陸交通ノ不便ヲ除キ同地方ニ於ケル豊富ナル利源ヲ開發スル所以ナルノミナラス留萌築港ノ效果ヲ大ナラシムルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ

貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

柳津小出間竝只見古町間鐵道敷設ノ件

福島縣南會津郡伊北村平民農新國長次外百二十名呈出

右ノ請願ハ福島縣下柳津村ヨリ新瀉縣下小出町ニ至ル鐵道及福島縣下只見ヨリ同縣下古町ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル鑛産林産等ノ豊富ナル利源ヲ開發スルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

帝國在郷軍人分會資源設定ノ件

愛媛縣周桑郡壬生川町長一色耕平外十六名呈出

右ノ請願ハ帝國在郷軍人分會ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルハ國防上最必要ナルニモ拘ラス内容不備ノ觀アルハ要スルニ活動ノ資源乏キニ基因スルヲ以テ適當ナル方法ニ依リ同會ノ資源ヲ設定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

意見書案

五條新宮間鐵道敷設ノ件

和歌山縣東牟婁郡新宮町士族公吏遊木保太郎外千四十一名呈出

三重縣南牟婁郡鵜殿村公吏竹原樸一外七十九名呈出

右ノ請願ハ關西線五條驛ヨリ奈良縣下十津川ヲ經テ和歌山縣下新宮町ニ至リ未成線タル紀勢鐵道ニ連絡スヘキ鐵道ノ敷設ハ同地方ニ於ケル豐富ナル海陸ノ利源ヲ開發スルノミナラス皇祖發祥ノ靈地タル熊野ニ鎮座セル熊野座、熊野速玉ノ兩官幣大社ヲ始メ瀨八町、那智ノ瀑布、湯ノ峯温泉等幾多ノ名勝舊蹟ヲ探ル旅客ニ利便ヲ與ヘ且工事容易ニシテ既ニ貴族院ニ於テ採擇セラレタルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣原敬殿

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十三ヨリ第三十九マデノ請願ハ、皆請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明十一日ノ議事日程ヲ御報告致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

議事日程 第十九號 大正十年三月十一日 金曜日

午前十時開議

一 風教ニ關スル決議案(公爵徳川慶久君外八名發議) 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 本日ハ是ニテ散會
午後五時四十三分散會